

42782

教科書文庫

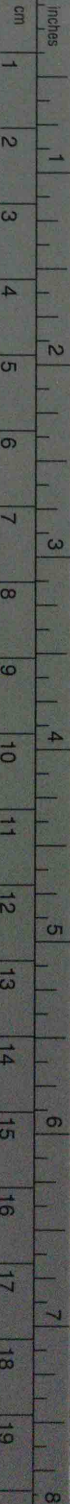
4
290
41-1938
20000 41345

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

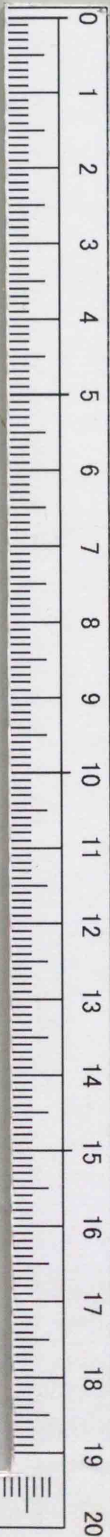
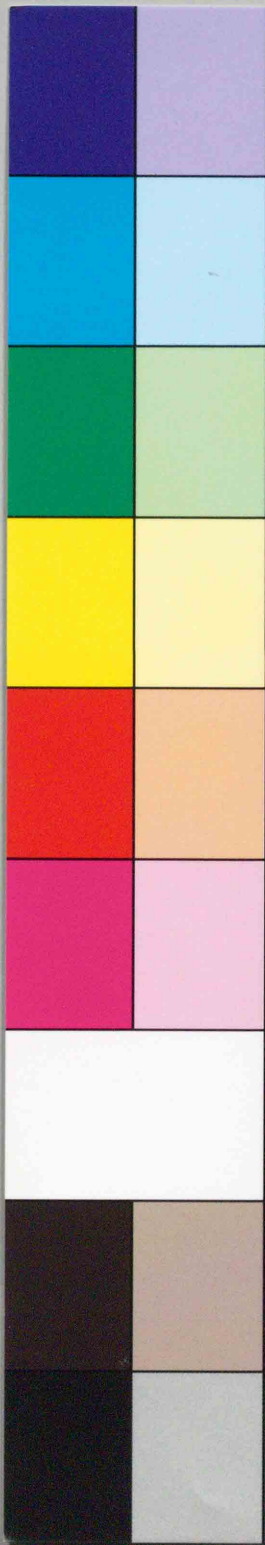
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

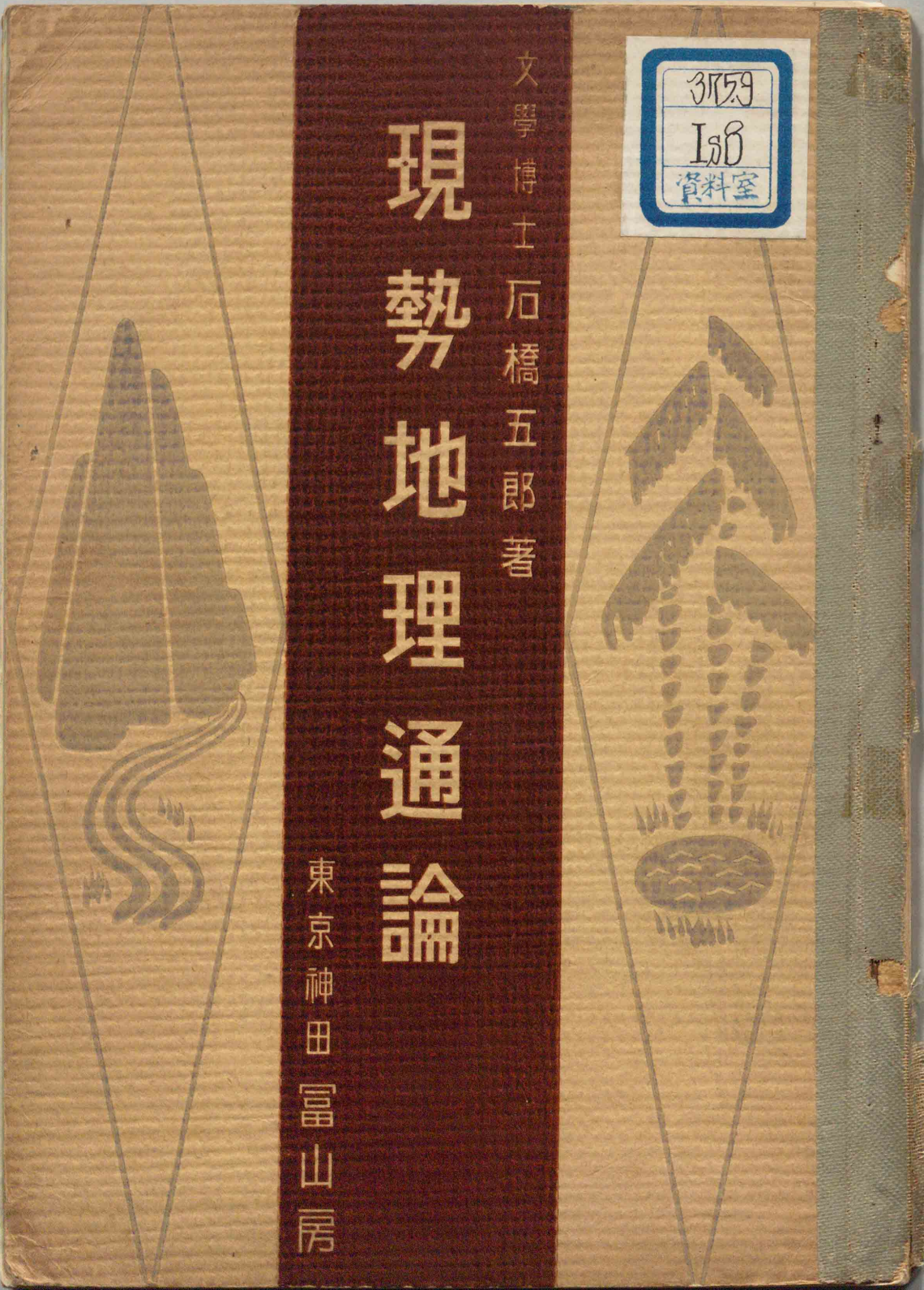


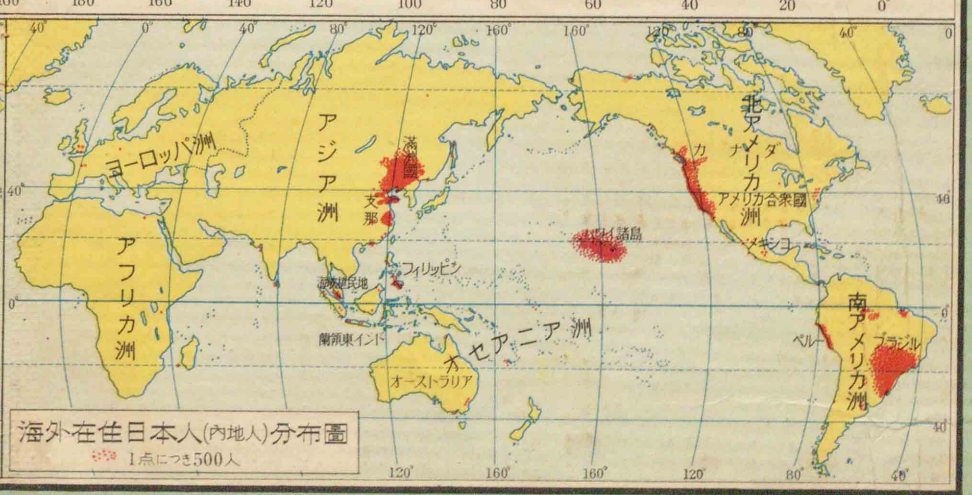
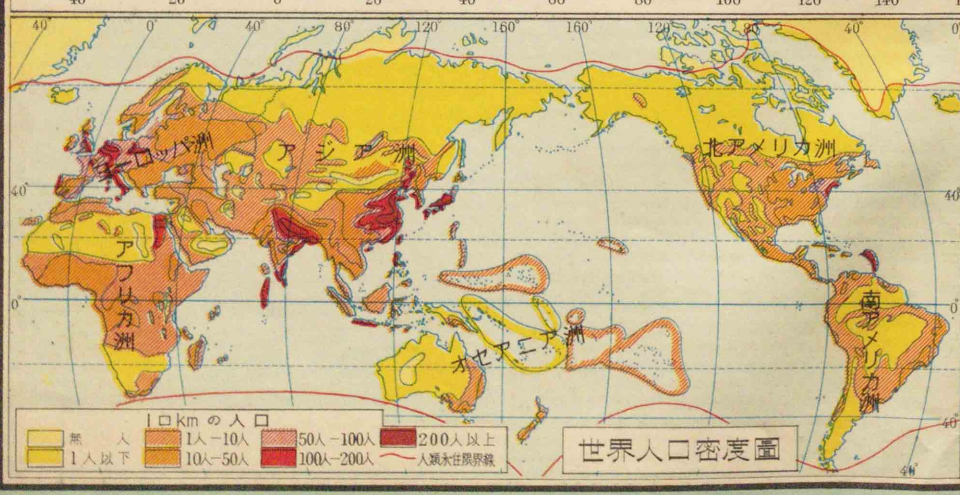
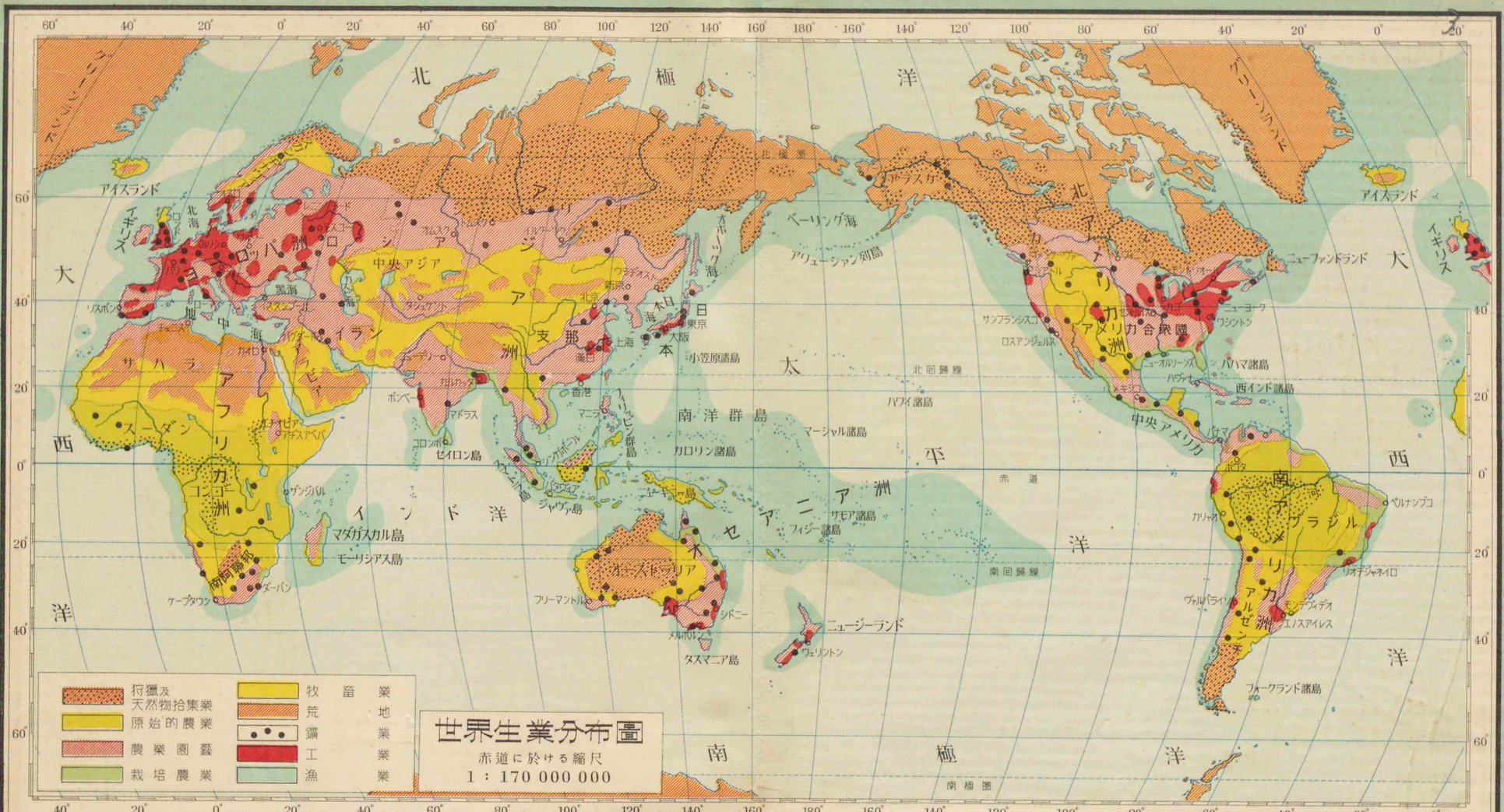
3759
Isb
資料室

文學博士 石橋五郎著

現勢地理通論

東京神田 富山房

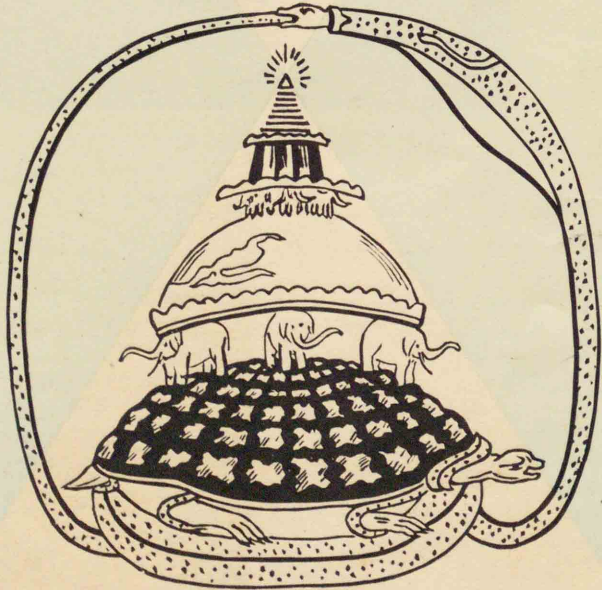




文部省檢定濟
昭和十三年二月十日 中學校・師範學校地理科

京都帝國大學名譽教授
文學博士 石橋五郎 著

現勢地理通論



東京 富山房 神田

375.9
I58

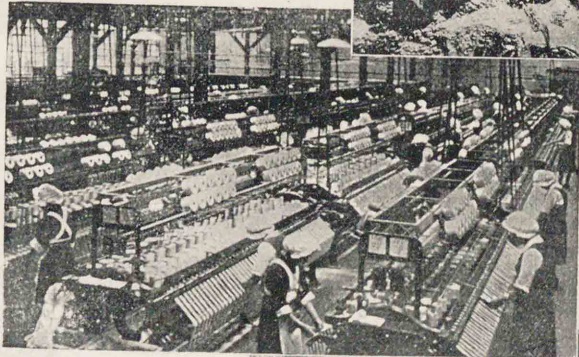
資料室



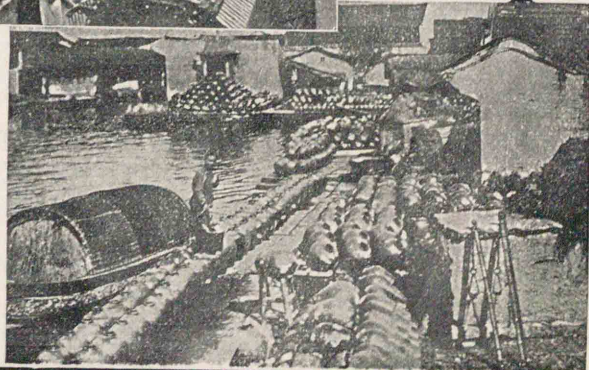
← 南阿
ヨハネスブルグの
金坑



→ 南阿キンバーリーのダイヤモンド坑



← 大阪市の紡績工場
内部



→ 支那紹興の老酒

例言

本書は昭和十二年四月から實施せられた文部省令師範學校及び中學校改正教授要
目に基づいて新たに編纂したものであつて別に上梓せる「現勢日本地理」及び「現勢世界
地理」と姉妹篇をなすものである。

本書編纂の大方針は専ら改正要目の趣旨に則つたもので、左の通りである。

- ① 地理通論は世界を一體とする総合的描寫であるが常に我が國を本位とし、世界の地理的現勢を明らかにすると共に、我が國の世界に於ける地位を自覺せしめるやうにした。
- ② 地理的事實と地理的理法との關係に注意し、地理學の應用を圖ると共に、生徒の地理的識見を養ひ、以て我が國勢の發展に貢獻せしめるやうに努めた。
- ③ 地理學を從來の如く自然人文の二元論的に認めず、人文を主とし、自然は人文の基礎たるべきものに止めた。これは地理教育を以て國民思想の涵養に資せんとする著者年來の主張たると同時に要目改正の當然の結果である。
- ④ 世界の現狀に鑑み、國民生活の根柢たる産業及び政治の部を詳述し、また時局の認識に必要な事項を収録した。

以上の外編纂上に左の注意をなした。

⊙ 地圖圖表の選擇に意を用ひ、表現法を多種多様にした。また横書を要する場合は生徒の習慣に基づいて左横書とした。

⊙ 統計は最新のものを用ひ、数字は特殊のものを除き、メートル法によつた。

⊙ 熟語の濫用を避けたが、基礎的なものは出来るだけ収録した。また必要なる名辭の傍にはこれに適應した英語を挿入した。

⊙ 細字及び頭註を設けて、本文の缺を補ふと共に地理學上興味ある事實を記した。

昭和十二年六月

著者識す

目次

緒言	一
第一章 地球	四
第一節 太陽系	四
第二節 地球の形態及び時	五
第三節 晝夜及び四季	二
第四節 太陰及び曆	三
第二章 陸地	四
第一節 陸地の形状及び地圖	四
第二節 大陸	五
第三節 島嶼	七
第四節 半島	八
第五節 平原	九
第六節 山地	一〇
第七節 火山温泉及び地震	三
第八節 河流、谿谷、附泉水、氷河	四
第九節 湖沼	六
第十節 海岸	九
第三章 海洋	三
第一節 海洋の區分と海水	三
第二節 波浪及び津浪	三
第三節 潮流	三
第四節 海流	三
第四章 氣候	三
第一節 大氣	三
第二節 氣溫	三
第三節 風	三

目次

一

第四節 雨……………四〇

第五節 天氣及び氣候……………四三

第五章 住民……………四三

第一節 人類と自然環境……………四三

第二節 人種及び民族……………四四

第三節 言語及び宗教……………四四

第四節 人口……………四五

第五節 聚落……………四五

第六章 産業……………五〇

第一節 農業……………五〇

第二節 林業……………五一

第三節 牧畜業及び蠶業……………五一

第四節 漁業……………五二

第五節 鑛業……………五三

第六節 工業……………五七

第七章 交通及び商業……………六六

第一節 運輸……………六六

第二節 通信……………六九

第三節 商業……………七五

第八章 政治……………七六

第一節 國家……………七六

第二節 國家の版圖……………七八

第三節 行政……………八四

第九章 世界に於ける我が國の地位……………八六

— 終 —

現勢地理通論

文學博士 石橋 五郎 著

緒言

【地理學の意義と地誌】 Geography 地理學とは地球を人類の住所と考へ、その表面上にある自然人文兩現象の分布状態を描寫することによつて、人類の生活が自然環境となす關係を明瞭にする學問である。而して我々は既に日本地理及び外國地理を學んで、我が國及び世界各地に於ける自然人文の事情に通じたが、かくの如く世界各地の地理を別々に記述することは所謂地誌であつて、地理學の全部ではない。併し地誌は我々の地理的知識の最も重要なる基礎をなすものである。

【地理通論と文化】 地誌が世界各地に於ける個々の地理的描寫であるのに對し、我々は更にこれ等の知識を比較・綜合して、地球全體に互り、一般人類の生活状態とその自然環境との關係を知らねばならぬ。これが即ち**地理通論**であつて、而もこれ等の關係を最もよく現



約五千萬年前の原始景觀の想像圖(上)とそれに自然・人文の諸作用が働いて作られた現在の文化景觀(下)

はすものは、**人類文化**と自然との相互作用によつて生じた變化である。即ち人類出現の當初には、地球表面は全く**自然の原始景觀**のみであつたが、そ

の後人類の創造した文化によつて次第にその姿を改め、現在では世界の大部分が人類の手によつて成つた**文化景觀**を生じて、人類と自

Cultural Landscape

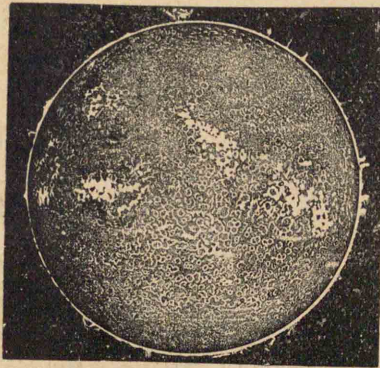
然との間に離るべからざる關係を作つた。

【地理的理法】 自然景觀が文化景觀に改められたについては、必ず世界を通じて諸種の普遍的な理由がある。これ等の理由の中、自然と人類との關係に屬するものを**地理的理法**といふ。我々人類が地球表面上に於て、或は國家として、或は民族として盛衰興亡を示したり、または産業が轉移・隆替することなどは、この理法によつて説明せられるところが少くない。我々は地理通論に於てよくこの理法を會得し、我が國及び我が國民の特殊性を自覺すると共に、世界に於けるその地位を正しく把握し、更に進んで國民生活の向上と國運の隆昌とに資するところがあらねばならぬ。

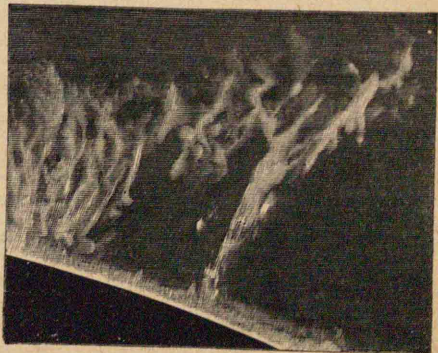
第一章 地球

第一節 太陽系

【太陽】太陽は非常に高熱なガス體から成り、その容積は地球の百三十萬倍に達する。常に強烈な光と熱とを放ち、地球上の生物は直接・間接にその生命の源を主としてこれから得てゐる。太陽が地球と同様に自轉してゐることは、その表面に現れる黒點と稱する斑紋が西から東へ動くので知られる。

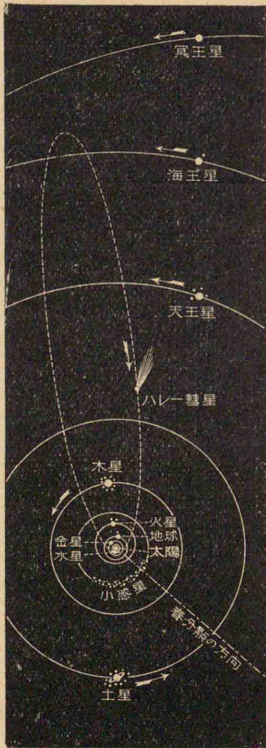


太陽の黒點 約十一年の週期を以て増減し黒點の多い年には磁氣變動や極光來つたといふ。圖中白く見えるのが黒點。



太陽のプロミネンス

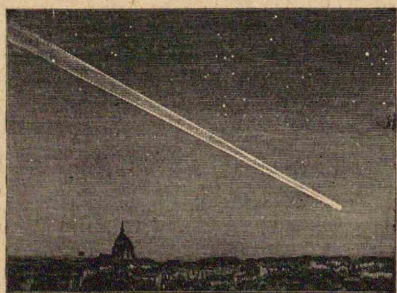
【太陽系】太陽の周圍には水星金星地球火星木星土星天王星海王星冥王星等の九大惑星(遊星)と、火木兩星の間に位する千餘の小惑星とが同心圓



太陽系

上を公轉し以て我等の太陽系を形成する。惑星中には地球に於ける月の如く、衛星の附隨するものがある。この外、太陽系には多くの彗星や流星がある。

宇宙にはまた



流星 天體の破片が地球の大氣中に入つて來たもので、その地上に達したものを隕石といふ。



彗星 週期的に現れるものにエンケ彗星及びハレー彗星がある。

第二節 地球の形態及び時

*地球の眞の形をゼオイド (Geoid) と呼び扁平楕圓體に近い。地球球形の證としては(一)高所から海洋を見ると視限界が圓形をなし、(二)月食の時地球の陰影が圓く、(三)入港の船が橋頭から見え始め、(四)世界を一週し得ること等がある。

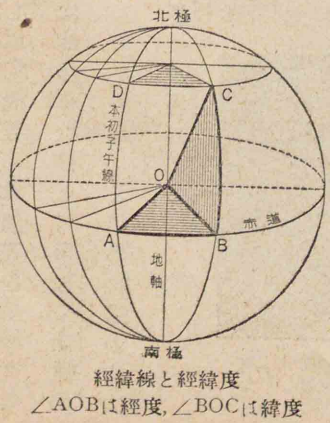
【地球の形状】

地球は球形をなし、その周圍は約四萬軒、平均半径は約六千三百七十軒で、表面積は凡そ五億平方軒である。地球が球

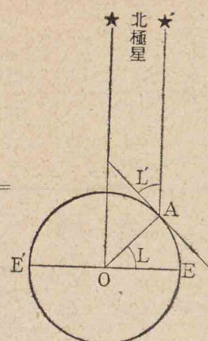


形であることが信ぜられなかつた時代には、地表に關しても種々の臆説が行はれたが、探検時代以後、地球の球形であることが廣く世に知られ、また新しい陸地の發見があつて、地表の状態が明瞭となつた。その結果世界の交通にも一大變革がもたらされ、現在では汽船のみならず、航空機による世界一周空路も計畫されるに至つた。

【經緯線及び經緯度】 地表上の位置を決定する必要から經線緯線が定められ、これ等兩者の交點を以て或る地點の位置を正確に示すことが出来る。經線(子午線)とは兩極を通過する地表上の大圈であつて、イギリスのグリニッチ天文臺を通過するものを本初子午線とし、これと某地の子午線とのなす角度を某地の經度とする。また赤道から子午線に沿つて、赤道を零度とし、某地點までの弧度を測り、それをこの地點の緯度とする。緯線は同緯度を連ね



*本初子午線を零度とし、東經一〇度、西經一〇度に及ぶ。



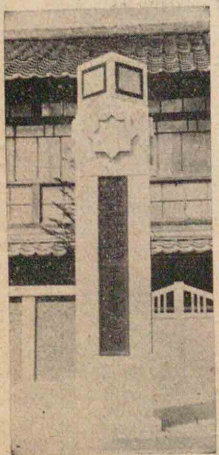
測り方 緯度の測り方 緯度の測り方 緯度の測り方

て赤道と平行する小圈である。北半球では地平線上に於ける北極星の高さ、即ち仰角でほぼその地の緯度を知ることが出来る。

【標準時】 Standard Time

地球は約二十四時間で太陽に對して一自轉するから、經度十五度毎に一時間の時差を生ずる。同一子午線上の地點は同時に太陽が南中するから同一地方時を持つが、經度の異つた地點では經度一度につき四分の時差を生ずるから、すべての地點に於て各々その地の地方時に従つて時計を調節する時は、交通通信等に甚だしい不便を來たす。故に或る地域内ではすべて或る地點の地方時を採用する。これを標準時といふ。

我が國の標準時は東經百三十五度による中央標準時であつて、グリニッチ標準時との時差は九時間である。また我が南洋群島には東經百三十五度百五十度百六十五度の三標準時がある。

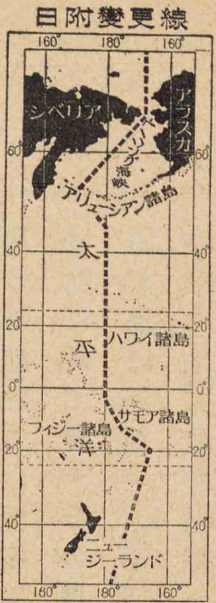


日本中央標準時子午線標(明石市)

*故に或る地の經度はその地の地方時と既に經度の知られた他の地の地方時との時差によつても知ることが出来る。

近時滿洲國も我が國と同じ標準時を採用してゐる。

【日附變更】 かくの如く地方時に差があるために、或る地點を出發して西に向つて旅行すれば、日々の時間が少しづつ延びて、地球を一周して出發點に歸着すると、一定の地にある人よりも一日だけ少



*このことはイゼラン船の航海日誌が本國の曆より一日後れてゐたので初めてわかつた。

く經過したやうに見える。* 反對に東に向つて進めば一日だけ多く經過したやうに見える。よつて現今では、ほぼ太平洋中の百八十八度の經線を以て國際日附變更線とし、これを西に越える時は一日を省き、東に越える時は同一日附を二度使用する。

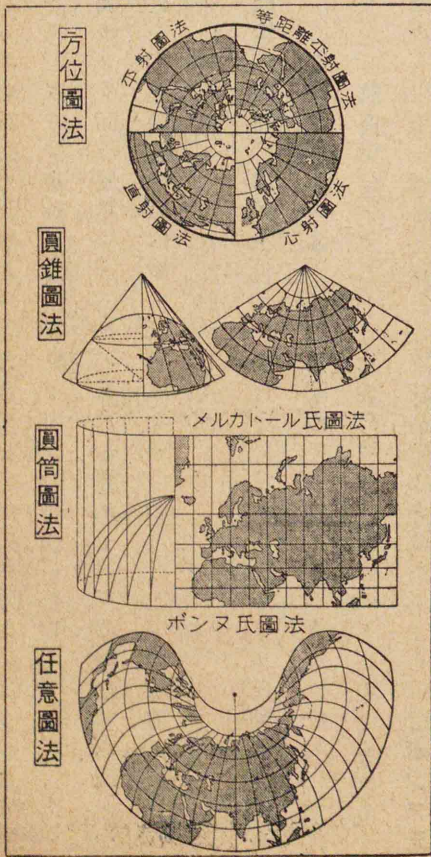
【地圖投影法】 Map Projection 地球表面上に於ける經緯度及び地方時の差や海陸の分布状態等は、地球儀によつて正確に知ることが出来るが、地球儀はその大きさに限りがあり、且つ携帯に不便であるから、地球表面を平面に展開した地圖が必要となつて来る。それには先づ投影に

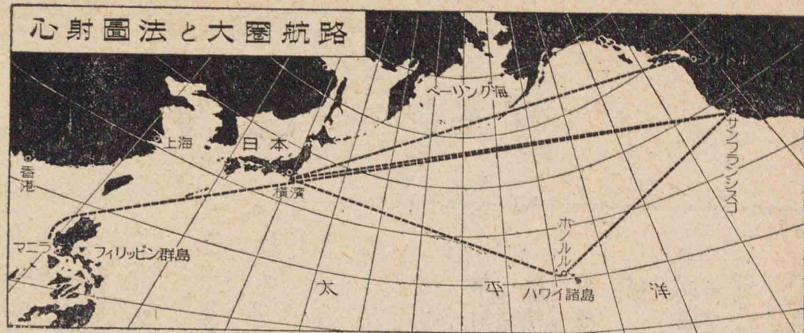
▲三頁参照。

よつて經緯線を描くを要し、その地圖投影法に方位圖法、圓錐圖法、圓筒圖法、任意圖法等がある。併し球面を正しく平面に現はすことは不可能であるから、何れの圖法でも距離、方位、面積の三者が同時に正しく表現されるものはなく、その目的によつて適當な圖法が用ひられる。

一方位圖法 視線と直角の位置に投影面を置き、これに地球表面の状態を投影するものであつて、その中、直射圖法 Orthographic Proj. 平射圖法等距離平射圖法は Stereographic Proj. 離平射圖法は Gnomonic Proj. 描くに適し、心射圖法(天圖圖法)は、任意の二點間に直線を

地圖投影法の例





引けばそれが地球面の大圏を示し、直ちにその最短距離を現はすが故に、航海に二港間の最短航路、即ち大圏航路を知るに用ひられる。

二圓錐圖法 平面に展開することの出来る圓錐を以て地球を包み視點を地心に置いて、その圓錐の内面に投影するもので、主として中緯度に於ける小地域を比較的正しく描くに用ひられる。

三圓筒圖法 圓筒で地球を包んだ場合をいひ、メルカトル氏圖法、ゴール氏圖法がある。これ等の多くは等角圖法で、二點を結ぶ直線は直ちに方位線となるから航海用に供する。また世界地圖の作成にも利用せられる。

四任意圖法 以上三者を基礎として任意に工夫改良したもので、ボンヌ氏圖法、サンソン、フラムステッド氏圖法及びモルウェイド氏圖法(楕圓形圖法)は何れも等積圖法として考案されたものである。その他多圓錐圖法、グッド氏圖法、ランベルト氏圖法等があり、各々地圖の目的に應じて利用されてゐる。我が陸地測量部發行の諸地圖は圓錐圖法に近似した圖法によるものが多い。

【方位と地磁氣】 方位を示すには、東西南北の四方位を基礎とし、更に八方位十六方位三十二方位等に細分する。或は北何度、東南何度、西の如く呼ぶ

*現在の北磁極はグリーンランド(北緯七十五度、西經六度四分)、南磁極はグアイクトリアランド(南緯七十五度、東經七十五度二分)にある。

▲磁針はまた水平面に對しても場所により或る角度を以て傾く。これを傾斜角または伏角といふ。

■地球の公轉の軌道は楕圓形をなし、太陽はその焦點にあり、従つて近日點と遠日點とがある。北半球の冬には夏に於けるよりも地球が太陽に近いのであるが、これが氣候に及ぼす影響は殆んど見られない。



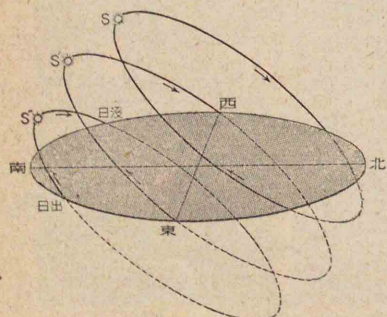
こともある。また地球は一大磁石であつて、所謂地磁氣の現象を有するから、地球上で方位を知るには便宜上磁針を用ひるが、磁極は地球の兩極と一致しないから、磁針は子午線の方向から多少偏する。これを偏角(偏差または方位角)と呼び、我が國では北するほど偏角が大きく、本州では五度から七度西偏する。故に磁針によつて方位を測る時にはこの偏角を更正しなければならぬ。

第三節 晝夜及び四季

【地球の運動と晝夜】

四季 地球は西から東に向つて自轉する。

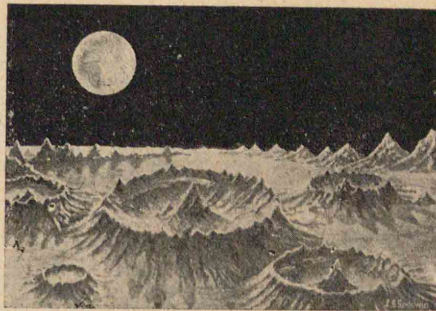
その結果晝夜の別を生ずるが、地軸は地球公轉の軌道面に對して約六十六度三十分の傾斜をなし、公轉中地軸の方向が變化しない結果、晝夜の長短及び四季の別を生ず



北半球に於ける太陽の高さと晝夜の長短との關係を示す圖 S は夏の太陽の高さ、S' は春・秋の太陽の高さ、S'' は冬の太陽の高さ。

る。四季の別は我が國の如き中緯度の地に最もよく現れる。

第四節 太陰及び曆

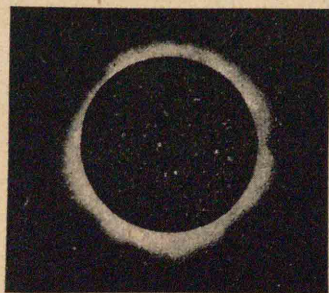


月面の想像圖(左上方に見え
るのは地球)

【太陰】 太陰即ち月は地球の衛星であつて、直徑僅か三千四百七十軒しかないが、天體の中で地球に最も近いから、太古より太陽と相並んで人類の生活特に精神界を支配することが大きかつた。地球の周圍を公轉するには二十七日七時四十三分餘を要し、自轉の週期もまたこれに等しい。この日時を恆星月といふ。太陽に對する軌道上の位置の變化に従つて、地球から見ると盈虚の現象がある。盈虚の週期、即ち朔望月は恆星月よりも長く、約二十九日十二時四十四分餘である。

現象がある。盈虚の週期、即ち朔望月は恆星月よりも長く、約二十九日十二時四十四分餘である。

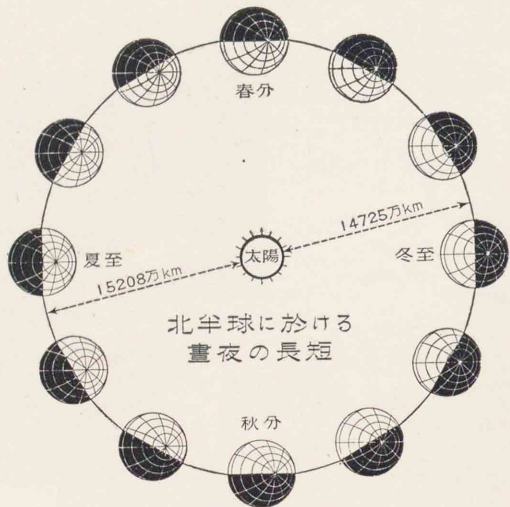
【日食月食】 朔と望の場合に、太陽と地球と月とが真一直線上に來るとすれば、朔の時には日食を起し、望の場合



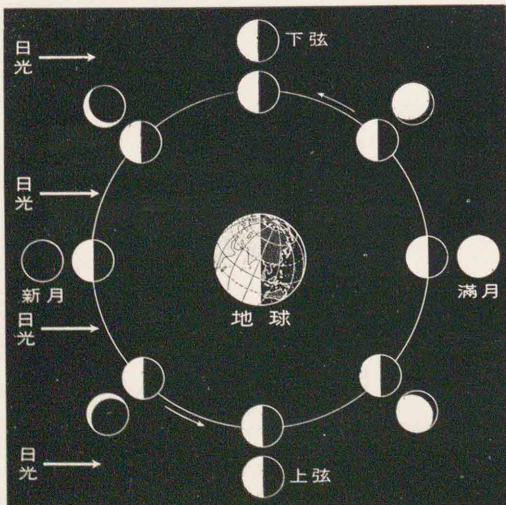
皆既日食(周圍に白く輝くの
がコロナである)

*軌道が楕圓形をなすから軌道上の遠地點と近地點とにより差があるが平均三萬軒である。
▲従つて月は地球に對して常に同一面を向けてゐる。

各季節に於ける地球の太陽に對する位置を示す。各球の白色部が晝間を、黑色部は夜間を表はす。而して各緯度に於ける晝夜の長短の割合は、球面に於ける該緯線の晝間部・夜間部の長さの割合に當る。また夏至に於ける地球と太陽との距離は冬至に於けるよりも大であるが、これが気温に及ぼす影響は殆んど見られない。即ち地球上の夏・冬の気温の差は専ら地球の地軸が黄道面に對して傾いてゐる結果である。



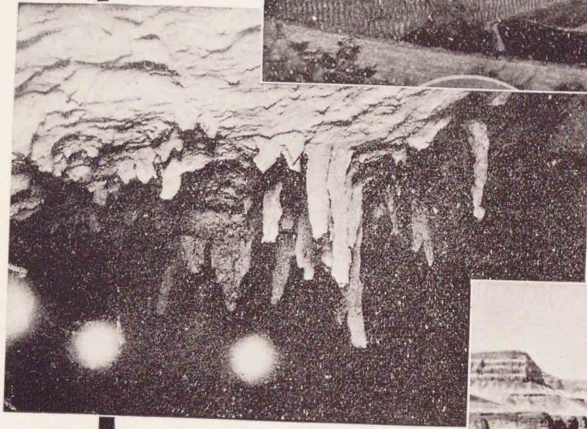
二月の盈虚を示す圖



月には、地球から見るとその太陽に對する軌道上の位置の變化に従つて、盈虚の現象がある。地球に對して月が太陽と同一方向に來た時を朔(新月)といひ、太陽と反對の側に來た時を望(満月)といふ。上弦と下弦とはその中間に來た時である。朔・望の週期(朔望月)は地球の公轉があるために月自身の公轉の週期(恆星月)よりも長く、約二十九日十二時四十四分餘である。



→ 段丘水田
(長野縣田毎、月の名所で「田毎の月」といふのはこの各々の田に映る月を讃へたもの)



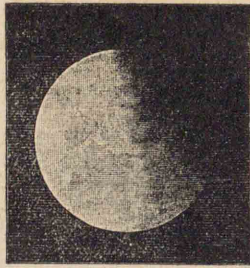
← 石灰洞
(山口縣秋芳洞、天然紀念物)



↑ コロラド峽谷
(アメリカ合衆國)



↓ 隆起珊瑚礁
(那覇市波上神社)



月 食

には月食を生ずるわけである。これが常には起らないのは、月の軌道面が地球の軌道面に對して、五度八分四十秒の角度を以て交つてゐるからである。日食月食共に**部分食**皆**既食**の別があり、日食では更に月が遠地點にある場合には**金環食**を生ずる。日食月食に對して未開の人類は種々の迷信を有し、これを怖れることが甚だしい。

【曆 Calendar

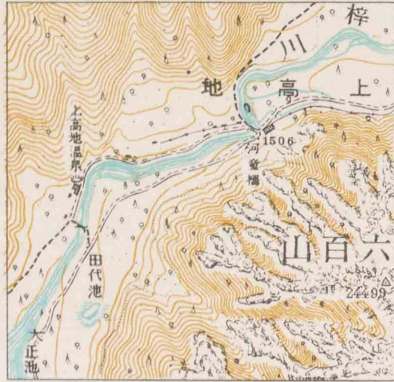
太陰の盈虚は太陽の出没と共に、時の單位として早くから人類に曆を作成せしめ、古代にあつては東洋西洋共に朔望月を基とする**太陰曆**によつた。

我が國の古い曆法も支那から傳へたもので、大體太陰の盈虚に基づくが、太陽の運行と一致させる必要から**閏月**を設けた。併しこれには種々不便があるので、明治五年から太陽の運行のみによる**太陽曆**を制定した。

太陽曆法では地球の公轉を基とするが、公轉の週期は三百六十五日五時四十八分四十六秒であるから、その端數を除いた三百六十五

地圖の種類

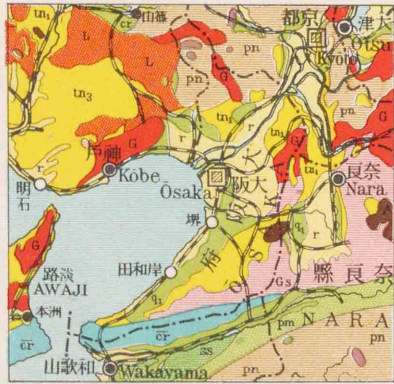
地形圖の例1 [日本アルプス上高地]
陸地測量部發行山嶽圖に據る



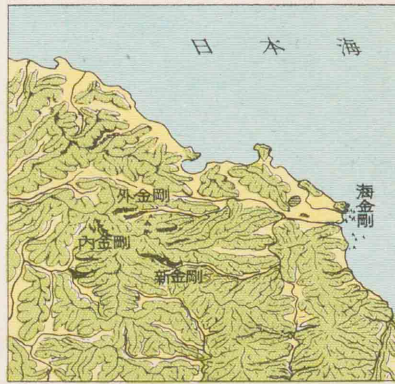
地形圖の例2 [横浜市首部]
陸地測量部發行帝國圖に據る



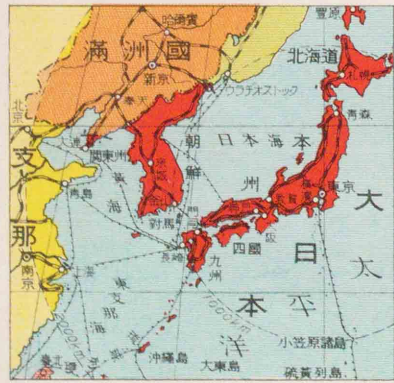
地質圖の例 [近畿地方中部]
商工省地質調査所發行東亞地質圖に據る



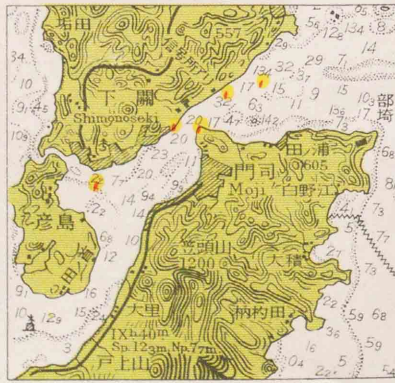
鳥瞰圖の例 [金剛山]
地勢の南45上方より平行光線にて俯瞰したる映像なり



輯成圖の例 [日本の四近]
教科用日本地理附圖の一部



海圖の例 [關門海峡]
水路部發行海圖に據る



▲地盤が徐々に隆起または沈降する作用を造陸作用といひ、急激に地殻が褶曲して山脈を作るのを造山作用といふ。

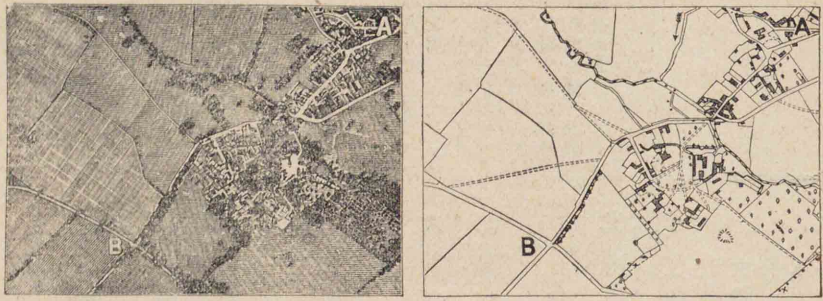
*我が國では明治三十一年五月の敕令で、神武天皇即位紀元年數の四で整除し得べき年を閏年とし、紀元年數より六を減じ、百を以て整除し得べきものの中、更に四を以てその商を整除し得ざる年を平年とすると定められた。

日を以て平年とし、四年毎に一日を加へて三百六十六日の閏年を置く。併しこれでは四百年間に約三日不足を生ずるから、百年二百年三百年目の各閏年を特に平年とする。かくする結果は三千年にしてその誤差は一日に充たない。

第二章 陸地

第一節 陸地の形状及び地圖

【地形】 人類の住所は地球表面に限られ、ここに陸界・水界・氣界の二または三界が接觸し、その中陸界は人類定住の場所として最も重要である。陸地は海洋に隔てられて種々の形状をなし、またその表面は平坦でなく、内部に起因する火山・地震・地殻の昇降等の内力作用によつて地形の凹凸出入を生じ、反對に外部から働く大氣・水・生物等による風化・剝削・堆積等の外力作用によつて、一般に凹凸を少くする。従つて陸地は大陸や島嶼の如く面積に大小があるばかりではなく、



同一地域の俯瞰写真(左)と地形図(右)

場所により水平的肢節(半島・岬角・附屬島嶼)及び垂直的肢節(山嶽・高原)の小を來たし、人類の住所としてそれぞれ適不適を生ずる。

【地圖】 陸地の形状を示す地圖を地形圖といひ、地形を現はす方法には等

高曲線等高線、滲漚浸漚などがある。我が陸地測量部から發行してゐるものは主

として等高曲線により、その縮尺には二百萬分・一十萬分・一十萬分・一二十

萬分・一五萬分・一二萬五千分一等がある。大都市及びその近郊には一萬分

一があり、また登山その他に用ひる特殊地形圖も發行せられてゐる。

地圖にはまた地質圖がある。これは地表上に存する各種岩石の種類即ち

火成岩水成岩及び變成岩の三大別並びにこれ等の細別を、その分布に従つ

て色別または記號別で示したものであつて、通常地層の傾斜褶曲斷層等を

も示してある。我が國の地質圖には商工省地質調査所發行の二百萬分一

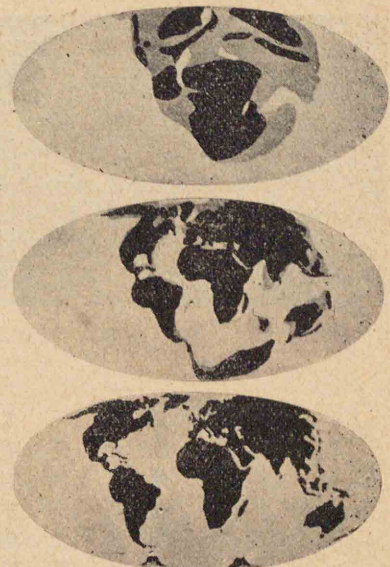
百萬分一四十萬分一二十萬分一七萬五千分一等がある。

この他地形を模型的に示した鳥瞰圖や小縮尺の地圖に適する輯成圖があ

り、海洋の地形を示すものに海圖(三十二頁参照)がある。

第二節 大陸

地球上の大陸は地理學上、東大陸・西大陸・オーストラリア

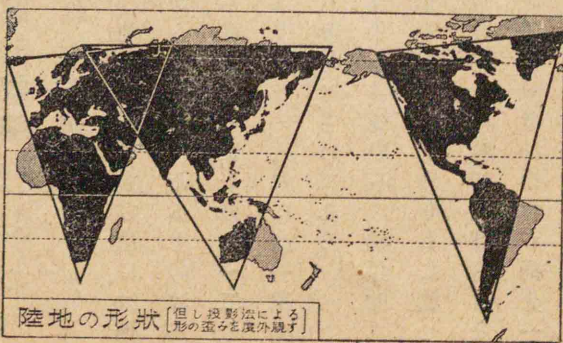


大陸漂移の順序を示す圖

*陸半球の極はほぼ北部フランスで、水半球の極はほぼニューギニアと南東海中にある。陸半球の陸地は陸地全體の九割を占める。

ストラリアを加へて世界を六大洲とする。これ等の大陸は北半球に多く集り、南半球には少い。また地球を陸地の分布によつて陸半球水半球に分つこともある。各大陸は互に連絡して文化の接觸を容易ならしめてゐる。

大陸はも一つであつたのが大陸漂移によつて分離したといふ説がある。



陸地の形状 [但し投影法による形の歪みを除外せず]



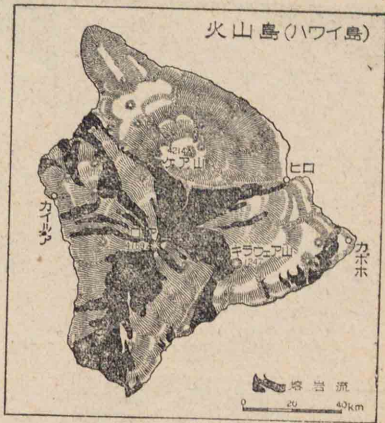
日本列島の生成模式圖(ヴァン・ルーンによる)

各大陸の地形は一般に南方に向つて尖り、北半球にあるものは地形が複雑で氣候も變化に富み、文化の發達に適するが、南半球の大陸はすべてがその反對である。

第三節 島嶼

島嶼には、大陸の一部が陥没分離して成つた大陸島(日本・スマタラ・ジャマタラ等)と、大陸には關係のない大洋島(ハワイその他)とがある。大洋島は一方には大陸に近いから、その文化を受入れるに適し、他方には大陸よりの侵略を免れるので、その結果よく獨特の文化を成就せしめて國民の統一團結が可能である。また交通商業の進歩を促し、強大なる海軍を擁して世界に雄飛することが出来る。我が國イギリスはその好例である。併し土地が狭小である結果、人口が増加して食料問題に苦しむことがある。

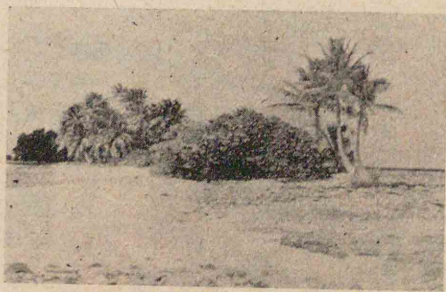
大洋島とは主として海底火山の活動によつて海洋中に噴



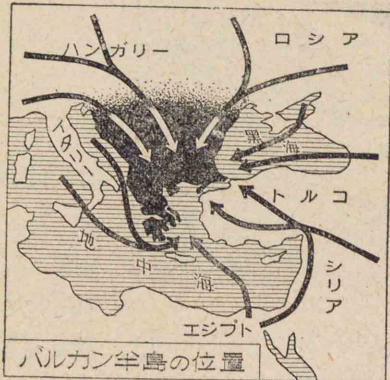
出した火山島、浅海底に生成した珊瑚島及びこれ等兩者の合成になる島であつて、太平洋中に散在する多くの島嶼はこの中の何れかである。この中、火山島は土地が肥沃で農耕がよく行はれるが、珊瑚島は土地狭小で瘠地が多く、經濟上の價値は少い。併しその位置が大洋の中に位するから、交通上、軍事上重要視せられるものがある。

第四節 半島

半島はその成因上、大陸の一部が分離して生じたもの(バルカン半島)と、島嶼が縁海の隆起若しくは堆積により、陸地に接合して成つたもの(能登半島、山東半島)との二種に分つことが出来る。人文上から見れば、半島は大陸と島嶼、または大陸



マーシャル諸島(左方に内海、右方に外海が見える)中の珊瑚島



*朝鮮半島が我が國に對し、支那文化並びに佛教傳來の橋梁となつた如きは、その適例である。

と大陸との間に文化及び民族移動の橋梁となり、文化は早く發達するが、同時に種族が混同して統一に困難を來たし、國力の發展を妨げられる場合がある。

第五節 平原

平原若しくは平野には、山地の削剝されたものや、海底の隆起したものや、または流水の堆積作用によるもの等がある。平原は氣候の變化が少く、交通が便利で農牧に適し、人口も多く、文化も早く興る。特に海岸及び河岸の沖積平原は最もよい人類の住所であつて、現代文化の中心をなし、世界的大都市は何れもここに發達してゐる。



▲ロシアの平原は古い地塊が削剝されて出來たものであり、我が關東平原やアメリカ合衆國の中央大平原の大部分は海底の隆起したものであるが、何れも流水の堆積作用を伴ふ。

盆地とは山間の平原であつて、湖盆地(京都・甲府)・斷層盆地(諏訪・奈良)・浸蝕盆地(秩父)等があり、自然の要塞を圍らすために、昔時文化の中心になつ

たものが多い。

第六節 山地

山地の成因には褶曲(アルプス・ヒマラヤ・アンデス・ロッキークイ・四國・九州)・断層(グレート・イアン・イアン)・火山等の作用があり、これ等が或は單獨に、或は複合して働くのであるが、更にこれに浸蝕作用が加はつて、地形を益々複雑にする。

山地は一般に寒暑の差が大きく、雨量もまた平地に比して多いのが常である。従つて森林がよく繁茂し、水力の源を涵養するのに都合がよいが、交通不便で耕地に乏しく、人口は少い。

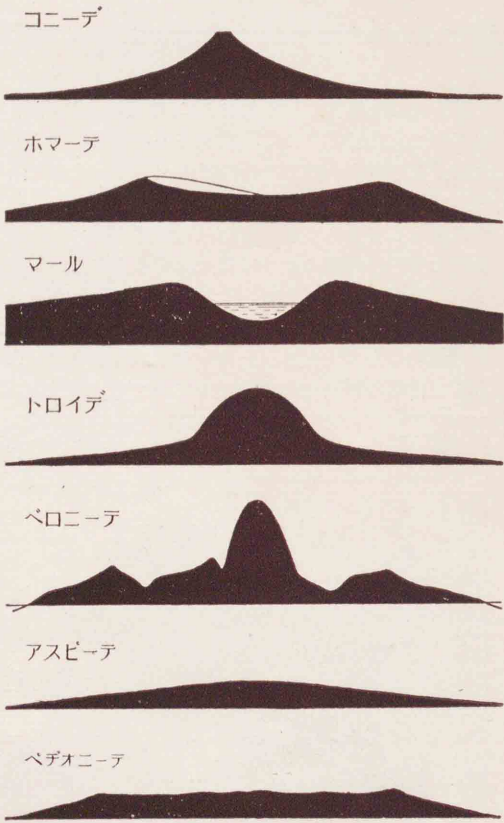
山地の高度が小で、傾斜の緩かなものを丘陵と呼び、よい牧場となり、果樹や茶・煙草等の特殊作物の栽培に適することがある。

山地の住民は、時に保守偏狭で鬭争を好み、文化に後れることがあるが、心身頑強で質實剛健



アルプス山中サンモリッツ附近の牧場

*断層によつて出来た山地を地塊(ブロック)山地と呼び、陥没した帯状の部分に地溝と呼ぶ。地塊の兩側に断層崖を有するものを地壘(ホルスト)といひ、一方の断層面が急斜し他方が緩傾斜面をなす時はこれを傾動地塊といふ。浸蝕の結果堅い岩石が孤立して残つた山を殘丘(モナドノック)と呼ぶ。その上面の平坦なるものは、大なるをメサ、小なるをビュートと稱する。



＝火山の型＝

地形學上、次の數種に分類される。

コニーデ (Konide) 圓錐形の單式火山で、我が國に多い。富士山はその好例であつて、その外に駒ヶ岳・岩手山・男體山・淺間山・開聞嶽・大屯山等がある。

ホマーテ (Homate) コニーデの一種で、爆發または陥落・浸蝕のために大火口(カルデラ)を有するものであつて、箱根外輪山はその好例である。火口内に噴出した新火山を火口丘といひ、舊火口壁を外輪山、外輪山と火口丘との間の低地を火口原、火口原に水を湛へたものを火口原湖、火口内の水が火口壁を貫流する溪谷を火口瀨といふ。かかる火山を複式火山といひ、風景の美しいものが多い。

マール (Maar) 主として蒸氣の爆發によつて出来る圓形の凹地で、中に水を湛へるものがある。男鹿半島の一、目瀉・二、目瀉の如きこれに屬する。

トロイデ (Tholoide) 塊狀火山ともいひ、流動性の乏しい熔岩が鐘狀に迸發したもので、大和二上山・若草山・大山・三瓶山・青野山等はこれである。

ペロニーテ (Belouite) トロイデの一種で、熔岩丘が柱狀に聳えるものをいひ、ペレー火山や樽前山の火口内に生じたものがある。

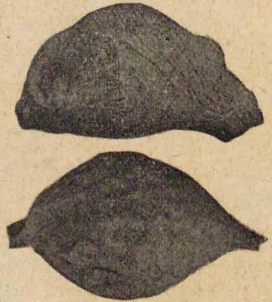
アスピーテ (Asphte) 扁平式火山ともいひ、流動性の大きな熔岩によつて作られた緩傾斜の火山で、森吉山・月山・立山・白頭山・阿蘇外輪山等はこれである。

ベデオニーテ (Pedouite) (熔岩臺地) 熔岩が裂罅または多數の火口から迸發して臺地を作るもので、テッカ高原・コロンビア高原・朝鮮北部の熔岩臺地及び屋島等はこれである。

*西暦元年ゲニス
 ヴィアス山噴火に
 よりボンベイ・ヘ
 ルクラネウムの二
 町を埋没し、明治
 二十一年磐梯山爆
 裂により山體の三
 分の一を失ひ、河
 水を堰止めて湖水
 を生ぜしめ、大正
 十五年十勝岳の噴
 火には泥流を流し
 て耕地・人畜を害
 した。また明治十
 六年のクラカタウ
 島の噴火の時にも
 火山灰を全世界に
 送った。



櫻島の(大正三年の噴火によつて流出し九
 熔岩 (百戸の村をその下に全滅させた)



火山弾に熔岩流泥流を生じて附近の原野を埋め、人畜を害することがある。併し火山には形状の美しいもの

【火山】
 Volcano

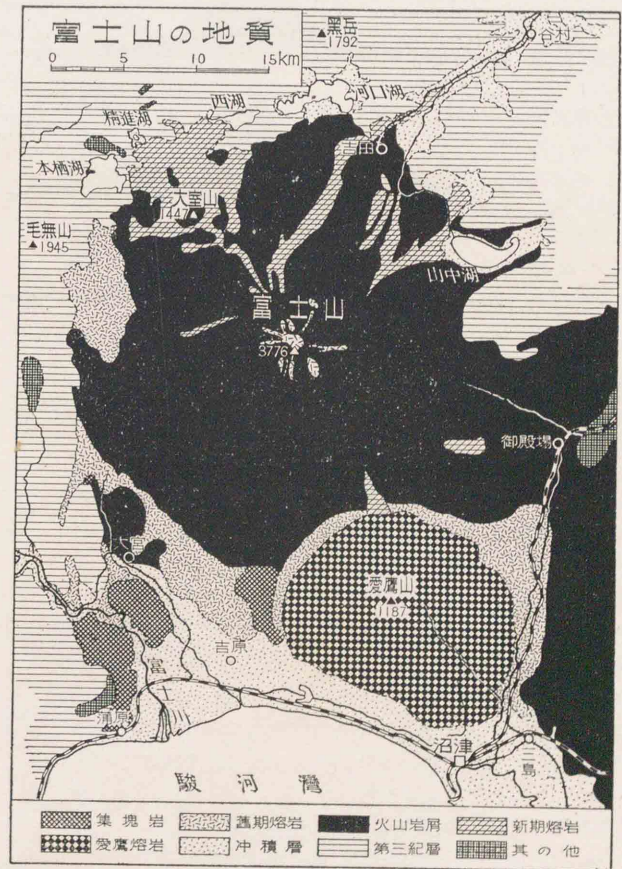
地球の内部から熔岩及び水蒸氣が地殻の弱所を破つて噴出する現象を火山作用といひ、噴出物の性質によつて火口の周圍に種々の形の火山や熔岩臺地を生ずる。火山の噴火に當つては、熔岩の

第七節 火山・温泉及び地震

【高原】 Plateau
 山地がかなり廣い平坦面を有する時はこれを高原または臺地と呼び、高度の大なるもの(チベット・バミール・コロラド・コロンビア・アンデス山中の高原)は周圍の地方との交通が不便で全く孤立した民族や文化宗教の保存されてゐる場合が多い。

の氣風に富み、偉大な人物を出すことがある。

富士山は愛鷹山や箱根山と共に、地質時代第四紀に噴出・生成したものと思はれ、噴出熔岩は玄武岩であつて、基底をなす舊期熔岩は現在裾野の末端に見られる。その後火山活動の激しい時には火山弾・火山礫・火山灰等の碎屑物質を噴出し、活動の弱い時には熔岩(新期熔岩)を流出した。新期熔岩中、著しいものは北西山麓の大室山の附近にあるものであつて、貞觀六年(西暦八百六十四年)の噴出に係る。寶永四年(西暦千七百七年)の爆裂によつて御火山である寶永山を生じ、以來休火山となつてゐる。富士山の廣袤は東西四十軒、南北三十軒、その地積約九百餘方軒に及ぶ。標高は三千七百七十六米、内地第一の高山で未だ幼年期に屬し、浸蝕は進んでゐない。コニーテ型の代表的なものである。火口の直徑六百七十米、火口底の標高は三千五百五十六米である。山側の傾斜は山頂附近で三十二度乃至三十四度であるが、漸次小さくなり、裾野では數度になり、遂に水平に近づく。側火山の數は四十五箇あり、その多くは千米乃至二千米の等高線間にあるが、寶永山のみは二千七百二米の所にある。

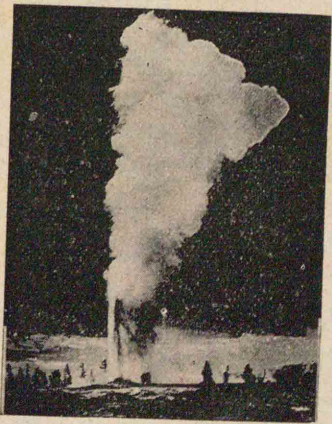


富士山は甲駿の境に聳え、周圍にこれを遮る高山がなく、その崇高なる芙蓉の姿は自づとこれを仰ぐもの心を淨化して遂に國民的信仰の目標となり、我が國民性の象徴として詩歌・繪畫に各時代を通じて現れ、外國人もこの山の名(Fuji yama)を以て櫻花と共に日本の同義語と解するに至つた。夏季は登山者多く七月初より八月末まで山を開く。頂上には氣象觀測所があつて、冬季でも觀測に従事してゐる。

*蒸気孔・硫気孔・炭酸ガス等があり、炭酸ガスは清涼飲料の原料となる。
 ▲體温以下の場合を冷泉といひ、鐵物質を含む冷泉を鑛泉といふ。溫泉の中、時を隔てて噴騰するものを間歇泉といひ、イエローストーン公園・我が鬼首が知られてゐる。
 ■瀬戸内海航路別府線・東武鐵道伊香保線の如きその好例である。
 ×震源とは地震の發生點で地下にある。その直上の地を震央と呼ぶ。震央では殆んど上下動のみを感じ、これを遠ざかるに従つて上下動は衰へ、遂に全く水平動のみとなる。

が多く、山中には火山作用に原因する湖沼や瀑布があつて、風景に秀でる。また火山灰に被覆された地方は一般に土地が肥沃であり、火山の裾野は好牧場となる。

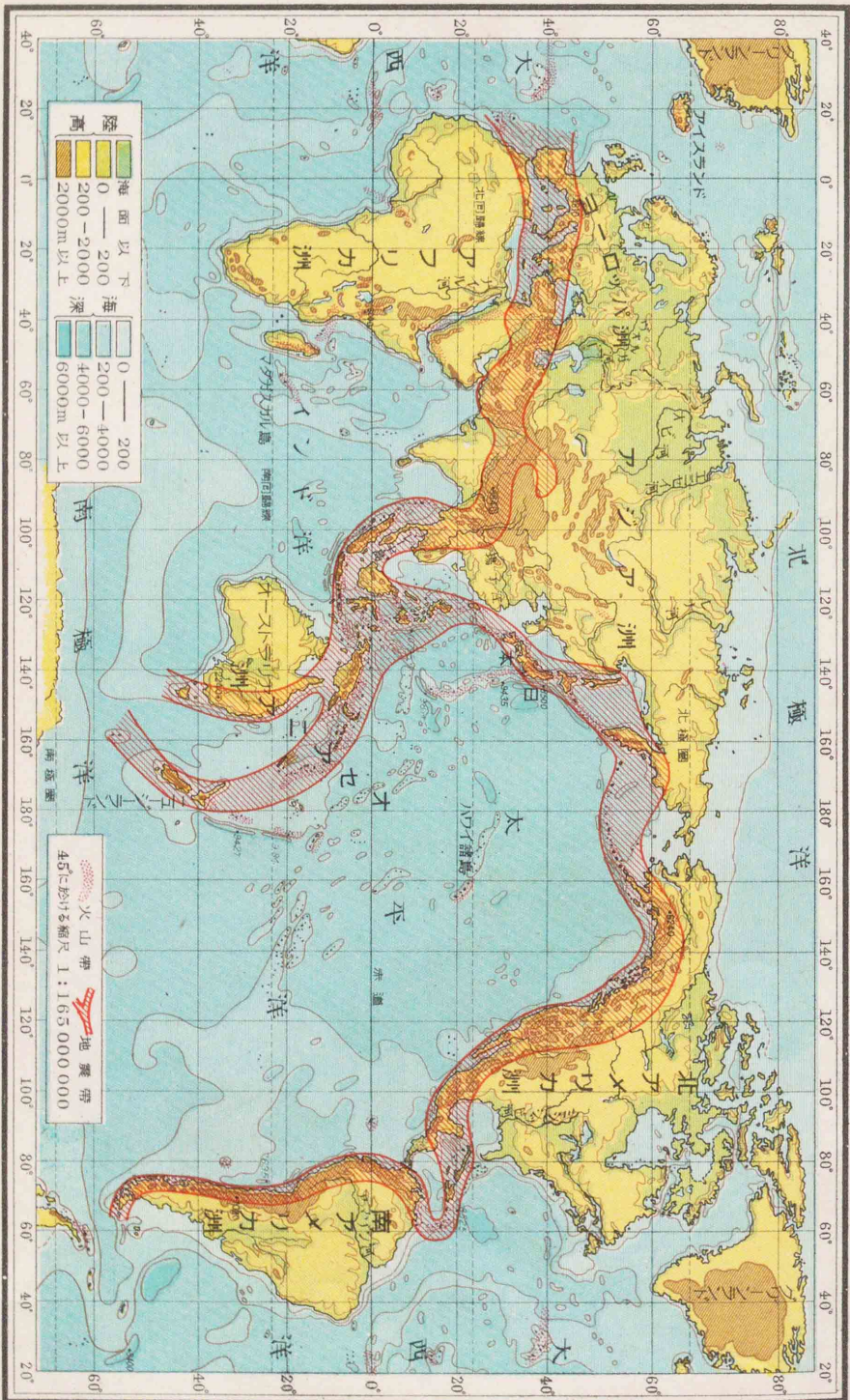
【溫泉】
 Hot Springs 火山作用の餘勢として、地下からガス類を噴出するものを噴気孔といひ、地下水が地熱のために温められて湧出するのを溫泉といふ。溫泉はその中に溶解含有する固形物その他の性質によつて硫黄泉（上諏訪・筑前武蔵・鹽類泉（熱海・出雲玉造）炭酸泉（別府・寶塚）酸性泉（草津）單純泉（道後）ラヂウム泉（三朝・増富）等）に分類するが、明瞭に區別し難いものもある。我が國は火山と共に溫泉の種類も頗る多く、諸所に溫泉聚落の發達があり、屢々交通路をも決定する。

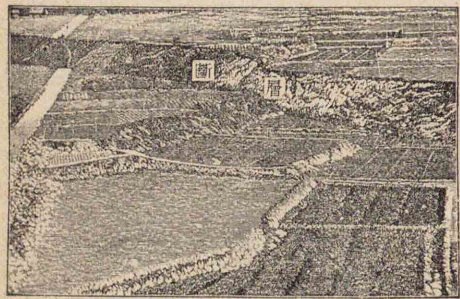
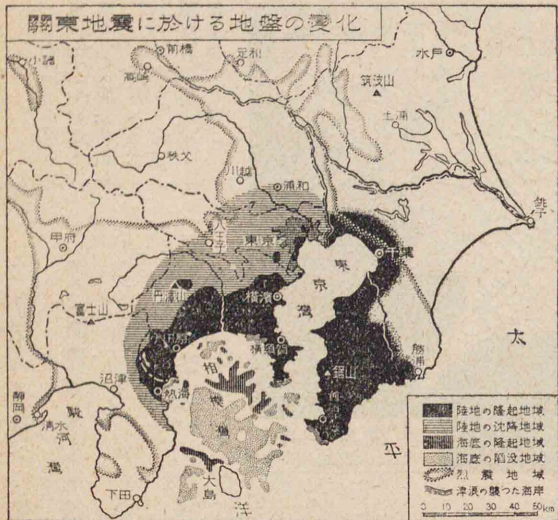


イエローストーン公園の間歇泉

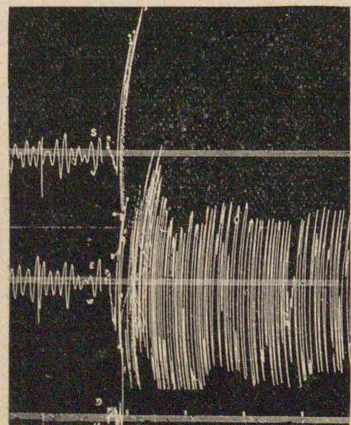
【地震】
 Earthquake 地震は地殻の不安定な部分に急激な變動が起り、地盤が種々の方向に振動するものであつて、その波動は時として數千軒の遠方にまで感ずることがある。世界に於ける地震の分布は火山の分布と一致し、大陸の周縁にある褶曲山系の附近に多い。火山の噴出や地盤の陥落は同時に地震を伴ふが、これ等兩者は震源が浅く、従つて振動

世界陸高海深及び火山地震帶圖





根尾谷断層 (明治二十四年十月二十八日の濃尾大地震により生成)



(動) 上は南北動、中は東西動、下は上下動の記録

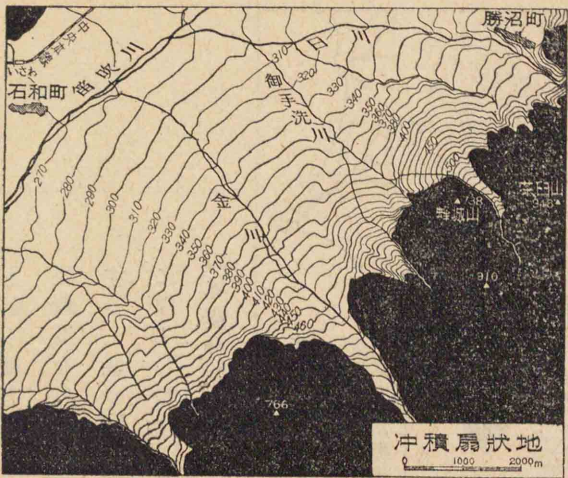
大正十二年九月一日の關東大地震の記録

も弱く、被害は少い。これに反して深発地震は震源が深く、地盤の隆起や陥落を伴ひ、龜裂斷層を生じ津浪を起して建物を破壊し、また時に火災を伴つて多數の生命財産を滅する。我が國は環太平洋褶曲山系の一部に當り、有名な火山及び地震國であるから、常に震災に對する豫防に心掛けねばならぬ。

【地震計】 振動を感じない不動點を設けてこれに指針をつけ、地盤と共に振動するものにその振動を記録させる仕掛で、通常東西動南北動及び上下動を各別に記録する。地震は通常、初期微動に始まり、次いで主要動に入つて振幅が最大と

Plutonic Earthquake

* 三角洲及び扇状地が幾つも相連する場合を合成三角洲、インドのコロマデル海岸、合成扇状地(甲府盆地、松本平)と呼ぶ。



なり次第に衰へて遂に微弱な終期動となる。地震はその強弱により、微震(靜止せる人に感ず)弱震(戸・障子が鳴り垂下物が動く)、強震(振り時計が止り、坐りの悪い物體が倒れる)、烈震(山崩れ家屋倒壊す)に分つ。

【災害防止】

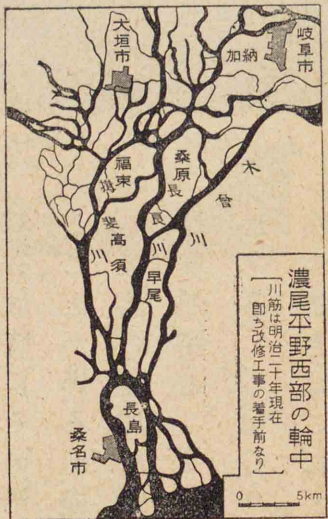
地震の災害を防止するには、先づ地震を豫知することであるが、これは未だ不十分であるから、地震の害を軽減するために耐震建築や火災防止の手段を講じ、家屋を地盤の弱い所に建てぬ注意が肝要である。

第八節 河流、谿谷 附泉水河

【河川】 河川の上流は一般に浸蝕、運搬作用が行はれ、中流下流では堆積作用が盛んとなり、河川は蛇行(メアンダー)して沖積平原(洪氾平原)を形成する。河口に堆積された沖積平原を三角洲と呼び、山麓に堆積したものを扇状地といふ。沖積平原は洪水の患があるが、一般に地味肥沃で灌漑の便があり、治水工

* 木曾川下流には堤を圍らした聚落があり、これを輪中(ワヤユウ)といふ。

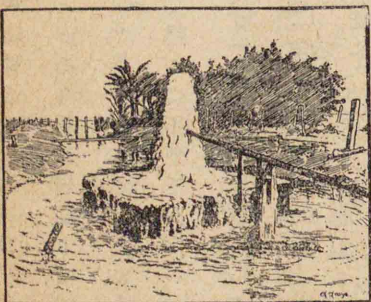
▲ 交通路としての河川の價値は、水深・流速・可航距離・洪水・結氷等の外、背域の良否と流路の方向とが非常に大なる關係を持つ。ライン・揚子江は方向がよく、ミシシッピ・オピ・エニセイ等は方向が悪い。



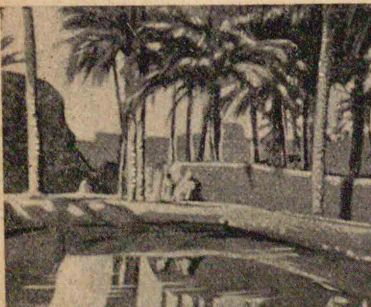
事によつて人口の最も稠密な地域をなす。南東アジアの米作地帯の如きはその例である。河川は飲料水、灌漑水を供給し、また動力の源となる場合があり、その水路は交通路として利用される。

【地下水泉】

大氣中の水分は陸面に降下して地中を循環する。これを地下水と呼ぶ。その地上に湧出するものを泉といひ、人工によつてこれを採るのに井または鑿井(掘抜井)があつて、飲料水や灌漑水を得るのに重要であるから、聚落の位置や農牧業の所在を決定するのに大なる關係がある。石灰岩岩鹽石膏等の如き水に溶解



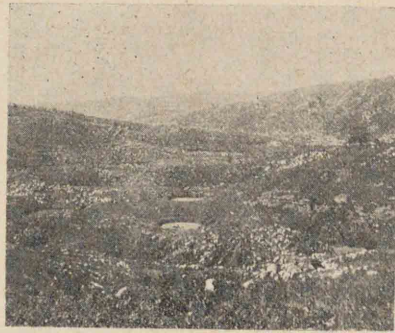
オーストラリア中央低地の鑿井



アフリカ北部沙漠中のオアシス



カルス(ダルマチアの一地方でカルス)ト地方ト地形の名はここから起つた



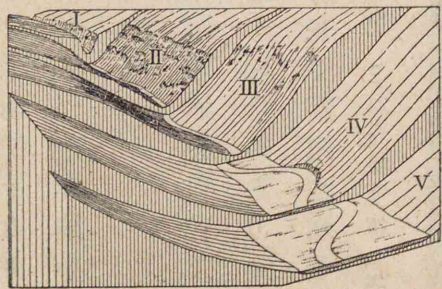
秋吉臺(石灰岩の露出した荒地とド)リネとがよく現れてゐる

し易い岩層より成る地方では地下水のためこれ等の岩石が溶解して洞窟を生ずることがあり石灰岩地方ではこれを石灰洞(鍾乳洞)といひ地表には石灰罅(ドリネ)等を生ずる。かかる地形をカルスト地形と稱し、一般に荒地をなして耕作に不便である。

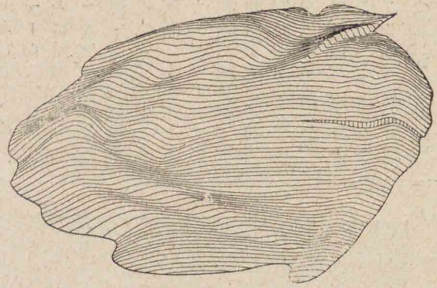
【谿谷】

谿谷には褶曲、斷層に因るものの外、火山噴出物の間に出来た裾合谷等がある。褶曲山脈に於ては、これに並行する縦谷(北上川、阿武隈川、吉野川の下流及び上流)及びこれを横切る横谷(野川の中流)を生ずる。

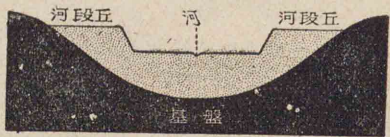
谿谷は時にその沿岸に小平野を作ることがあるが、概して耕地に乏しく、聚落の發達に適しない。ただ屢屢交通路として重要視されることがある。木曾谷、ライン峽、谷支那三峽の如きはこれである。



谷の發達の順序(番號)を示す圖



原地形



河段丘

【浸蝕の輪廻】(地形の輪廻)

地殼變動によつて隆起した海底面や火山の噴出によつて生じた熔岩火山灰等の堆積面の如く、平滑な地形を原地形と稱する。これに外力主として風化及び河水の浸蝕が働いて地表を削り始めると、幼年期の地形と稱し、彫刻の最も進んだ時を壯年期と稱し、次で凹凸が少くなれば老年期といひ、最後に準平原即ち終地形に達する。この經過を浸蝕の輪廻といふ。土地が再び内力作用によつて隆起すれば次の輪廻に入り、地形の若返りが行はれる。

その際、河流には所謂先行河を生じ、海岸段丘は我が及び河岸には段丘を生ずることがある。海岸段丘は我が北海道樺太によく發達し、河段丘は桂川、酒匂川、天龍川、由良川等に著しく、聚落や耕地の位置がこれによつて決定される場合が多い。

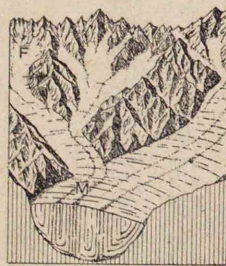
*眞岡・大泊等の町は段丘上に發達し所謂階段都市をなしてゐる。
▲雪線の高さは緯度によつて異り、極地では海面、赤道附近では約5000米に達する。

【氷河】

雪の永久に消えない限界線、即ち雪線を越えて凝結した萬年雪が徐々に降下するものを氷河と呼ぶ。高緯度の氷河は氷山となつて流れ、海上の氣温を低下させて霧



氷蝕地形 (K. カール H. 懸谷 U. U字形谷)



氷河 (F. 萬年雪 M. 堆石(モレーン))

*氷河の有無を決定するにはU字形谷・懸谷・峽灣・氷河湖・堆石・漂土・擦痕等の有無による。

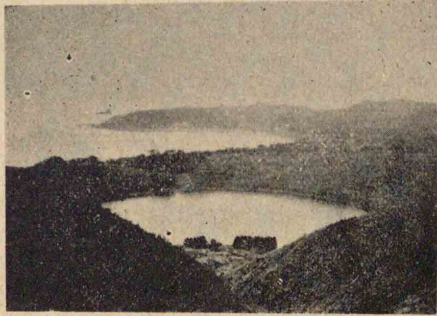
▲火口湖(天池)、マール(二目湖)、火口原湖(蘆湖)、カルデラ湖(洞爺湖・池田湖)、堰塞湖(中禪寺湖)、氷河湖(カナダ・スカンヂナヴィアの諸湖)、河跡湖(石狩川下流の諸湖)、海跡湖(宍道湖・裏海、瀉湖(河北湖・猿瀧湖)、環礁湖(ヤルト島・トラツク島)、断層湖(琵琶湖・諏訪湖)。

を生ぜしめ、航海に危険を及ぼす。また氷河は特殊の氷蝕地形を作り、嘗てこれに被はれた地方には堆石漂土を残し、或は氷河湖を形成する(北アメリカの北部・フィンランド)。また海岸には土地の沈降によつて峽灣を生ぜしめてゐる(スカンヂナヴィア・スコットランド)。漂土は北アメリカの如く農耕を助けるものと、北部ヨーロッパの如く砂質土壌のため却つて地味が瘠せるものとがある。我が國には現在氷河はないが嘗てあつたといふ説も一部には行はれてゐる。

第九節 湖沼

湖沼とは陸内に水を湛へたもので、その成因により、火山湖(火口湖・マール・火口原湖)、氷河湖、河跡湖、海跡湖、瀉湖、環礁湖、断層湖等に分つことが出来、水質によつて鹹湖、半鹹湖、淡水湖に分つこともある。

湖沼は風景をよくし、水量の調節をなし、氣候を溫和にし、水力の源を供給する外、漁場となり、交通に利用される。また内陸にある鹹



二目湖(マールの好例)

湖は食鹽を供給する。

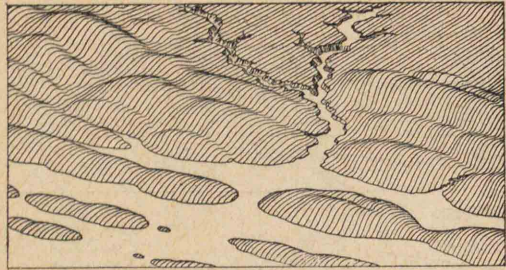
第十節 海岸

【海岸及び海岸線】海岸は海陸の接觸帶で、一般に氣候が溫和であり、健康によく、交通も便利で、文化の發達に適する。また海岸線は長くて複雑なのを尙び、ここによい港灣や錨地を作つて、住民をして海に親しむ機會を多く與へ、海國民として發展することを得せしめる。

【海岸の種類】

沈降海岸は溺谷(三陸海岸・北)

米東) 峽灣・三角江(北海岸等)を作り、また瀬戸内海や九州北西部海岸、朝鮮南西部海岸の如き多島海を生ずる。溺谷の一種にリアス式海岸がある。この種の海岸は一般に風景がよく、良港灣を有して海港の發達に適するが、背域がないか、または背



ダルマチア沈降海岸の標式圖

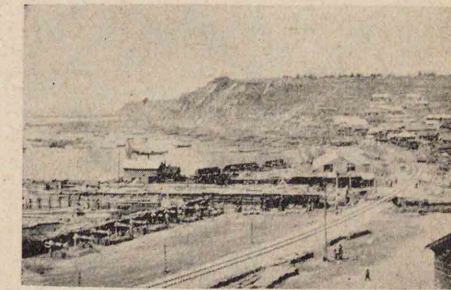


ソグネ峽灣(スカンヂナヴィアの西岸にあり、奥行二百六十軒に達する)

域との交通が不便な時には、却つて文化が後れることがある。

隆起海岸はこれに反して、概して出入に乏しく、砂

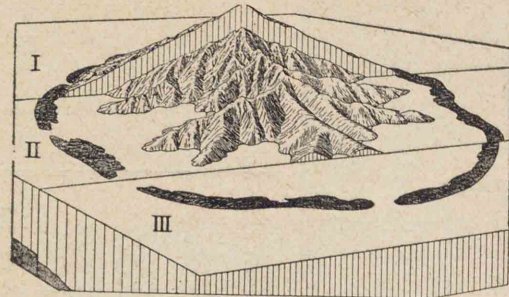
CORAL RISE ELEVATION



樺太の海岸段丘 (圖は大泊の西方、段丘がよく現れてゐる)



臺灣東岸の斷層海岸



珊瑚礁生成の順序 (I. 裾礁 II. 堡礁 III. 環礁)

濱をなし、良港灣が少い。樺太北海道の南東部日向平野・加賀平野・臺灣西部平野等の海岸はこれであつて、屢海岸段丘及び瀉湖を伴ふ。
斷層海岸は海岸が單調である上に、背後に生産地帯を控へないために、文化の發達には最も不利である。朝鮮東岸臺灣東岸はこれであり、親不知の海岸もまた同様である。

【珊瑚礁海岸】
FRINGING CORAL REEF

珊瑚蟲の生育し得る温暖な海洋中にあり、大體赤道の南北

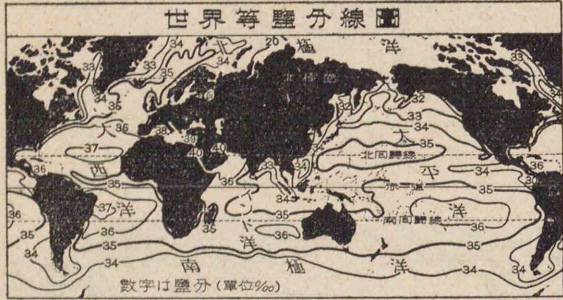
緯度三十度の間に限られる。多くは大洋中の火山島の周圍に發達して裾礁をなし、地盤の沈降に従つて堡礁・環礁を生ずる。
FRINGING REEF

*名高いダーウィンの説であるが、これに對して地球上の氣候の變化の結果海水面上つたために堡礁・環礁を生じたと説く學者もある。

第三章 海洋

第一節 海洋の區分と海水

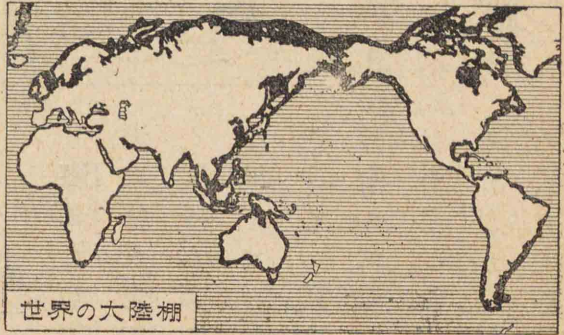
海洋は地表の約七割の面積を占め、太平洋・大西洋・印度の三大洋に分れ、更に多くの屬海(Sea, Ocean)に分れる。海洋は陸地の如く直接人類の住所には役立たないが、雨の源を供給し、氣温を調節し、また海水中には平均三五%の鹽分を含んで食鹽を供給する。現在中央ヨーロッパ等で採掘されてゐる岩鹽(Rock Salt)も嘗ては海中に存したものである。また海洋では漁業が盛んに行はれる。海洋は未開の時代には交通を妨げ、國防上の障壁になつたが、交通機關の進歩により、今や商業や文化を發達させる大きな原因となつた。



世界等鹽分線圖
数字は鹽分(單位‰)

*エムデン海淵 七九三米、プラネット海淵 六六六米、マリアナ海淵 六三三米、豆南海淵 六三三米、ケルマデック海淵 六三三米、トンガ海淵 六八八米等は何れも太平洋中にある。

▲暴風時に於ても海洋の波高は十米波長は二百米を超えることは稀である。

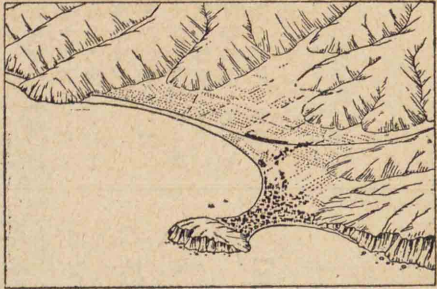


世界の大陸棚

【海底の形状及び海圖】 海底は殆んど沈積作用のみが行はれるから、陸上ほど地形が複雑ではなく、海面下二百米までは大陸の緩斜面の続きであつて、所謂大陸棚をなし、漁業が盛んに行はれる。その外側は急に深くなつて二千米以上の深海となる。五千米以上の深所は狭長な地域に限られ、これを海溝と呼び、その中の特に深い所を海淵といふ。海底の深淺や底質の種類、暗礁や堆の所在、海岸の形状更に潮流の状況や燈臺等を記入した地圖を海圖と呼ぶ。我が國の海圖は海軍水路部から發行してゐる。

第二節 波浪及び津浪

【波浪】 波浪は風的作用によつて起る海水の上下運動である。波浪に頂谷高さ及び長さがある。波浪の大きなものは航海や碇泊荷役の障害となる。また風の一定方向に吹く所では岸に沿つて沿岸潮流を生じ、波浪の不斷の力と相俟つて、浸蝕運搬作用により洞穴、孤立岩を作り、また海岸砂丘や砂洲、砂嘴を形成する。



陸繋島

砂嘴が内部に淺い水盆を抱けば瀉となり、また海岸に近い島と本陸とを連ねて、所謂陸繋島を作る。函館潮岬はこれであり、江島もその進行中にあるものである。

【津浪】 津浪とは火山地震及び時としては暴風のために、大波浪が突然陸地に襲來するものであつて、外洋に向つて開く入江に達すれば特に波高が大となる。三陸海岸に津浪の害の多いのは、一つにはその地形による。

【災害防止】 津浪は地震や暴風に伴つて起ることが多いから、地震や暴風に遭つた際には、海岸では津浪の襲來に備へねばならぬ。津浪の害を避けるためには、襲來の虞のある場所には堤防を築き、また聚落を移轉するやうにせねばならぬ。

第三節 潮 汐

或る場所に於ける海水は、月の運行に伴つて一日に二回の週期を

*Tsunami といふ言葉は我が國の津浪から出て世界的學術語となつてゐる。
▲明治二十九年の三陸津浪は多くの村落と二萬七〇〇〇の生命とを奪つた。

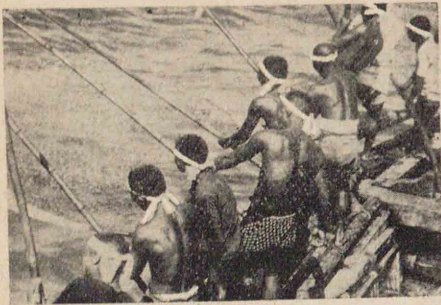
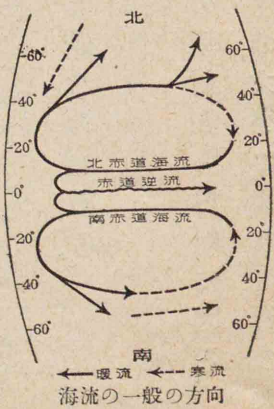
*潮汐は月の引力によつて起る。太陽も引力を及ぼすが、その力は月の二・三に對して一であるから、潮汐の週期には關係ないが、月と太陽とが同一直線上に來た時には起潮力は三・三の力となり(大潮)、地球に對し忡度の位置に來た時には一・三の力となる(小潮)。また潮汐は實際には月の南中よりも後れて起る。潮汐の浪は一般に大洋の東部から西部に移るもので、同時に起る場所を結んだ線を等潮時線といふ。
▲鳴門・下關・來島の諸海峡に著れる

以て昇降する。これを潮汐と呼び、月に面した時と月に反した時とは満潮となり、その中間の時は干潮となる。
潮汐干満の差は地方によつて相違する。殆んど陸地に圍まれる日本海・地中海等では干満の差は小さいが、陸地間に彎入した淺海(明等海)ではその差が大となる。即ち北アメリカのファンデー灣は十六米餘、朝鮮の仁川は十米、九州の有明海は六米に及ぶことがあるのに、日本海岸では僅か三分の一に過ぎない。干満の差の大きいことは、屢々船舶の碇泊に不便を與へ、パナマ港はこれがためにパナマ運河の終端港とならず、三池港・仁川港の如きは閘門式船渠を築造して、この缺點を補つてゐる。

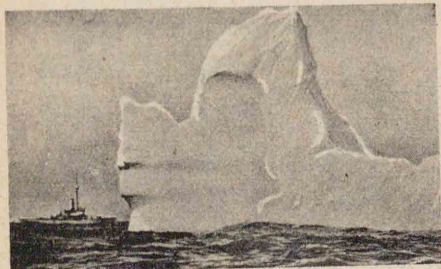
【潮流と海嘯】 潮汐干満の際海水が狭い海峡を通過する時には激しい潮流を起し航行を困難ならしめる。また三角江をなした河口では満潮の際海水が壁立して上流に向つて流れ、壯觀を呈する。これを海嘯といふ。支那錢塘江口及び南米アマゾン河口の海嘯は殊に名高い。

第四節 海流

海水が風向、比重の差、地球自轉の影響、陸地の分布等によつて一定の方向に流れる時、これを海流といふ。海流には貿易風によつて赤道附近に起り、次第に極地方に向ふ暖流と、主として對流作用によつて高緯度地方から低緯度地方に向ふ寒流とがある。



乗流に乗る暖流 (合沖縣城茨) 船釣鰹 (群り來る鰹を釣り上げる)



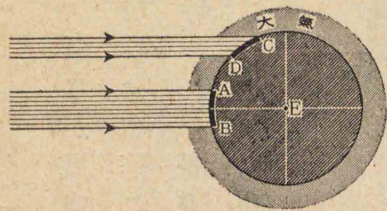
ラブラドル海流 (約九分の一が水) に於ける冰山 (上に現れてゐる)

向ふ寒流とがある。
暖流の主なるものは日本海流(黒潮)、メキシコ灣流、東オーストラリア海流、ブラジル海流等であつて、寒流の主なるものは千島海流(親潮)、ラブラドル海流、ペルー海流等である。
海流は氣候に影響し、生物分布を左右し、航海・漁業にも大なる關係がある。

第四章 氣 候

第一節 大 氣

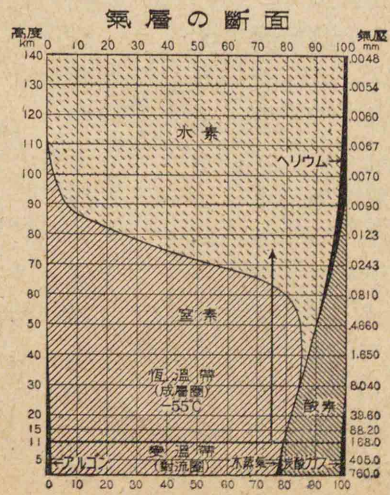
大氣は地球の外部を包む空氣の層であつて、その成分は主に窒素(七八%)、酸素(二一%)から成り、少量のアルゴン、炭酸ガス、水素等を含む。大氣は地表の熱の放散を防ぎ、天候の變化を起さしめて、太陽、水と共にすべての生物の生存を可能ならしめる。



太陽の高度による日射の大小の場合
 A Bは太陽の高度大なる場合
 C Dは太陽の高度小なる場合

第二節 氣 温

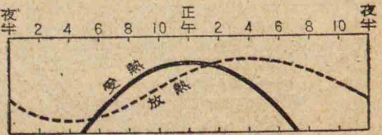
大氣の温度は太陽熱の輻射、即ち日射に因る。従つて氣温の高低は日射の大小に係り、日射の大



*炭酸ガスの分量が増せば氣温が高くなり、減すれば氣温が低くなるといわれる。
 ▲人類の生存し得る限界は理論上(酸素の量による)は地上30軒であるが、實際は4000米で既に呼吸困難を覚え、6000米以上では全然生存不能となる。
 ■大氣は直接に太陽熱を吸収するよりも地表熱を吸収する方が多い。従つて地表に遠い高山や高層は地表よりも氣温が低い。

*約百米上昇する毎に、一度乃至六度の遞減がある。

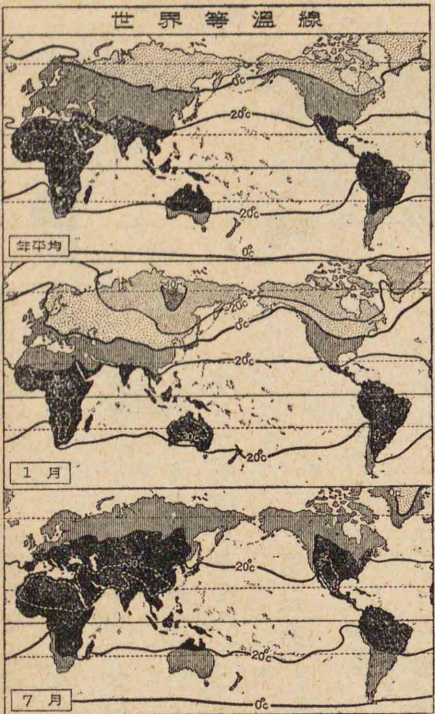
小は太陽の高度に關係する。故に低緯度地方は高緯度地方よりも、晝は夜よりも、また夏は冬よりも氣温が高い。一日の中でいへば、太陽の南中した正午が最も日射は大であるが、氣温が最高に達するのは、地表の受熱と放熱とが平均した午後二時頃である。北半球の夏が七月または八月に最中となるのもこれと同理である。



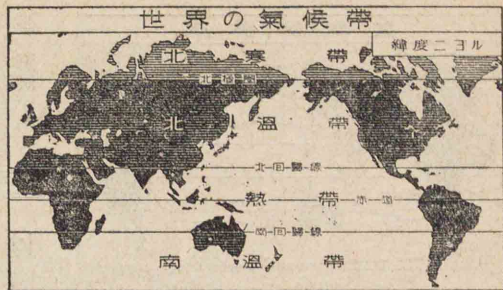
一日中の陸地の受熱と放熱

地表に於ける氣温の分布は必ずしも緯度の高低と一致せず、海陸の分布、高度の變化等により、同じ緯度でも著しく氣温が異なる。

【等温線】各測候所の出来るだけ長期間に互る氣温の平均をその地の平均氣温と稱し、これを海面上の氣温に更正して等しい温度の地を連ねた曲線を等温線といふ。海面上の氣温に



世界等温線



更正するには、普通高さ百米につき〇五度を加へる。これに對して海面更正を行はないで作つたものを實際氣温分布といふ。地球表面に於ける所謂氣候帯の区分には、緯度によるものと等温線によるものがある。緯度によるものは赤道回歸線極圈によつて、また等温線によるものは普通年平均二十度以上零度以上零度以下によつて、熱温南・北寒南北の五帯を分つ。

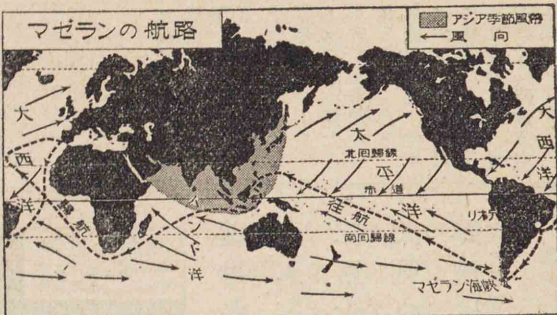
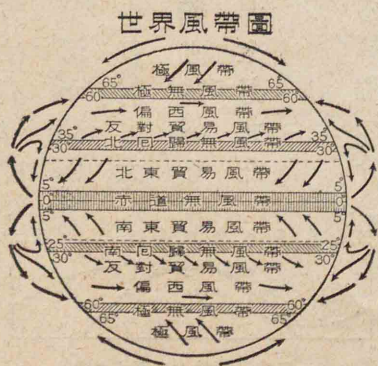
第三節 風

【風帶】

Wind Belt
Atmospheric Pressure

風は氣壓の相違から起る。赤道地方では大氣が

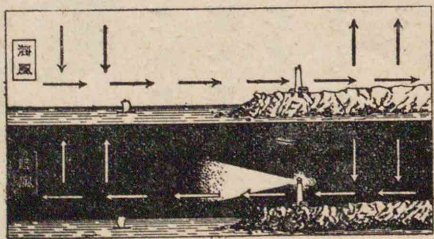
熱せられ、上昇して低氣壓となり、氣流は上層を南北に向ひ、下層ではこの低壓部に向つてその兩側より上層と反對な氣流を起す。下層の氣流を貿易風といひ、上層のものを反對貿易風といふ。その方向は地球自轉の影響を受け、貿易風は北半球では右に轉じて北東風となり、南半球では左に轉じ



*陸地は海洋に比して熱の傳導度が小さいために表面のみが急に熱せられ、また急に冷却する。

て南東風となる。反對貿易風は北半球では南西風、南半球では北西風である。反對貿易風は次第に下降氣流となり、一部分は南北緯三十度前後に降りてここに高壓の回歸無風帯を生じ、他は更に高緯度地方に延びて兩半球共に偏西風となる。貿易風や偏西風は帆船航空機の航行その他に利用せられる。

【海風・陸風及び季節風】
Sea Breeze, Land Breeze, Monsoon
陸地と海洋とは熱の傳導度に相違があるため、一日の中に海風陸風の現象があり、季節



海風と陸風

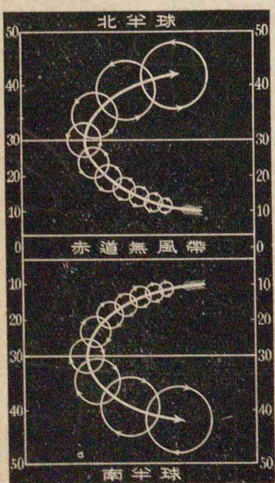
によつては季節風を生ずる。季節風はインド南東アジア・オーストラリア

等に著しく、帆船の航行に利用せられる外、農耕に大なる關係がある。我が國の日本海斜面の冬季の季節風が、交通に及ぼす影響も大きい。

【颱風】

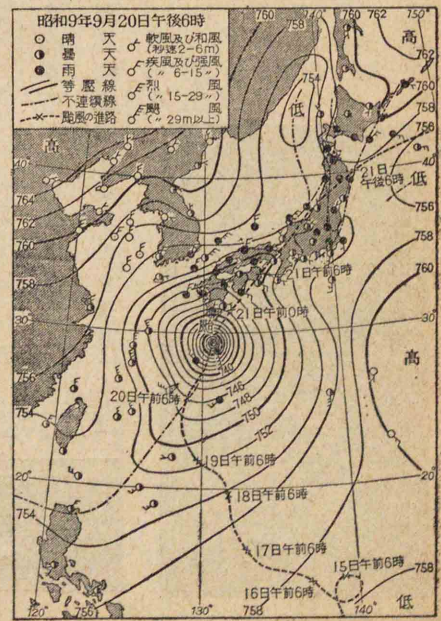
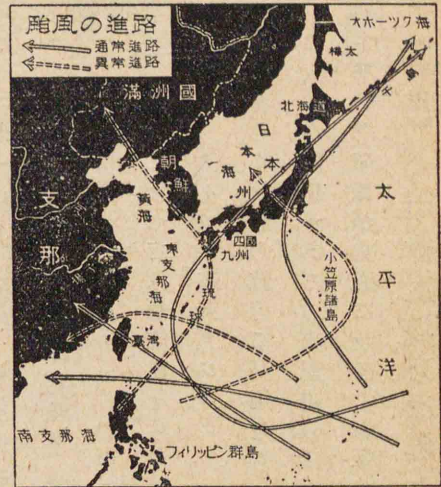
Cyclone

中緯度地方は屢々颱風に



旋風の一般の方向

* 颶風とは熱帯以外に起る暴風の總稱であつて温帯に多く、陸地の過熱または季節風の交替等によつて生ずる低氣壓を滿たさんとして周圍から起る氣流である。氣流の旋轉はパイロットの法則に従ひ、北半球では反時計方向、南半球では時計方向を採る。



襲はれ、従つて天氣の變化が多い。熱帯地方に起つて高緯度地方に向ふ旋風で、暴風雨を伴ふものを颶風と呼ぶ。我が國を襲ふものは二十日前後に多く、颶風と名づけられる。低氣壓が適當に起れば天氣の變化を來たし、植物の生育には缺くべからざるものであるが、颶風は時として産業・交通に大害を及ぼすことがある。

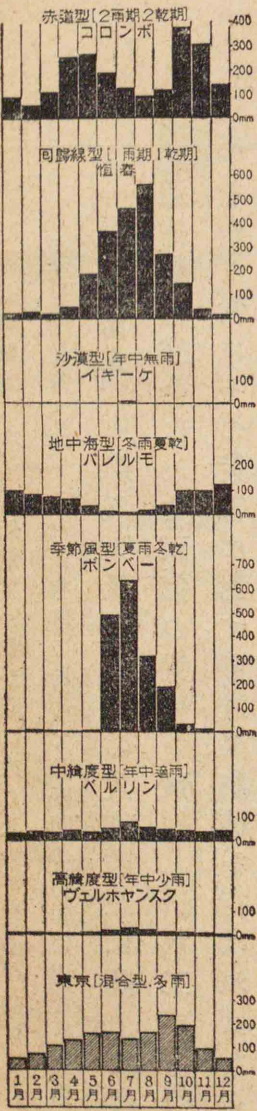
第四節 雨

【雨帶】 Rainfall Belt

空氣中の水分は、氣温が降れば空中では霧・霞・雲となり、地上に凝結しては露・霜となる。雲を成せる水分子が集つて地上に降下するものを雨といひ、氣温の冷却によつて雪・霰・雹等となる。空中から地上に降下する水の總量を降水量(雨量)と呼ぶ。一般に赤道附近には雨が多く、これより南北に行くに従つて減じ、偏西風帯にはまたかなり多く、兩極地方では再び減ずる。雨量はまた地形の影響によつても相違し、山地は平地より、海岸は内陸より多い。

我が國の雨量は緯度が高くなるに従つて減する一般の傾向の外に、季節風の影響が著しく、夏は南東季節風が黒潮の上を吹いて太平洋岸に降雨多く、冬は北西季節風が對馬





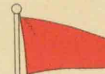
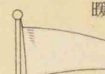















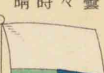
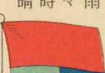
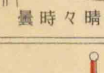
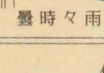
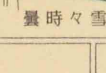
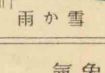
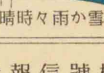
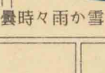
雨量の型

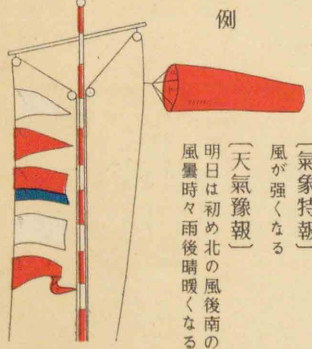








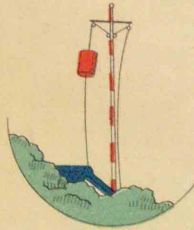
海流の上を吹いて日本海岸に多量の降雨(雪)をもたらす。また六七月の交支那揚子江

地方天氣豫報氣象特報及暴風警報信號標

天氣豫報信號標

風向の旗				寒暖の旗	
					暑くなる 暖くなる
北の風	東の風	南の風	西の風		
				天氣の旗	
北東の風	北西の風	南東の風	南西の風		晴
					曇
曇時々晴	曇時々雨	曇時々雪	雨か雪		晴時々曇
					晴時々雨
曇時々雨	曇時々雪	雨か雪	晴時々雨か雪		晴時々雪
					曇時々雨か雪
曇時々晴	曇時々雨	曇時々雪	雨か雪		霧

<p>例</p>  <p>〔氣象特報〕 風が強くなる 〔天氣豫報〕 明日は初め北の風後南の風曇時々雨後晴暖くなる</p>	<p>氣象特報信號標</p> <p>晝間信號 夜間信號</p>  <p>風が強くなる</p>	<p>暴風警報信號標</p> <p>晝間信號</p>  <p>暴風雨になる 暴風雪になる</p>
	 <p>風雨が強くなる</p>	<p>夜間信號</p> 
	 <p>風雪が強くなる</p>	

<p>〔暴風警報〕 暴風雨(又は暴風雪)になる</p> 

下流域地方に生ずる低氣壓が我が國に來り、北太平洋上の高氣壓に支へられて停滯し、連日雨を降らす。これが梅雨であつて、我が國の稻作に大なる關係がある。

【災害防止】 暴風雨及び洪水の災害防止に關しては、全國の氣象通信網を完全にして天氣の變化を豫知し、治水工事を行ひ、耐風建築をなし、常にその災害に對する避難訓練を行はねばならぬ。

第五節 天氣及び氣候

【天氣】 一定時に於ける大氣の状態を天氣と稱し、産業・交通等我の日常生活に非常に大きい關係がある。或る地の天氣は周圍の氣象の状態を知つて豫報することが出来る。

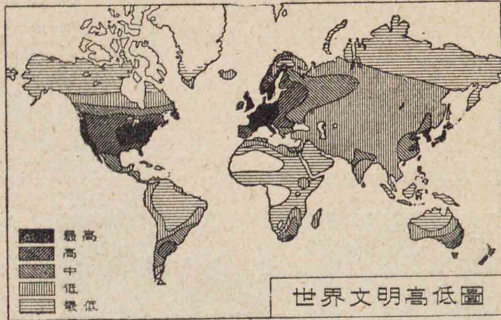
我が國では全國に百三十餘の測候所を設け、これと隣國及び航海中の船舶よりの報告に基づいて中央氣象臺で毎日天氣圖を調製し、それによつて天氣豫報をする。また氣象上異狀のある時には氣象特報を發し、更に暴風雨の虞れある時は暴風警報を發する。

【氣候】 氣候とは或る地に於ける長年月の天氣の平均をいふ。緯度または氣溫によつて熱帶・溫帶・寒帶の別を生じ、また海陸分布に

【環境の變化】 人類の生活はすべてその自然環境に左右せられ、衣食住の形式もまたこれに負ふところが頗る多い。特に氣候は他

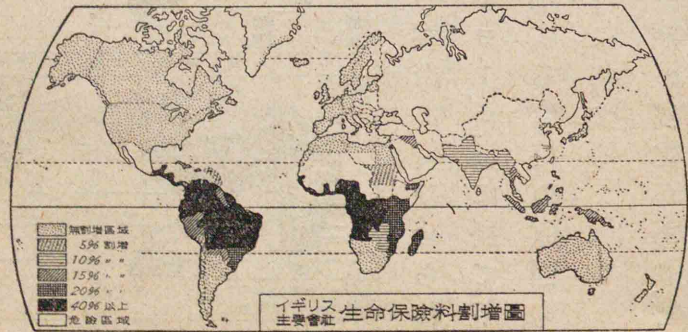
第一節 人類と自然環境

第五章 住 民



よつて海洋氣候大陸氣候沿海氣候沙漠氣候山地氣候等となる。地理學上ではこれ等を綜合して、地球上を幾つかの氣候區に分つ。

氣候は人類の住所たる自然環境を多様にし、健康及び精力に影響して文化の發達に相違を來たさしめる一因となる。世界で文化の最も進んでゐる地域は、溫和で而も變化と刺戟とに富んだ氣候を有する地方である。



天氣圖

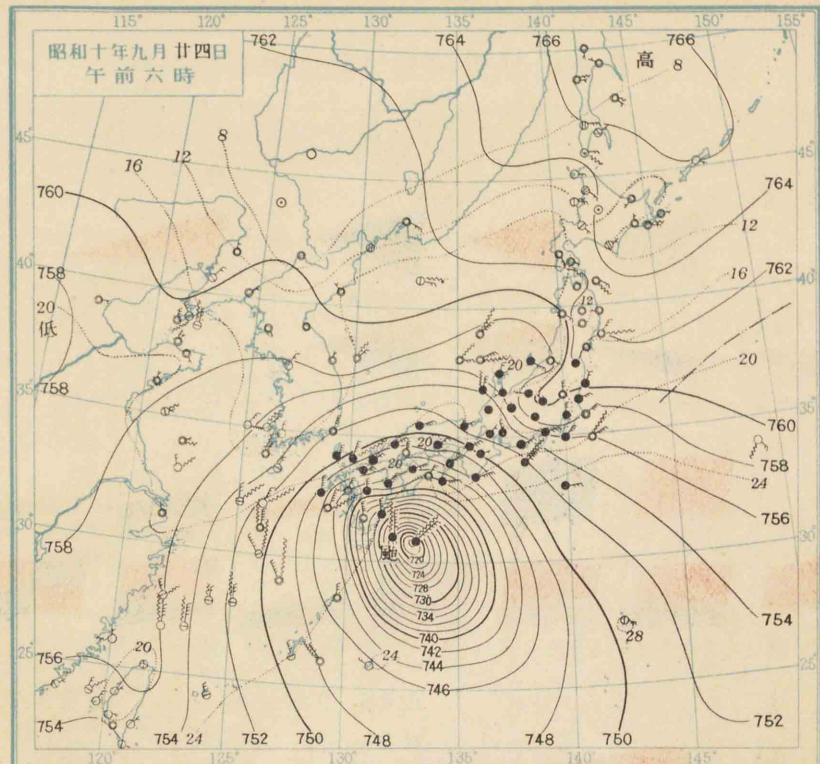
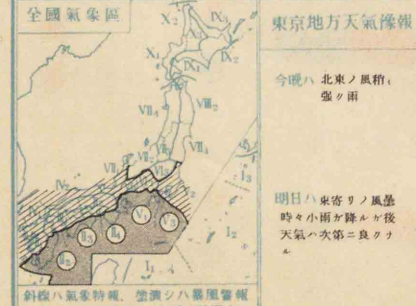


Table with 10 columns and 2 rows detailing weather conditions for different regions of Japan.



Text providing detailed weather reports for various regions, including temperature and precipitation forecasts.

Legend table for weather symbols and terms, including pressure lines, isotherms, and various weather phenomena like rain, snow, and wind.

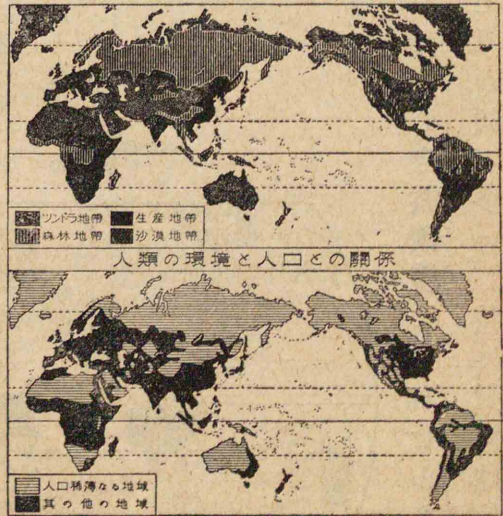
*衣服の起原に關しては種々の説があるが、その主なるものは道德的起原及び氣候的起原である。家屋には自然環境に應じて木造・石造・土造・氷造があり、また樹上・水上・穴居の別があり、更に圓屋根・平屋根・尖屋根等に分たれる。

の自然條件に比して變化性に富むが故に、直接・間接に衣食住に關係することが大である。氣候の變化は日々の我々の生活に關係があるのみならず、年によつては農作物に大なる豊凶の差を生じ、これ等に伴つて人類の移住も起る。我が奥羽地方は屢々夏季太平洋岸の寒冷に災ひせられて饑饉を生じ、北支那及びヨーロッパに於て、年により國外移住者の増加する直接の原因もまた氣候不順による凶作に基する。



ゴンゴ-土(自然環境のみに支配)人の生活(せられた人類の生活)

氣候の變化にはまた長期の變化があり、嘗

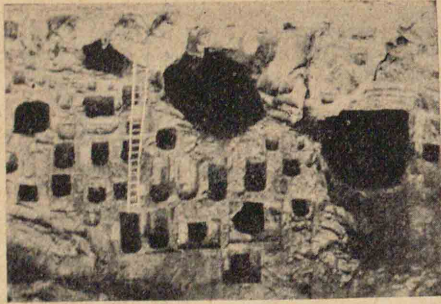


*絶對の支配は出來ない。支配する力は結局は自然を利用して得たものである。

ては氣候が濕潤で農耕が行はれ、文化も發達した地が、氣候の變化によつて乾燥し、不毛の地となつた所があると稱せられる。例へば中央アジア・タクラマカン沙漠・カリフォルニア州等にはかくの如き所がある。

【文化の移動】

人類は自然環境に制約せられると共に、これを支配し得るが故に、文化の進むに従つて文化地帯は移動する。即ち古代の河川文明時代には、地味肥沃にして而も外敵防禦に便利であつたエジプト・メソポタミア・ガンジス河流域・黃河流域(黃土地方)が榮えたが、後、航海術の發達によつて地中海沿岸・北海沿岸及び黃海・日本海沿岸等の縁海文明が起り、遂に蒸氣機關の發明に伴つて大洋文明を代表する大西洋及び太平洋に面する地方に移つた。同時に人類は寒暑を征服し、文化は熱帯から溫帯または冷帯に移動した。最近は航空機の進歩によつて垂直的にも擴大せられ、高層の空中も



黃土地方の穴居生活



*人類の場所的起源に關しては、中央アジアとする一元説と、中央アジア・マレー・オーストラリア等數箇所とする多元説とがある。

文化力の圈内に入つて來た。

第二節 人種及び民族

【人種の別】

人類は猿と共同の祖先から進化したものであつて、人類の祖先である原人は

石器を用ひて穴居生活をなしてゐたと思はれる。最初は地球上の或る限られた場所に住み、

次第に四方に擴がり、環境の影響を受けて、體格皮膚容貌言語等に相違を來たし、所謂人種の別を生じた。

【人種民族の種類】

人種を皮膚の色によつて別てば、白色、黄色、黑色の三人種となり、白色人種は一般に文化の程度高く、特に科學文明に



チンパンジー(類人猿中最も人類に近いものである)

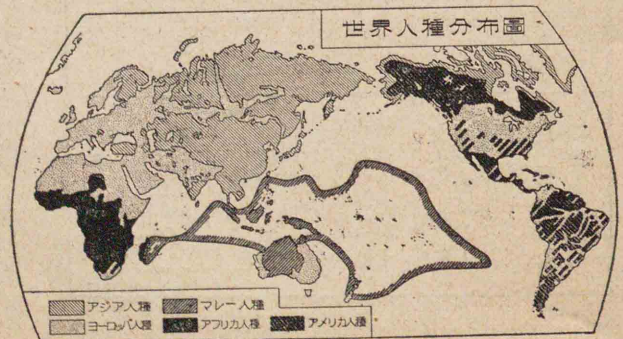


石器時代の人類の生活想像圖



アジア人種 ヨーロッパ人種 アフリカ人種 アメリカ人種 マレー人種

長じ、現在最も富強な國家を形成するが、その原住地が温帯であつて、熱帯の生活に耐へ得ぬ缺點を持つ。黄色人種は主として寒暑の差の最も甚だしい地域に住み、三人種中、氣候馴化力の最も強い人種であつて、從來精神文明に長じてゐたが、近時科學文明をも取入れてゐる。黑色人種は熱帯に住み、文化は最も低い。人種を體質容貌から別てば、アジア



の五大人種となるが、アメリカ及びマレーの五大人種と近く、マレー人種はアフリカ人種に近い。これ等は更に幾多の種族に別れ、また混種の結果非常に複雑となつてゐる。大體同一種族から成る人類の集團を民

*自然増加とは出生と死亡との差をいひ、これに對して一國內に於ける入國者と出國者との差によるものを社會増加といふ。自然増加と社會増加との差が實増加である。

教・儒教・ユダヤ教等も廣く行はれる。一國統一の便宜から國語及び國教を制定してゐる國がある。我が國は憲法で信教の自由が認められてゐるが、國體に反するものは勿論許されない。

第四節 人 口

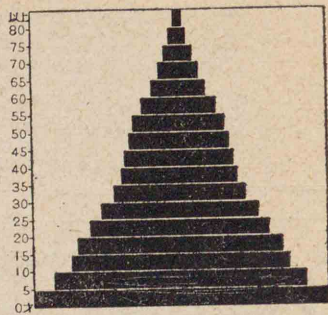
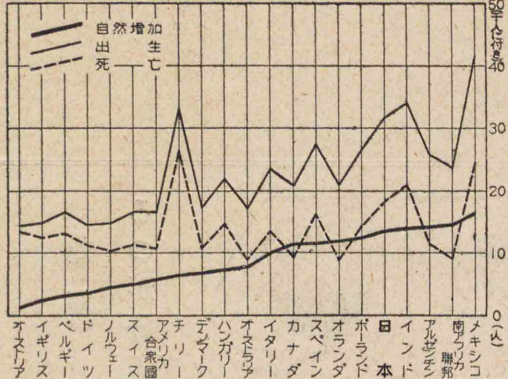
【人口の増減】 世界の人口總數は約二十一億ある。

現在の分布は温帯に最も多いが、將來に於ける收容力は熱帯が最も大である。

世界人口の自然増加は一年約二千萬人、即ち凡そ一分の増加率を持つ。人口増減の多少は自然環境の良否にも因るが、國民の活力及び社會的諸原因(流行病・戦争・迷信等に貢ふ)とも少くない。

【人口構成】 世界人口の性別人口構成を見るに、男女の數はほぼ平均してゐるが、一般にヨーロッパ諸國は男が少く、反對にオーストラリア南

列國人口出生・死亡・自然増加表(昭和8年度)

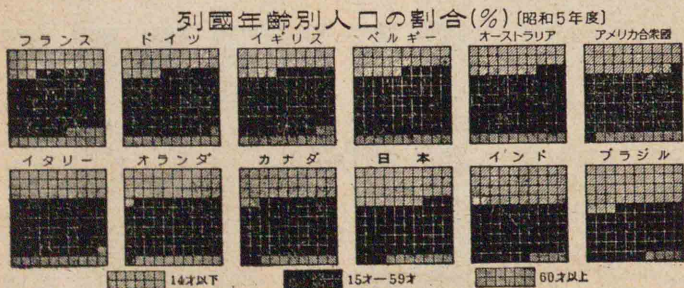
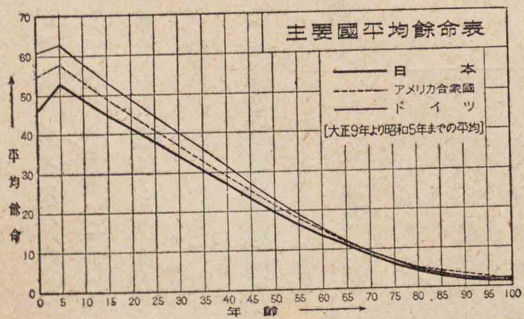


日本年齢別人口構成(昭和5年度)

*性別人口構成に相違を來す原因には、經濟状態・社會的風習・宗教・戦争・移住等がある。我が内地は女200人に(男子)101人、朝鮮・臺灣は240人に、樺太は260人、關東州は150人、南洋群島は三七人であつて、何れも男が多い。

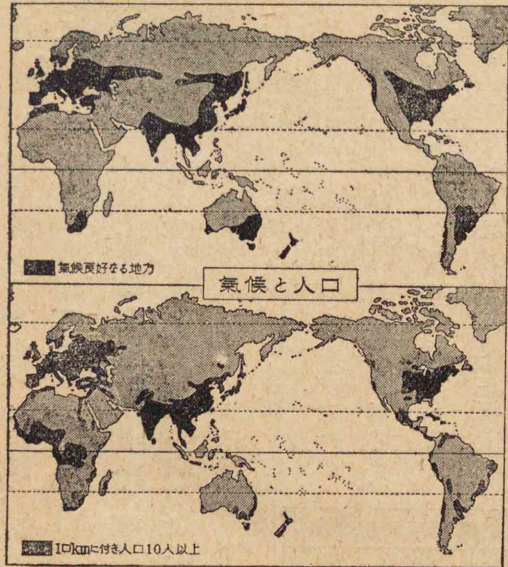
國の生産年齢者の割合が小なのは、この期に於ける死亡率が特に高いからであつて、心すべきことである。また各年齢に於ける平均餘命も我が國は他の列強に比して著しく劣つてゐる。現在我が内地人の零歳に於ける平均餘命は、男子四四・八歳、女子四六・五歳である。

職業別人口構成は各國の經濟及び



*本業者の割合が比較的高いのはオーストリア(六四%)・ドイツ(五七%)・フランス(五六%)・イタリー(五五%)等であり、従業者の多いのは南阿聯邦(八六%)・カナダ(六四%)・アメリカ合衆國(六三・六%)・オランダ(六三%)等である。

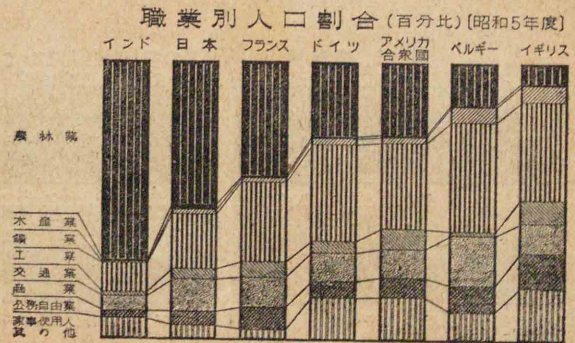
▲熱帯アメリカでは氣候の關係から低地よりも高地に人口密度が大きい。



社會状態によつて相違し、總人口中に於ける本業者(獨立無業者を含む)と従業者(家事用人を含む)との割合は、我が國は四八九%に對し五一・二%で、ほぼ相半ばしてゐるが、國によつては必ずしも一樣ではない。また本業者の業態はその國の産業状態によつて著しく異り、インドや我が國の如きは原始産業者の數が多く、イギリスやベルギーの如きは加工産業者や交通業者の數が多い。

【人口密度】
Density of Population
人口密度

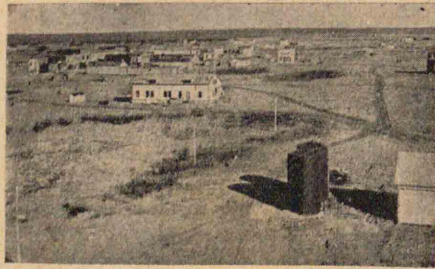
の大小は文化の進否の外、地形氣候の影響を受けることが著しく、低地は高地よりも密度大きく、特に沖積平原や海岸は人口が稠密



ドイツ、ベルリンの大
アパートメントハウス



關領東インド、トバ族の家屋



カナダのプレーリー(小麦地帯に発達した)の農村(ある散村である)

【村落の形態】 人類は互に相集つて生活をなし、聚落を生ずる。聚落の中、比較的小さいものを村落と稱し、社會の制度や地形産業等の影響を受けて、種々の形態をなしてゐる。

一孤村(孤莊) 庭を中心にして一家族または數家族が居を構へ、多くは壁を圍らして外敵に備へる。滿洲國北支那ドイツ等の平原に見られる。

二散村 一戸一戸の家屋が散在して一村をなすもので、我が國では關東平野

第五節 聚落

が、政治的關係から制限や禁止を受けることもある。移民が行はれる

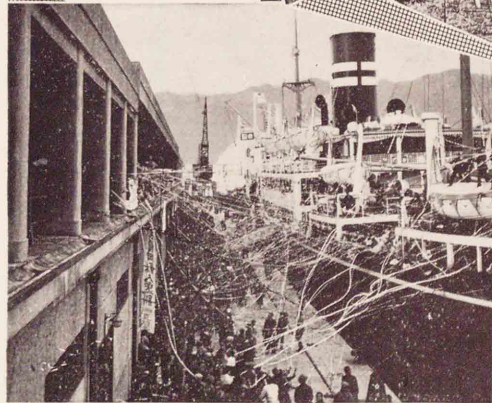
である。温帯亞熱帶の氣候温和な地方は熱帶の栽培農業地と共に人口が集中し、寒帯及び乾燥地熱帶の密林は疎である。また一般に文化の古い地は新しい地よりも、商工業地は同じ自然環境の農牧地よりも人口が密である。世界で人口密度の最も大なる地方は南東アジア北西ヨーロッパで、アメリカ合衆國の東部も大きい。



← イランの漂泊民族 (ノマド)の生活



→ サモア土人の部落



↑ 神戸港に於けるブラジル行移民の出發



→ 伊香保の温泉聚落 (層村)



や所々の高原、火山の裾野、山麓階等の農村に多い。散村が道路に沿って帯状をなす時は特にこれを**鏈村**と名づける。またスラヴ族は特有の圓村を作つてゐる。

三、**聚村** 家屋の密集してゐるものであつて、その中、帯状に發達したものを**街村**といひ、海岸の漁村や街道筋に發達した宿場に多く、古の條里制によつて劃されたものを**格村**と呼び、近畿の諸平野にある。また家屋が密集して階段状に發達してゐるものを**層村**と呼び、温泉聚落、鑛山聚落等に見られる。

村落はまたその職能から**山村**、**農村**、**漁村**等に分つことが出來、**親村**に對して**子村**、**出村**が發達することがある。房州の納屋、各地の**新田**はこれである。



ロンドン市(渡場から發達した)の最古區(自然都市である)

【都市の形態】 都市は所謂中心市場として發達した聚落であつて、村落に比して人口が多く、家屋が密集してゐる。その形態は村落以上に歴史や制度の影響を受ける。

一、**自然都市** 街路の不規則なものであつて、多くはその中心から四方に出る街道に沿つて出來た街村が次第に結合されて、一つの



札幌市(アメリカ式直交街を持つ人爲都市)

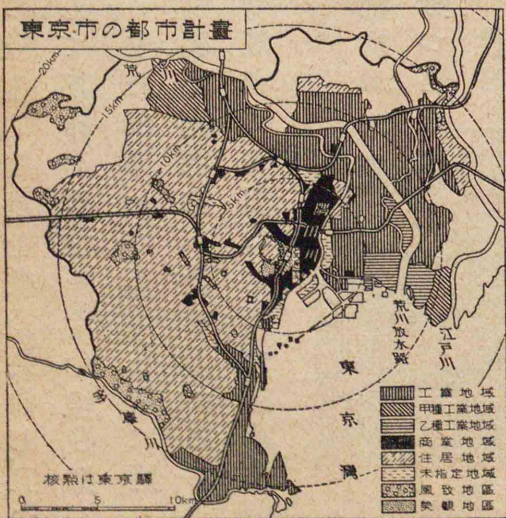
都市を形成するに至つたものである。東京市はその好例であり、その他我が國やヨーロッパの都市に多い。

二、**人爲都市** 人爲によつて都市の形態が計畫されたもので、**直交式**(京都市・札幌市・米國の平原都市)・**放射式**(モスコ・阿姆斯特ダム・パリ)・**複同心圓式**(カンペラ)等がある。これ等の中、城壁を圍らすものを特に**城壁都市**(北京・奉天)といふ。我が國の**城下町**の中にも一定の計畫の下に作られたものがあり、大抵は城を中心として武家屋敷と町家とから成つてゐる。

三、**混合都市** 自然都市の區域擴張及び改造の結果生ずるもので、東京市を初め、大都市は何れも多少この性質を有する。最もよい例は滿洲國に於ける新市街を持つ都市である。

【都市計畫】 近時新たに建設せられる都市は、一定の計畫に基づいて成るもの多く、既存都市もその發

*震災後都市計畫によつて放射式の性質をも帯びて來た。
▲阿姆斯特ダムの如く半圓をなす場合を扇狀式ともいふ。



展擴張につれ、建物、通路、公園その他の社會的施設を統一、整頓し、且つ商業、工業、官衙住宅等の地區を劃定して都市の機能を十分に發揮し、且つ美觀と衛生とに注意してゐる。また都市の中樞が住居に適しないために、最近大都市の郊外には所謂**田園都市** Garden Cityが發達してゐる。

【都市の職能】 都市はその發達の最初の要因によつて、**市場都市**

交通都市（宿場津）、**政治都市**、**軍事都市**（城下町）、

學術都市、**宗教都市**（西前町）、**名勝遊覽都市**、**觀**

光都市、**鑛山都市**及び**工業都市**等に分つこ

とが出来ることが、都市の多くはこれ等の性質

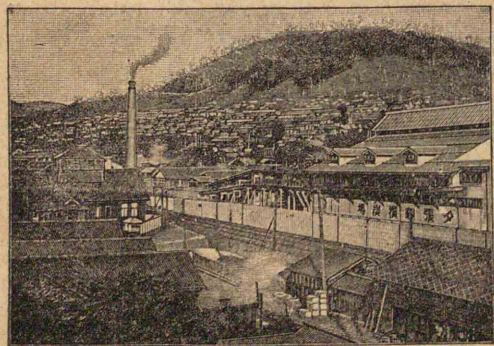
の數箇を同時に兼ね備へてゐる。特に現

今の大都市はすべて交通的位置に恵まれ、

且つ所謂**産業都市**として商工業の發達を

來たしてゐるのが常である。

都市はその職能上の性質の變化及び増



夕張炭坑（鑛山聚落として發達したもので、山腹の階段上にある）

*ロンドン・パリは河川の渡場から、東京・ベルリンは政治上の中心から、ニューヨーク・横濱・神戸は船着場から、シカゴは市場から發達して、今は何れも大産業都市となつてゐる。

減によつて、衰微または發展する。鑛脈が盡きて鑛山都市が俄かに衰へるなどは好例である。新興國には各種の都市にこのことが殊に多い。

第六章 産業

第一節 農業

【耕地と農法】 Arable Land 耕地は水利と耕作の便とのある平坦な土地に多く存する。耕地には**水田**

と畑との二種があり、水田は主に河湖沿岸の沖

積層の低地を占め、畑は洪積層の臺地に多い。

世界の耕地全面積は地球陸地の約一割九分

あり、各國に於ける耕地の割合はその自然環境

や文化發達の程度によつて相違し、我が國の如

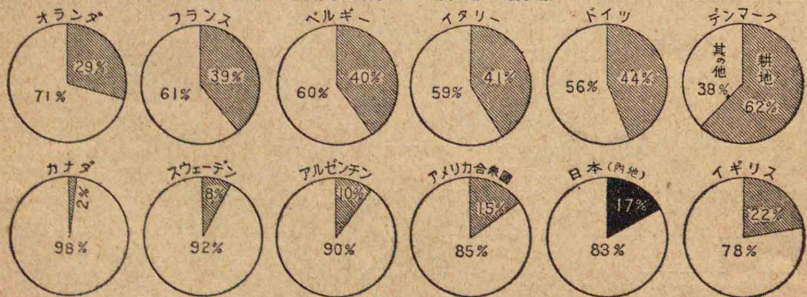
きは僅かに一割七分に過ぎない。人口の疎な

*（一）産業（Industry）とは交通・商業等を含まない狭義の産業を指す。農・牧・林・鑛・漁業を原始産業と稱し、加工産業たる工業と區別する。人類が何れの産業に従事するかはその自然環境及び文化發達の程度による。

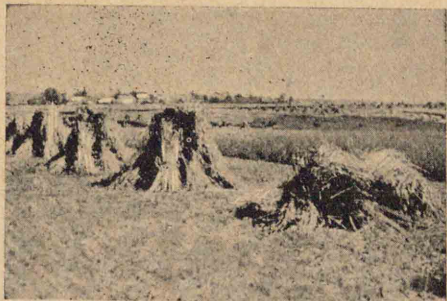
▲人類の經濟生活は狩獵時代・牧畜時代を経て農業時代に進み、一定の耕地に定着して初めて生活の安定を得、文化が發達した。

■世界の陸地面積に對し、耕地六・七%、森林地三〇・〇%、草原三・六%、不毛地七・七%。

世界主要國の面積に對する耕地の割合（昭和9年度）



*裸麥は小麦の變種である。我が國では大麥・裸麥の産額は小麦よりも多い。

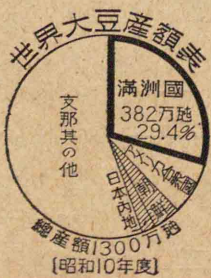
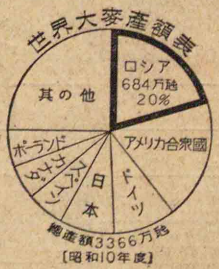


ドイツに於ける燕麥の收穫

に現れるのはその約二割五分に及び、世界的商品として米に比すれば遙かに重要である。
大麥は小麦と同じく分布が廣く、ロシア・アメリカ合衆國・ドイツ・日本等をその主産地とする。我が國では裸麥を含み、關東・朝鮮・臺灣に産し、ビール・醬油の原料となる外、馬糧に供し、米の代用品ともなる。

燕麥は北米・ロシア・北西ヨーロッパ等に産し、我が國では殆んど北海道に限られる。オートミールとして食用に供し、また飼畜に用ひる。ライ麥はヨーロッパの特産物で東部に多く、黒パンの原料となり、飼畜用にも供される。麥類の莖は眞田として製帽の原料となる。

【雜穀】 豆類・玉蜀黍・粟・稗・蕎麥等であつて、山地・瘠地にも生育し、凶歲にも實るものが多いので、地方によつては米・麥の代用食として重要である。豆類の中、大豆は滿洲



國の主産物で、豆粕・豆油と共に我が國及び歐洲諸國へ輸出される。我が國では朝鮮・北海道・關東に産し、直接食用とする外、豆腐・味噌・醬油等の製造に用ひられる。



*アメリカ合衆國ではCornと云ふ。

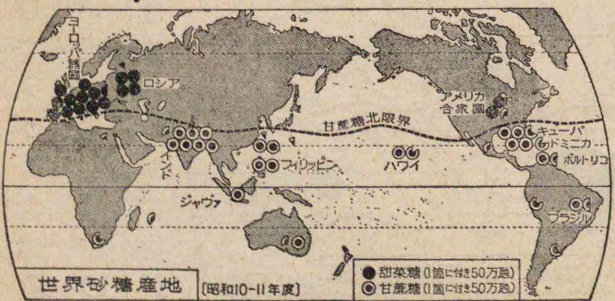
▲砂糖の製造は工業であるが、農業附随工業としてここにあげる。
■インドはその大部分を國內で消費し、キューバは最も多く輸出する。また蘭領東インドは近時生産制限を行つてゐるために昭和十年度は僅か五萬越で臺灣二五萬越より少い。

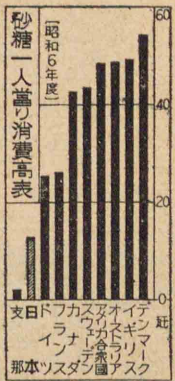


西インドに於ける甘蔗畑

*玉蜀黍は家畜の飼料・澱粉・酒精の原料となり、南北アメリカ・アフリカでは食料とする。アメリカ合衆國は世界産額の過半を産し、餘剰をヨーロッパへ輸出する。

【砂糖】 甘蔗糖と甜菜糖とがある。甘蔗糖は熱帯及び亞熱帯に産し、インド・キューバ・我が臺灣・フィリピン・ハワイ・ブラジル等が主産地であつて、輸出もまた少くない。甜





*製法により紅茶・緑茶の別を生ずるが、一般に温帯の茶は緑茶に適し、亞熱帯のものは紅茶に適する。

▲烏龍茶の粗製茶で、中に諸種の花蕾の混入してゐるものである。

國は近時砂糖を自給自足し、なほ粗糖を輸入して精糖を輸出する。

【茶】茶は米と共に南東アジアの特産物で、我が國內地及び支那の

緑茶は米國へ、インド・セイロン・ジャバ

の紅茶は英米・濠等へ輸出される。

その他、支那の磚茶はロシアへ、臺灣

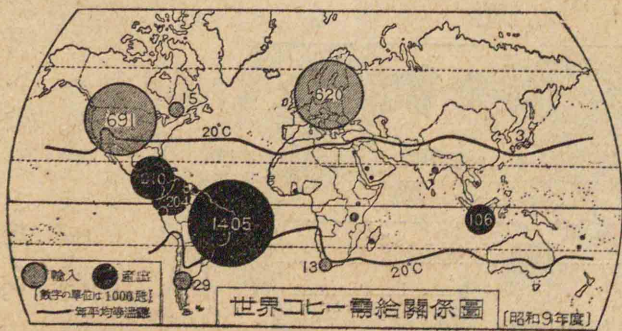
の烏龍茶は米國へ、包種茶は南洋へ

輸出する。南米には茶の一種にマテがある。

【コーヒー】コーヒーは熱帯の高原丘陵に適する。世界産額の約七割はブラジルから産し、コロンビア、南領東インド等

世界茶輸出額表 (總額42.1万噸) [昭和10年度]

支那	蘭領東インド	セイロン	インド
15.6万噸			
日本	其他		



コスタリカに於けるココアの採取

世界葉煙草産額表 [昭和9年度]

1	2	3	4	5
イギリス	アメリカ合衆國	インド	フィリピン	ジャバ
100	80	60	40	20

*キユーバのハブアナ煙草、フィリピン、マニラ煙草、バルカン半島南部のトルコ煙草等は、良質に著れる。
▲我が國棉花の不良にしてエジプト棉花の良質なるは氣候の關係が大なる原因である。棉花の類似品で南洋から輸入されるパンヤはカボックの果實から採り、枕蒲團等の充填料になる。

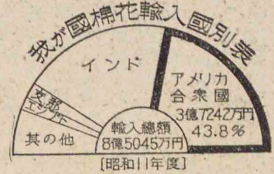
がこれに次ぐ。主なる消費地はアメリカ合衆國及びヨーロッパ諸國である。我が國の消費も年々増加しつつある。

【ココア】(カカオ) 熱帯産であつて、世界産額の約四割をアフリカの黄金海岸に産し、南米中米がこれに次ぐ。飲料とする外、チョコレートに製せられる。

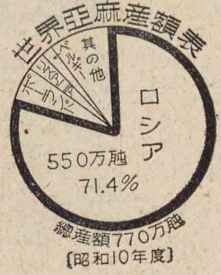
【葉煙草】 中央アメリカの原産であるが、現在は熱帯温帯の各地に栽培せられる。インド、アメリカ合衆國、ロシア等は、その主産地である。我が國では専賣制度であるため、風土を選ぶことにより、關東、四國、九州等の比較的限られた地に産する。また外國からの輸入葉煙草も少くなく、消費の一割に達する。

【工業用纖維】 棉花(綿)は熱帯、亞熱帯で採取期の乾燥した地方に産する。世界總産額は約五百餘萬噸であつて、アメリカ合衆國はその約四割を占め、インド、ロシア、支那、エジプト等が

棉花の一俵は約
一〇乃至三〇疋であ
る。



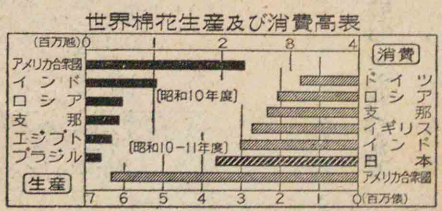
インドに於ける黄麻の收穫



これに次ぐ。主なる消費國はアメリカ合衆國・日本・インド・イギリス・支那等である。我が國の棉花輸入額は總輸入額の三割餘を占め、その四割餘は米棉で、インド・支那・エジプト等のものがこれに次ぐ。なほ我が國は朝鮮南部に米棉種を植ゑ、更に滿洲國でもこれが栽培を試みてゐる。

麻類には亞麻・大麻・黄麻・苧麻等の種類があり、別にマニラ麻・シーザル麻等の類似品がある。

亞麻は東部ヨーロッパにその大部分を産し、その纖維はリンネル・レースに製せられ、種子は亞麻仁油を供し、リノリウムの原料となる。大麻はロシアを主産地とし、イタリヤ・日本を初め、廣く温帯地方に産し、織物・綱索・絲類に製せられる。黄麻(ジュート)は北部インドの特産であつて、主として包袋粗布の原料となる。苧麻(ラミー) Ramie



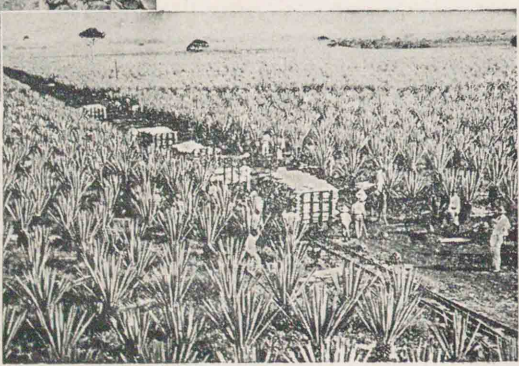
北滿洲平野に於ける大豆の野積



→ アメリカ合衆國の玉蜀黍畑

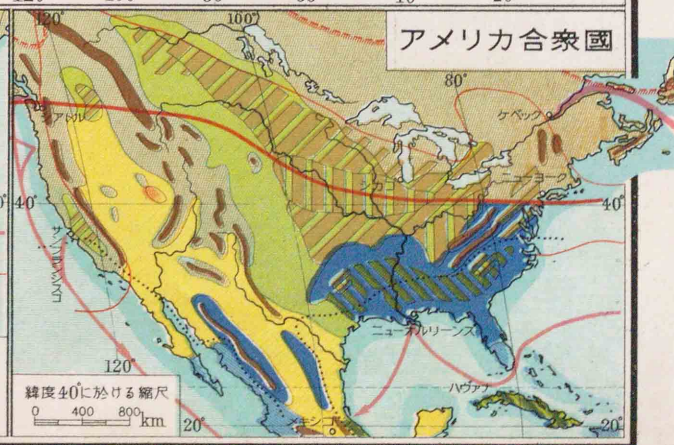
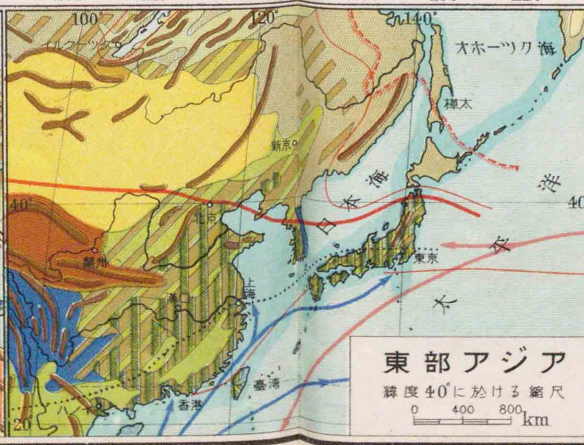
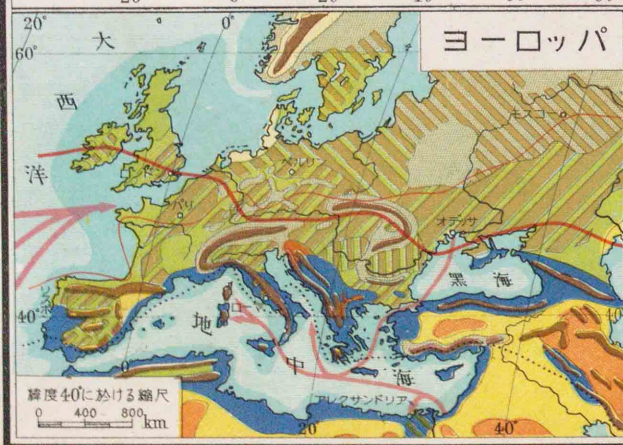
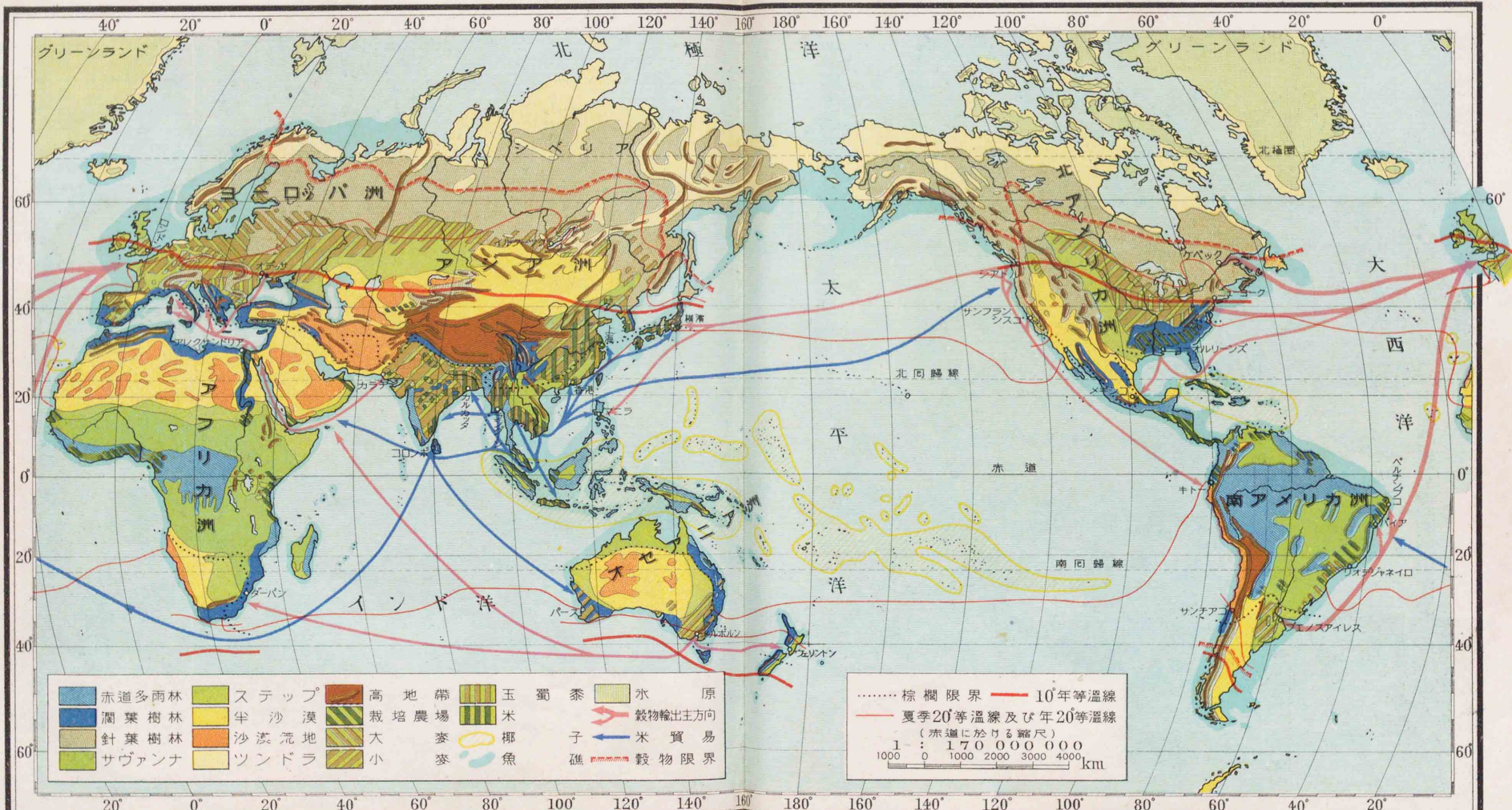


← キューバの葉煙草畑



→ ユーカタン半島に於けるシーザル麻の刈取

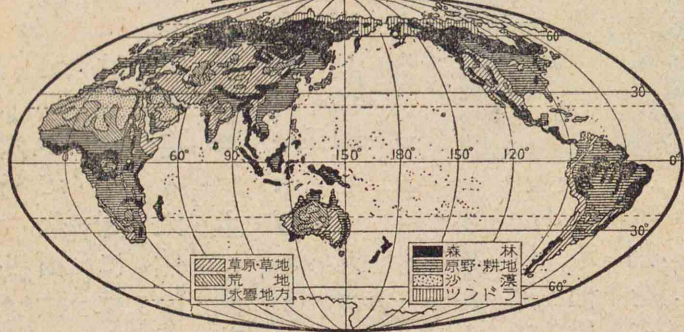
世界植物景觀圖



▲樹木の種類によつて森林を針葉樹林・闊葉樹林に分ち、また林相によつて天然林・人工林に分ち、その所在によつて、熱帯林・亞熱帯林・温帯林・寒帯林等に分つ。

*シーザル麻はサイザル麻とも稱し、近時熱帯各地に移植せられ、我が臺灣にも産するに至つた。

世界森林原野分布圖



は一に支那草とも稱せられ支那インド及び我が國の山野に自生し、帆布綱索となり、また精製して上布とする。

Manilla Hemp

我が國へも麻真田の原料として多額の輸入がある。シ

ーザル麻はヘネケンとも稱し、龍舌蘭の一種から採る。シ

メキシコのユーカータン半島から多く輸出せられる。綱索包装紙等を製する。

第二節 林 業

樹木は凍土帶草地沙

漠等の地を除いては到

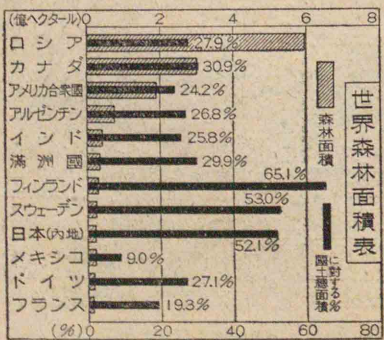
る所に生育するが、特に

廣大な森林は温帯北部

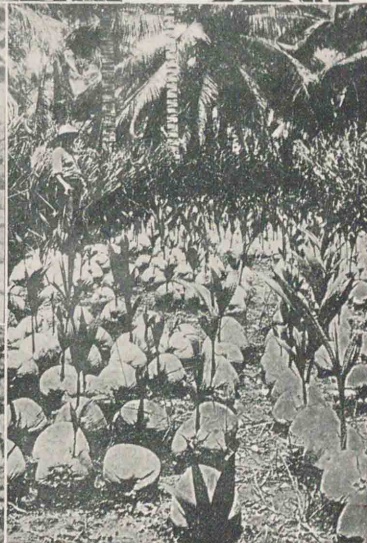
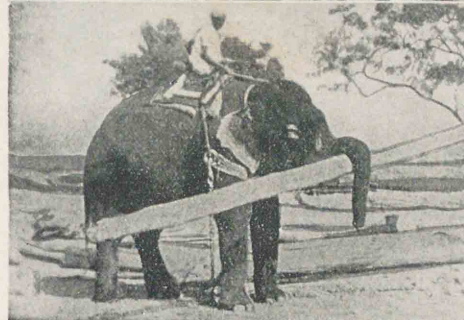
及び熱帯地方にある。

我が國は氣候温暖、且つ

雨量に富むを以て、森林



南洋に於けるココ椰子の林
マカッサルに於ける藤の積出



アルジェリアに於ける
コルクの採取



シナムに於ける
チーク材の運搬



シベリアのタイガ森林



ノルウェーに於けるパルプ用材の集積

*我が國人のゴム栽培事業に従事するものもかなりある。

▲ゴムはタイヤ・靴・玩具・海底電線その他用途が頗る多く、我が國のゴム工業は近年長足の進歩を遂げ、特にゴム靴は世界到る所にその販路を有してゐる。



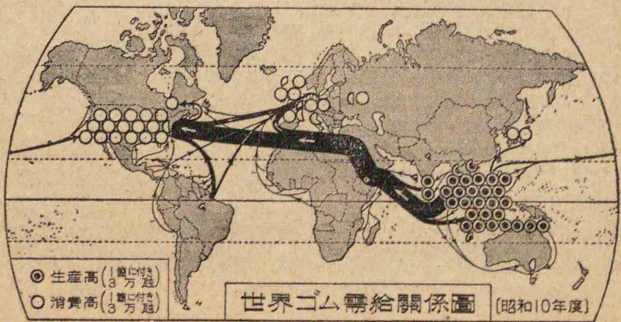
ゴム液の採取

は天然に繁茂する。内地の森林面積は約二千萬ヘクタであつて、全面積の五割二分に當る。外に樺太には五割、臺灣には六割、朝鮮には四割五分の森林があり、各々天然の美林を持つてゐる。

【熱帯樹】 主に潤葉樹で、木質美麗、堅緻なものが多し。マホガニー(中米・西イ)、白檀、紫檀、黒檀(南東ア)等は家具に製せられ、ゴム樹の乳液からはゴムを採取する。ゴムはもとブラジルの特産で、野生ゴム

樹から採つたが、現在はマレー半島及び蘭領東インドの栽培ゴムが世界總産額約九十萬噸中の八割を占める。ゴムの消費はアメリカ合衆國を最大とし、イギリス、ドイツ、日本、フランス等がこれに次ぐ。

ココ椰子は熱帯各地に生育し、その果實を乾燥して造つたコプラ

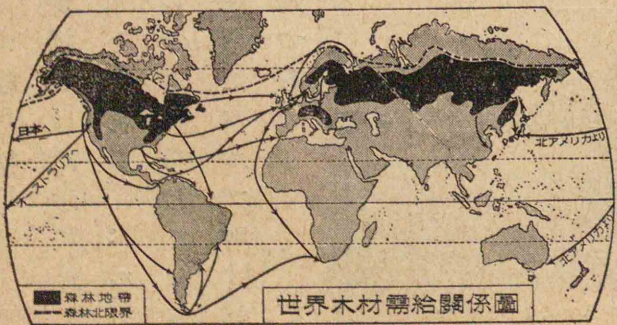


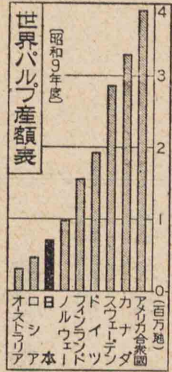
オリーブの果實とその採取

から椰子油を製し、食料及び石鹼その他の工業原料に供する。

【亞熱帯樹】 常緑潤葉樹を特色とする。用材または工業原料となる。チークはビルマ・シアン等に産し、造船用材として著れる。地中海西部沿岸地方のコルク樹よりはコルクを採り、臺灣の樟よりは樟腦を、また地中海沿岸のオリーブ樹よりはオリーブ油を採取する。南東アジアの竹、籐もまたこの帯に産する。

【温帯樹】 潤葉樹と針葉樹とがあり、潤葉樹は温帯の中南部に生育し、櫛山毛櫨、赤楊、榆等が著れる。一般にこれ等の木材は薪炭及び家具、器具・玩具類の製造に用ひられる。針葉樹は温帯の中北部に産し、その用途は最



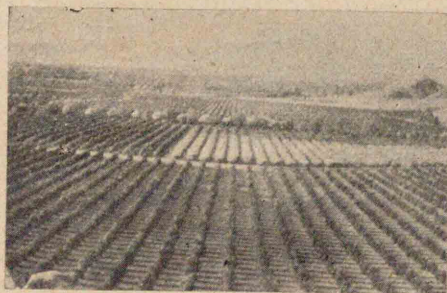


も広く、世界の木材貿易の約八割を占める。* 其中、松杉檜等は比較的暖地に産して薪炭用材となり、椴松蝦夷松落葉松等は冷地に産し、建築用材及びパルプの原料として用ひられる。パルプは近時製紙のみならず、人絹セロファンの原料としても消費が多くなつた。我が國は樺太北海道にパルプ用材を産するが、なほ消費の二割七分を輸入する。

【果實】 農林業の副業として作られ、熱帯にはバナナ、パイナップル等が多く、西インド諸島及び中米地方から欧米諸國へ輸出せられる。温暖な地方には柑橘類、葡萄、梨、無花果等を産し、アメリカ合衆國カリフォルニア州のオレンジ等は世界的商品である。冷涼地には苹果、櫻桃等がある。

第三節 牧畜業及び蠶業

【牧畜業】 牧畜業は大體、冷帯・暖帯の草原に盛んで、特に人口密度の小さい新世界の重要産

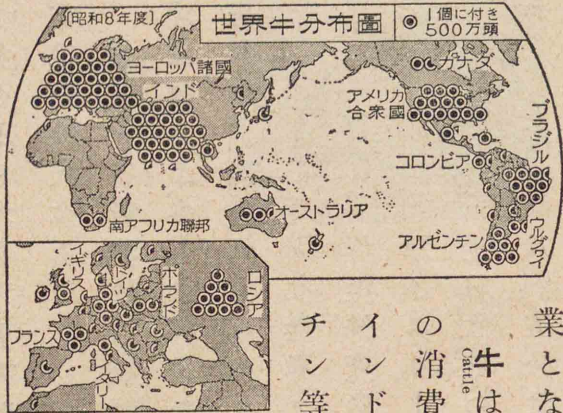


カリフォルニアのオレンジ畑

* 松類中世界的商品として著れるのは北アメリカ西岸のオレゴン松で我が國へも建築用・造船用として輸入される。杉は我が國では吉野・熊野・木曾・秋田等を主産地とする。
▲シベリア・カナダ・スカンディナヴィア等に廣大な森林がある。

* 牧畜業はまた住民の衣食住の習慣及び宗教上の信仰によつても左右される。

▲近年國民が牛肉を食することが多くなつたが、まだ歐米に比すれば一人當りの消費は三分の一にも足りない。支那及び滿洲國からの輸入もかなりある。乳製品は北海道が盛んであるが、これも海外からの輸入が多い。



業となつてゐる。*

牛は肉・乳及び皮革を供し、ヨーロッパ人は殊にその消費が多い。インドでは専ら勞役に使用する。インド・アメリカ合衆國・ロシア・ブラジル・アルゼンチン等に多く飼養し、西歐へ輸出する。我が國では朝鮮・中國・九州・北海道の諸地方

に多い。

馬は駄用に使役する外、軍用としても各國で保護・奨励してゐる。ロシア・アメリカ合衆國・アルゼン

チン・ブラジル等は主要産馬國で、我が國では北海道及び東北諸縣・九州地方に多い。

豚は肉用とし、毛はブラシユの原料となる。支那・アメリカ合衆國・ドイツ・ブラジルに多い。

世界馬頭數表 (數字の單位は万頭) (昭和9年度)

國名	頭數 (万頭)
ロシア	1565
アメリカ合衆國	1186
アルゼンチン	986
ブラジル	683
ポランド	376
ドイツ	336
カナダ	293
フランス	284
日本	152

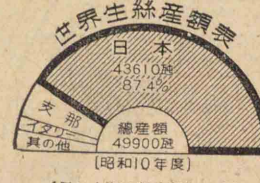
*我が國は綿羊の飼育に適しないが、近時朝鮮・滿洲國に於て改良試験をしてゐる。

▲ヨーロッパの蠶業がフランスからスイス、スイスからイタリーにその中心が移つたのはこのためである。

■支那山東省及び滿洲國の遼東半島には柞蠶絲を産し、また支那の南部には天蠶絲を産する。
*近時絲價の變動多く、我が國の蠶業を不安ならしめてゐる。

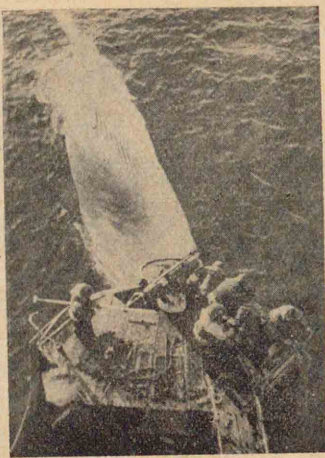
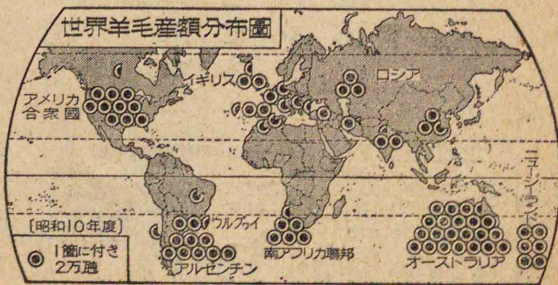
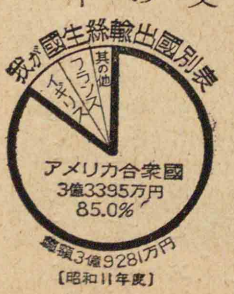
綿羊は温帯の少雨地方に多く、羊毛を供給する。オーストラリア及びニュージーランド・ヨーロッパ諸國・アメリカ合衆國・アルゼンチン・南阿聯邦等には特に多く飼養せられる。我が國の飼養数は極めて少く、オーストラリアその他から年額二億圓の羊毛を輸入する。

【蠶業】
蠶業は氣候温暖で桑の栽培に適する地に興るが、多くの勞力を要するから、人口が多く、勞銀の低廉な地方でなくては發達しない。我が國は世界で最も盛んな蠶業國で、世界生絲産額五萬噸の約九割を産し、支那・イタリーがこれに次ぐ。我が國の生絲はその七割餘が輸出され、その中八割五分はアメリカ合衆國へ行く。



世界生絲産額表 (昭和10年度) (但し支那は輸出額を示す)

我が國生絲輸出別表 (昭和11年度) 総額3億928万円



遠洋漁業に於ける捕鯨船

第四節 漁 業

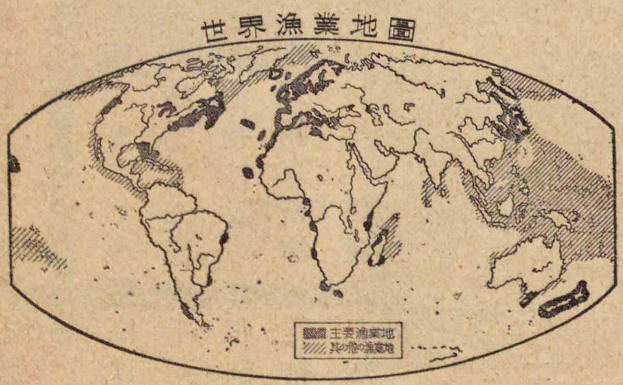
漁業(水産業)は河湖漁業と海洋漁業とに分たれ、海洋漁業は更に濱漁業・沖漁業及び遠洋漁業に分れる。

遠洋漁業中、動力船を用ひて大規模の曳網をなすものをトローリル漁業といふ。近時

水産養殖業も盛んとなつた。

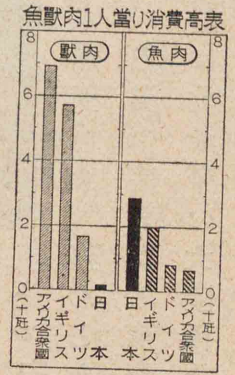
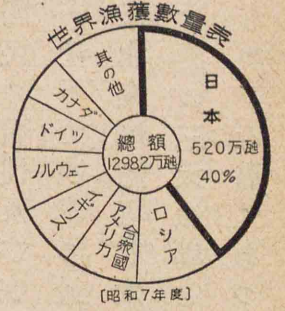
漁業の盛否は地形・海流等の影響により、一般に北温帯の大陸棚上に盛んである。また國民の習慣及び宗教等にも關係が深い。

世界で漁業の最も盛んなのは北海漁場・北北東岸漁場・北太平洋漁場であつて、これを世界の三大漁場とする。北太平洋漁場は即ち我が近海であつて、北は樺太カムチャッカよ



*我が國民は昔から魚介を食する風習があり、漁業は重要な産業である。

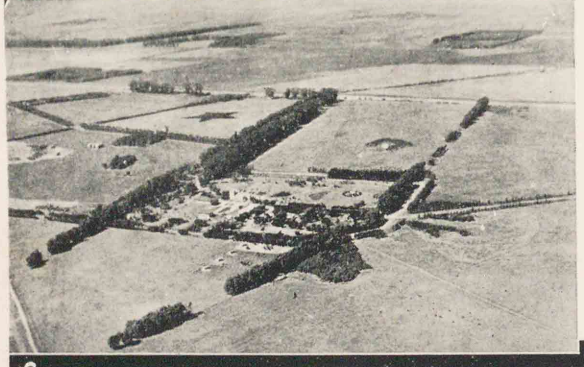
*北太平洋・南極洋には鯨・脂豚鯨、地中海の東岸には海綿、熱帯地方の海には真珠貝及び珊瑚・琥珀(タスマイ)を産し、我が國には真珠貝の養殖が盛んである。我が國やアメリカ合衆國東岸、英・佛等には牡蠣の養殖が行はれる。
▲我が國の一人當りの魚肉消費高は世界第一である。邦人の發展地には必ず邦人の漁夫が勢力を占める。南洋・シベリア東岸には邦人の出漁が多い。



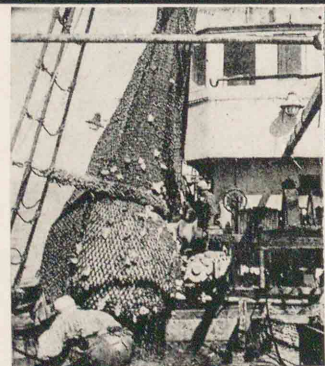
採るのであつて、岩鹽のない我が國では特に重要であり、政府の專賣に屬する。近時工業用に用ひられることも多くなり、青島關東州等から輪移入される。

第五節 鑛業 Mining Industry

【鑛物の所在】 鑛物の所在は地質によつて決定せられることが多いが、これが需要は文化の程度に關するから、一般に文明國は鑛山



↑ アメリカ合衆國西部の牧場
← アルゼンチン、エスタンシア牧地景觀
↓ カムチャッカ附近に於ける漁業

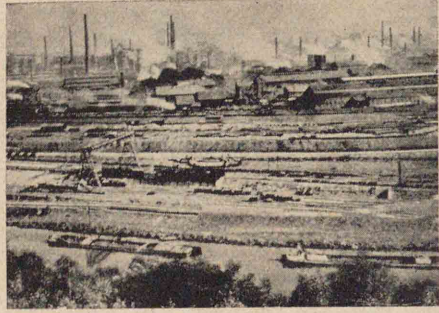


↑ トロール網の引上



→ 北アメリカ西岸に於ける鮭の漁獲

*我が國では大分・茨城・北海道・鹿児島諸地及び朝鮮・臺灣から産する。



ドイツ、ザール地方の精鍊所

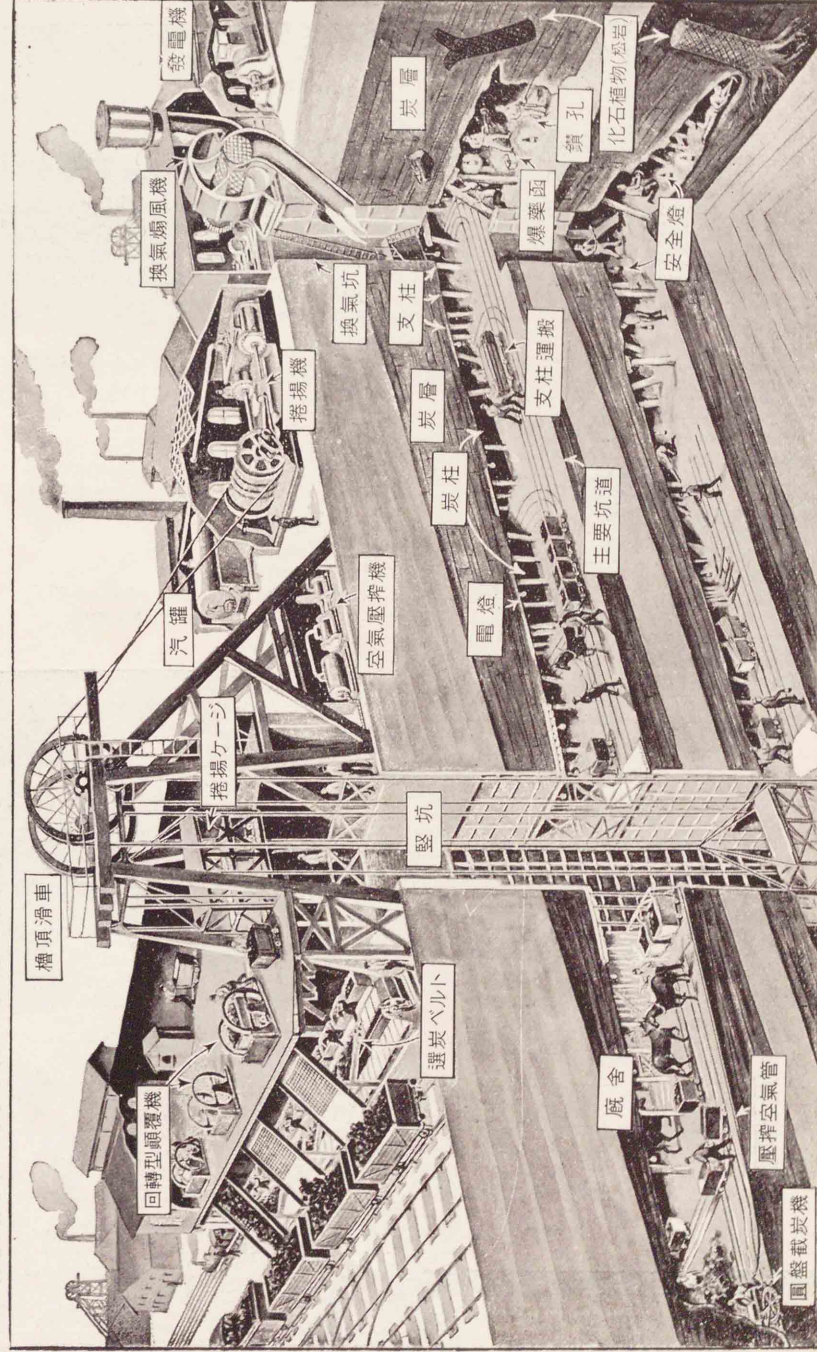
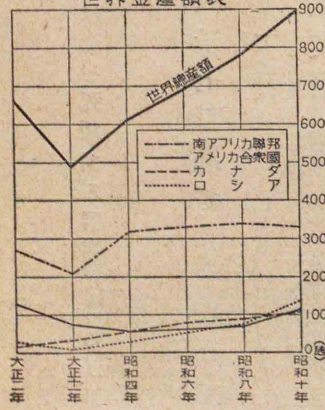
ため、連続した大鑛脈に乏しい。

【金屬鑛物】

金は金鑛となつて産する

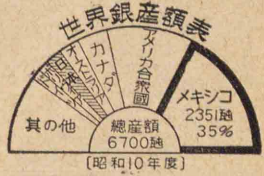
外砂金として河川の中からも採取せられる。世界の産金年額は約九百噸で、南阿聯邦はその約四割を産し、ロシア・アメリカ合衆國・カナダ・日本・オーストラリア等がこれ

世界金産額表



炭坑の断面

の開発が進んでゐる。未開國は多量の資源を藏しながら未開發のものが多く、開發されてゐるものも外國資本による場合が多い。世界の主要鑛業地方は北西及び中央ヨーロッパ・北米五大湖地方・日本・南阿聯邦・オーストラリア・南米アデス山系地方等で、その他ロシア・支那・滿洲國等の埋藏も多い。我が國は地質の變化に富み、且つ火成岩の迸出が多いから、従つて鑛物生成の機會が多く、分布も廣く、種類もまた多様である。併し地形が狹長で、且つ地殼の變動が多い



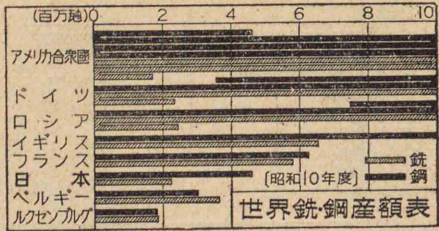
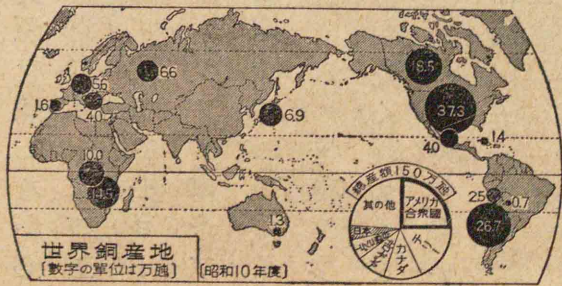
*世界銀産額の約七割は支那とインドに輸入される。金・銀の需給関係は屢々平衡を失つて銀價の騰落が甚だしく、銀貨國の幣制を紊すことがある。

に次ぐ。

金は正貨準備の外、工藝用消費も多い。支那・インドでは金を死蔵する習慣があるが、近時それが次第に市場に出て來た。

*銀は鉛・銅と共に産出し、世界總産額は約六千七百萬噸で、メキシコ・アメリカ合衆國を主とし、カナダ・オーストラリア・日本等がこれに次ぐ。銀の用途は貨幣鑄造・工業用等である。

銅は主として硫化物の銅鑛から精鍊せられる。電気事業に最も多く消費せられ、伸銅・眞鍮・造船器具・貨幣用となる外、軍需工業にも重要である。アメリカ合衆國・チリ・カナダ・北ローデシア・ベルギー・領コンゴ・日本等は主要産地である。世界總産額約百五十萬噸中、我が國は凡そ七萬噸を出す。鐵は鐵鑛から冶金したものを鉄といひ、これを



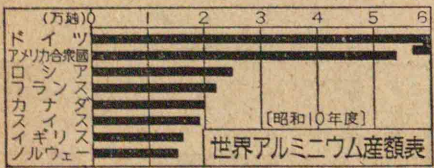
*文明は鐵と石炭との時代から輕銀と石油との時代に移るとまで稱せられる。原料たるボークサイト及び精鍊電力の豊富なるを要する。

精鍊したものを鋼といふ。鉄はアメリカ合衆國・ロシア・ドイツ・イギリス・フランス・ベルギー・日本に、鋼はアメリカ合衆國・ドイツ・ロシア・イギリス・フランス・日本に多く産する。世界の鉄總産額は約七千萬噸、鋼は約一億噸である。

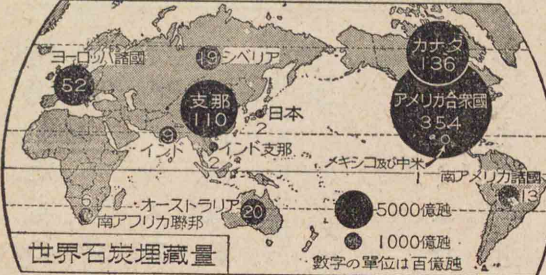
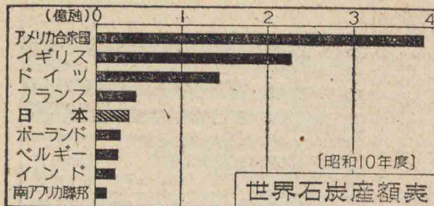
我が國は鐵鑛に乏しく、内地・朝鮮を合せて需要の割に充たないので、大部分をマレー半島及び支那に仰ぐ。屑鐵の輸入も多い。別に滿洲國には邦人經營の製鐵所がある。

*アルミニウム (輕鋸) は航空機及び器具用として需要が多く、また最近マグネシウムと共に軍需品として缺くべからざるものとなるに至つた。ドイツ・アメリカ合衆國・ロシア・フランス・カナダ・スイス等は、その主産地である。我が國は原料に乏しいが、最近輸入原料によつてその精鍊業が興つて來た。

その他白金はロシアのウラル地方に産し、錫はマレー半島に多く産す。



*古い地層からは主に無煙炭を産し新しい地層からは有煙炭を出す。我が國では朝鮮平壤・山口縣大嶺を除いては多く第三紀層から出る有煙炭である。北歐では泥炭を採掘する。左表にはロシア約一億噸が省かれてゐる。



我が國も古くから什器に使用されてゐるが、近時ブリキの鍍金用としてその用途が増し、國內産は需要の二割しかない。鉛は水道管電池に用ひる外、錫と共に活字金として使用せられ、近時は軍需用としても需要が多い。我が國はその九割を輸入する。アメリカ合衆国オーストラリア等が主産地である。亜鉛もアメリカ合衆國に最も多く、我が國は國內の精練高のみでは不足するので、眞鍮用亜鉛板用として輸入が増した。ニッケルは世界の八割餘をカナダに産し、製鋼、鍍金貨幣に用ひられ、なほ軍需品製造にも重要である。

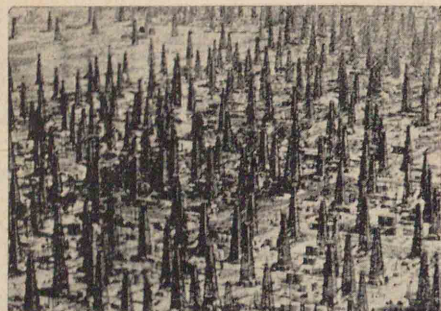
【非金属礦物】 世界に於ける石炭の埋藏量は約八兆噸と見積られ、その過半は北米大陸にあつて、支那・オーストラリア・ドイツ等がこれに次ぐが、産炭額は必ずしも埋藏量と一致せず、米英獨露佛日の順である。世界總産額は約十一億噸でその一割が國際市場に現れ、英炭が最も多い。石炭の

世界亞鉛産額表 (總産額 133万噸)

国	産額 (萬噸)
アメリカ合衆國	38.1
ベルギー	1.5
カナダ	1.5
ドイツ	1.5
ポーランド	1.5
オーストラリア	1.5
フランス	1.5
ロシア	1.5
その他	1.5

[昭和10年度]

*石油には重油・揮發油・燈油・輕油・機械油等があり、その中、重油は軍艦・商船用、揮發油は自動車・航空機用として使用せられる。



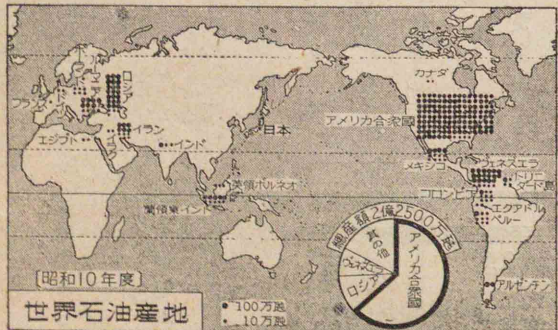
過ぎないといふ。現今年産額三千八百萬噸(二億七千萬圓)であつて、鑛産物中の首位を占める。輸出も少しあるが、近時安價な滿洲炭の輸入のため、却つて約三百萬噸の入超を示してゐる。

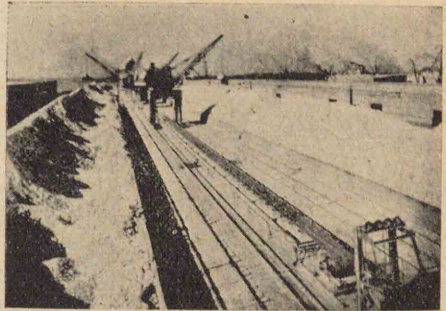
有無は工業の發達に重大な關係がある。

我が國の石炭埋藏量は約百八十億噸と稱せられるが、その中、現在のところ經濟的に採掘されるのは約十億噸に

*石油は原油から精製し、世界の原油總産額は約二億噸である。アメリカ合衆國はその六割餘を産し、ロシア・ヴェネズエラ・ルーマニア・イラン等がこれに次ぐ。石油は軍事上、産業上、缺くべからざるものであつて、石油文明時代の語さへ生ずるに至つた。

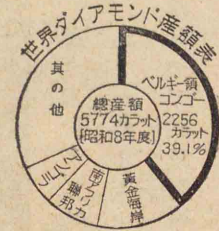
我が國は石油の産出が少いが、近時北樺太油田





アメリカ合衆國に於ける硫黄の堆積

の探掘権を得、また滿洲國の撫順では**油母頁岩**から石油を採取することに成功した。國內産の原油は約三十萬瓩で需要の一角に充たず、蘭領東インド、アメリカ合衆國、ロシア等から原油及び製品を輸入してゐる。硫黄は火山地方に産し、アメリカ合衆國、イタリ、日本等がその主産地である。硫酸火薬燐寸等の製造原料となる。磷礦は肥料の原料となり、アメリカ合衆國南東部、アフリカ北部等の乾燥地及び太平洋諸島に産する。我が國はアメリカ合衆國、エジプト等から輸入する。チリ硝石はチリの特産物で、火薬肥料の原料として各國に輸出せられる。岩鹽はドイツ、アメリカ合衆國に産し、精製して食用に供する外、諸種の工業原料となる。



また寶石としては、ベルギー領コンゴ、黄金海岸の**ダイヤモンド**、セイロン**の青玉**、クイーンズランドの**蛋白石**、ビルマ**の紅玉**、コロンビア**のエメラルド**等が名高い。

産地	産額 (万瓩)
ドイツ	80
アメリカ合衆國	60
フランス	40
イタリ	20
ロシア	10
南アメリカ	5
オーストラリア	5
その他	5

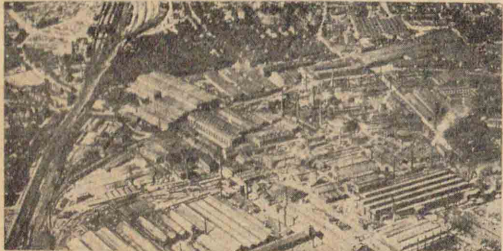
【工業の所在】 Manufacturing Industry

第六節 工業

工業は各種産業中、最も新しく發達したものである

*文化の古い地方には**手工業**が残り、新開地には**大工業**が勃興する。
▲動力源として**石炭・石油**と共に**水力**が重要である。昭和九年度に於ける世界の現在利用**水力**は**五〇〇萬馬力**、利用可能**水力**は**四億三〇〇萬馬力**といはれる。

一キロワットは約一馬力である。
■我が國は大體に於て上記の諸條件をよく備へ、特に**勞銀の廉い**ことが近時我が國の生産品を安價にし、加ふるに**爲替相場**の變動により**圓價**が下落したため、我が工業製品は世界市場に於て漸次先進諸國の商品を驅逐してゐる。



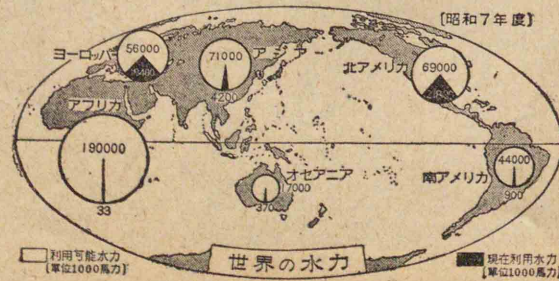
ドイツ、ルール工業地帯景観

つて、一般にその盛否は文化の高低と一致し、また人口稠密な地方も概ね工業が盛んである。その他動力の得易いこと、交通特に水運の便利なこと、原料が手近に得易いこと及び資本の豊富なこと、勞銀の廉いこと、國民の企業心の大きなこと、政府の政策及び保護奨励も工業の發展に大なる関係がある。

世界に於ける工業地方の主なるものは、**イングランド**、**北西ヨーロッパ**、**ニュージーランド**、**北米五大湖地方**、**日本**等である。

【紡織工業】 綿絲及び綿織物は世界住民の最多數の被服資料であつて、綿工業は世界到る所

主要國發電力(水か火力)表 [昭和10年度] (數字の單位は億キロワット)

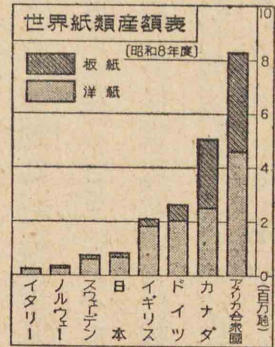


*最近我が國にも内地及び朝鮮にて空中窒素工業が勃興し、硫酸アンモニアの産が増加し、輸入は激減しつつある。

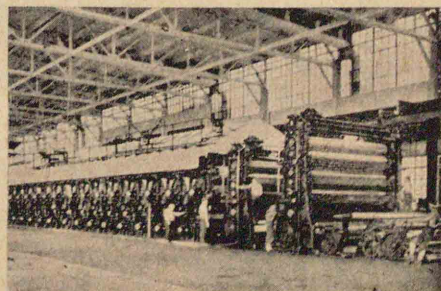
▲紙の消費高は文化に比例すると稱せられる。國民一人當りの消費は米國、イギリス、フランス、ドイツ、日本三國、ロシア三國である。

リカ合衆國・硝石(ナトリ)加里鹽(ポタシ)等がある。近時空中窒素固定法により、合成窒素・硫酸アンモニア等の肥料が造られ、ドイツが最も多い。

紙類の中、洋紙は主にパルプから製せられる。



紙類の世界總産額は約二千百万圓であつて、アメリカ合衆國はその約四割を占め、カナダ・ドイツ・イギリス・日本等がこれに次ぐ。



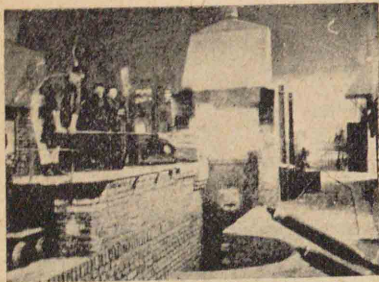
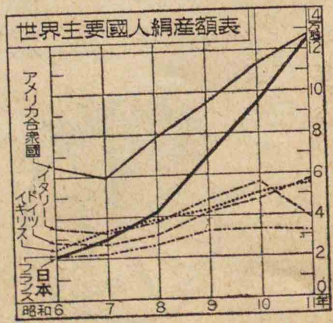
アメリカ合衆國の製紙工場

我が國の製紙用パルプは主として樺太・北海道に於て製せられ、消費の約二割七分はアメリカ合衆國・ノルウェー・カナダ等から輸入する。和紙は楮・三椏等の樹皮及びパルプから製せられる。支那紙(唐紙)は竹を原料とし、福建・江西・安徽等の諸省に多く産する。

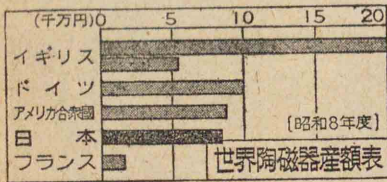
人造絹絲(レーヨン)及び人造羊毛(ステープルファイバー)は近時被服原料として急激にその需要を増し、特に人造絹絲工業は非常な勢で發達し

た。中でも我が國の發展は目ざましく、世界第一位のアメリカ合衆國を追ひ越さんとしてゐる。米日に次いでドイツ・イギリス・イタリア・フランス等が盛んである。原料には主としてパルプを用ひる。

我が國の人造絹絲年産額は昭和十一年度約十二萬噸で輸出は二千九百萬圓に及ぶ。

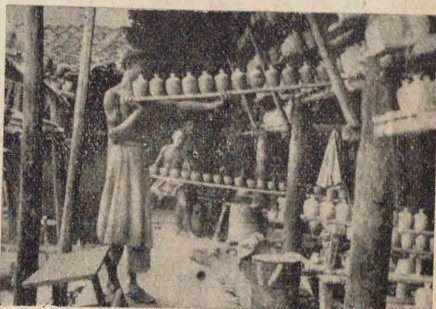


チェコスロヴァキアの硝子工場



その他セメントはアメリカ合衆國・ドイツ・イギリス・日本・フランスに多く、硝子はアメリカ合衆國・ベルギー(板硝子)・チェコスロヴァキア(硝子器)・ドイツ(光学硝子)等が著れる。我が國の硝子工業も近年急速の進歩を遂げ、各種罌類・コップ類・電球は盛んに輸出せられる。陶磁器は陶土及び燃料の得易い地に發達し、アメリカ合衆國・イギリス・ドイツ(セメント)・日本・フラン

*昭和十一年度機械類の輸入は二〇〇餘萬圓、輸出が約四〇〇萬圓ある。
 ▲農業機械は米・露に、鑛業機械は米・英・獨に、紡織機械は英・獨・佛に、電氣機械は獨・英・米に多く産する。また裁縫機械・タイプライターは米國に、學術機械はドイツに、航空機は米・伊・佛・獨・白に、兵器製造は英・佛・米・日が盛んである。



支那景德鎮の陶器製造

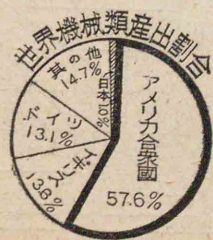
ス(セーゲル・リモーシュ)・支那(博山・景德鎮)等を主産地とする。我が國はアメリカ合衆國その他へ輸出する。

以上の外化學工業として重要なものにゴム製品があり、我が國のゴム製品は世界到る所に販路を有してゐる。賣薬及び石鹼・顔料・化粧品等の工業も重要である。

【機械器具工業】

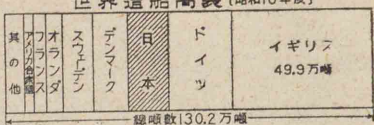
機械類は各種工業の發達する基礎をなすもので、機械製造は一般に文明國に於てのみ興る。我が國は従來、主として歐米

より輸入してゐたが、最近は殆んどすべての機械類が國內で製造せられ、輸出も相當に多くなつた。併

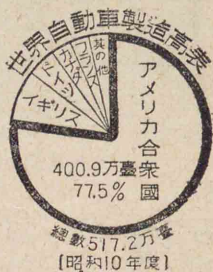


はまだ優秀品には輸入が少くない。世界で甚だ多く機械類を製造するのは米英獨の三國で、輸出もまた多い。時計はスイス・アメリカ合衆國(懐中時計)・ドイツ(柱時計)が著れ、我が國では東京・名古屋・大阪の三市に産し、柱時計の輸出も多い。

世界造船高表(昭和10年度)



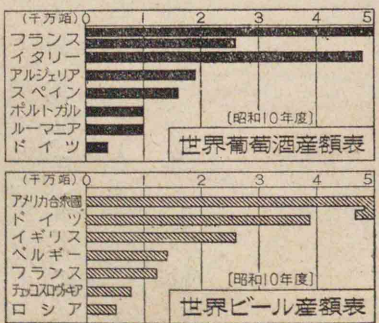
*造船高は年によつて大いに變動があるが、英・日・米・獨・佛は平均して多い。
 ▲強性酒に我が國の焼酎・泡盛、イギリスのウイスキー、オランダのジン、フランスのブランデー、ジャマイカのラム等がある。



【その他の工業】

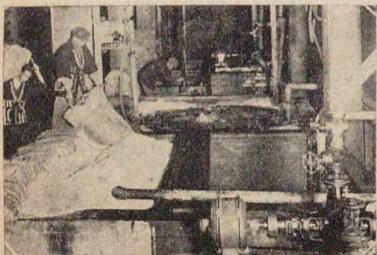
その他船舶の製造はイギリス(グラスゴウ・ニューカースル)・ドイツ(ステットリン)・日本デンマーク・スウェーデンに多く、車輛の中、鐵道機關車はアメリカ合衆國・ドイツが著れ、自動車はアメリカ合衆國が世界の約八割を出す。

その中、葡萄酒の主産地はフランス・イタリア・アルジェリアであつて、世界總産額の約七割を占める。



ビールは歐米に多く、アメリカ合衆國・ドイツ・イギリス・ベルギー・フランスは特に著れる。

我が國も近時その産額を増した。清酒は我が國の特産であつて、全國到る所に産し、兵庫・福岡・京都・廣島等の諸府縣に殊に多い。醤油もまた我が國に於ける重要な醸造品である。



醬油醸造に於ける食鹽溶解室

* 罐詰食品の輸出は最近七〇〇萬圓に及び、その中蜜餞は特に名高く三〇〇萬圓を超えアメリカ合衆國へ行くものが多い。

精糖業の中、甜菜糖はその産地たる歐米諸國に於て、また熱帯の甘蔗糖は温帯の文明國に送られて精製せられる。製粉業は歐米で盛んに行はれるが、我が國でも近時麥粉の需要が増して次第に盛んとなり、關東州・滿洲國・支那等に移輸出せられるものが三千五百萬圓に及んでゐる。また我が國には水産製造物の産も多く、その罐詰燻詰類は盛んに輸出せられる。

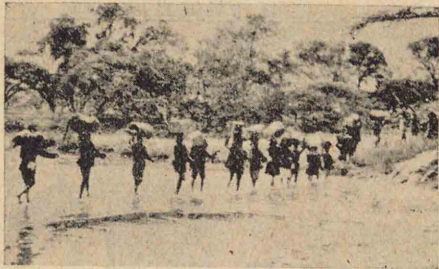
皮革類はアメリカ合衆國・ドイツ・支那・インド等が著れ、ロシアには

毛皮の産が多い。我が國も近時皮革の需要が多く、國內産のみでは不足するので、支那・アメリカ合衆國・インド等から輸入する。毛皮は輸入よりも輸出が多い。

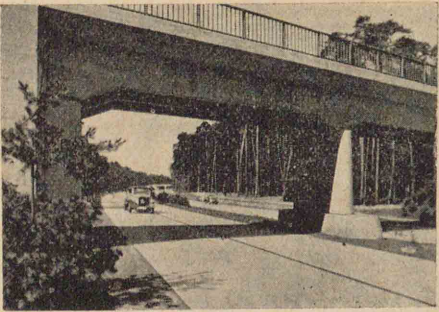
第七章 交通及び商業

第一節 運輸

【陸運】 未開地では今なほ通路として踏分道及び隊商路があり、交通機關としては擔夫及び馱獸が用ひられる。文化



アフリカの擔夫

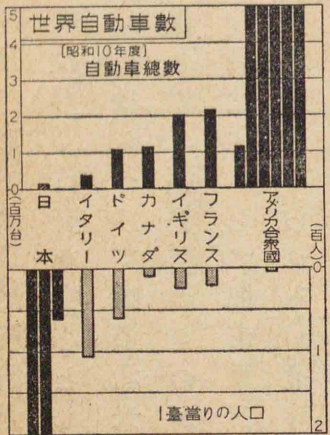


ドイツの自動車専用道路

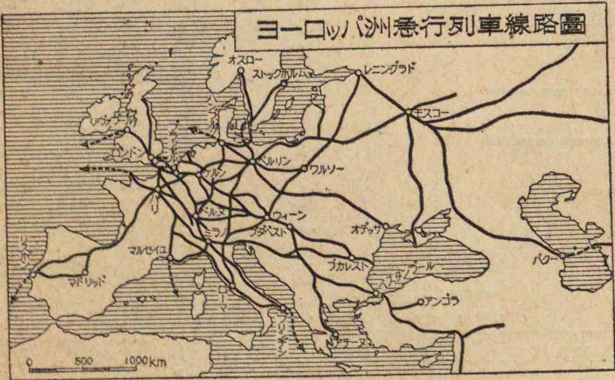
の進んだ地方には加工道路及び舗装道路が造られ、機關としては荷車の類が用ひられる。近時自動車の出現によつて道路の交通上の價値が大きくなり、自動車専用道路も諸所に築造されるに至つた*。

世界で自動車数の最も多いのはアメリカ合衆國であつて、總數の約八割を占め、フランス、イギリス、カナダ等がこれに次ぐ。我が國も近時次第にその數を増して來たが、地形の影響上、歐米諸國には遙かに及ばない。自動車専用道路も諸所に築造せられてゐる。

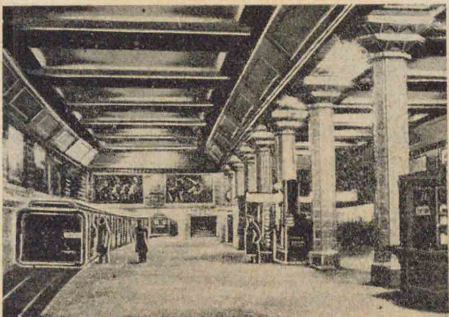
* 我が本土に於ては道路は國道・府縣道・市道・町村道の四種に區別される。現今國道の延長は約八五〇軒、府縣道は約二萬軒に及ぶが、その修築は一般に未だ歐米諸國に比して遺憾が多い。



鐵道は現在、陸運上最も重要な役割をなし、鐵道網の發



*汽車鐵道は傾斜百分の一までを限度とし、電車はやや急な勾配にも堪へる。



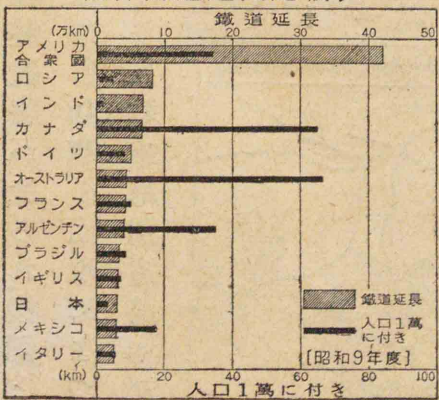
メルリンの地下鐵道

達及び形式は政治・經濟上重大な意義を與へる。強大な國家の鐵道網は多く首府を中心とした集中型であるが、世界の大公道に當る鐵道には、シベリア鐵道・北米大陸横斷鐵道及び未完成のアフリカ縦貫線の如く、通過型のものが多い。機關としては電車と汽車とがあり、前者は主として都市及びその近郊の交通に使はれ、後者は長距離の交通に用ひられるが、近時鐵道の電化が漸次行はれんとしてゐる。

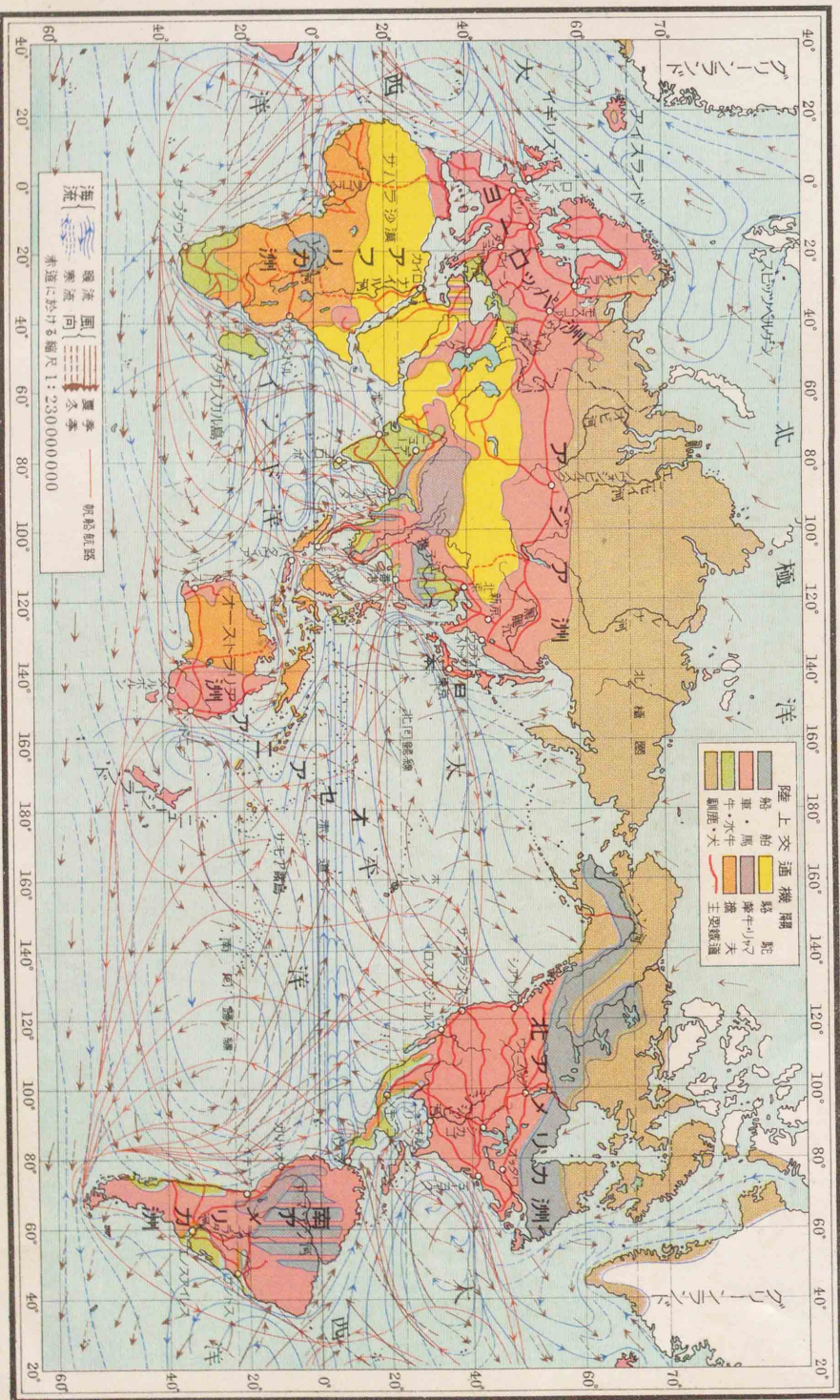
また交通が頻繁となるにつれて、大都市には高架鐵道・地下鐵道が敷設される。

【世界の鐵道】 現今世界に於ける鐵道の延長は百三十萬軒に達せんとし、各國中、延長の最も大なのはアメリカ合衆國で四十萬軒を超え、ロシア・インド・カナダ・ドイツ・オーストラリア・フランス・アルゼンチン等がこれに次ぐ。

世界鐵道延長比較表



陸上交通機關分布及び帆船航路圖



*運河には河流と
河流とを結ぶ運河
運河、海岸から内
陸の港市に至る海
船運河、水路の急
湍を避ける回避運
河、海洋航路を結
ぶ地峽運河等があ
る。

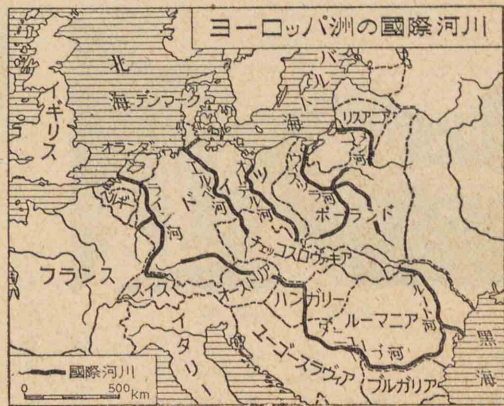


支那の大運河

面積の割合に鐵道の密なのはベルギー(百方呎につき二六・六呎)スイス(二四・二)イギリス(二三・四)ドイツ(二二・四)デンマーク(二二・三)フランス(二一・六)等で、すべてヨーロッパの文明國であるが、人口に比して鐵道密度の大なのはオーストラリア・カナダ・アルゼンチン・アメリカ合衆國等の新開國である。我が國はその何れも大なる方ではない。鐵道は通信機關と共に國內の統一を便とするから、各國共多くは國有制度を採用してゐるが、英米兩國の如く、民有制度のものもある。軌間(ゲージ)は地形や經濟發達の段階にも左右されるが、最も普通なのは四呎八吋半の標準軌間である。我が國は地形の關係から、主として三呎六吋の狹軌間制を採つてゐる。

【水運】Water Transportation 水上交通に於ける通路は、運河の場合を除き、その建設費及び修繕費が陸上通路に比して非常に低廉であり、また交通機關たる船舶の建造費及び燃料費も陸上交通機關に比して割安である。ただ速度は一般に小さい。

内陸水路には河川湖沼及びこれを連絡する運河*Canalがあり、現今では人や郵便物の通路としては餘り利用されないが、荷物の通路として重要視されてゐる。特に大なる河川湖

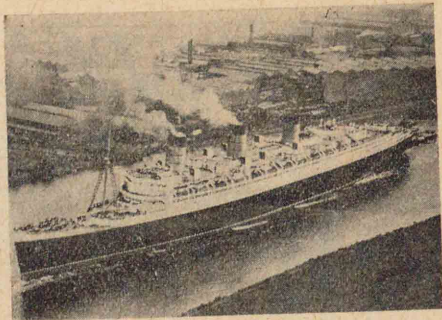


*ドイツは最近自国内の国際河川の廢止を宣言した。
▲帆船航路のみは風と海流との影響を受けるために、汽船ほど自由でない。併し運賃が安いので持ちのよい荷物の運搬に利用される。

距離を著しく短縮し、また軍事上にも頗る重要な役目を演ずる。

沼は海洋の延長と見られる場合がある。北米のセントローレンス河及び五大湖、ヨーロッパの**国際河川**の如きがこれである。
海上水路には沿岸航路、近海航路及び遠洋航路の別があり、沿岸航路は専ら陸上交通を補佐するものであり、近海航路はやや遠距離の交通を司る。遠洋航路は種々の方向を採り得るから、交通が自由で且つ運賃が安く、水上交通の特質を最もよく備へてゐる。また海洋の航路を連絡する**地峡運河**(Suez Canal、Isthmian Canal、Panama Canal、Lucas Canal等)は遠洋航路の

【港灣】 水運の盛否は港灣の良否に關係することが大きく、港灣の自然的條件として、陸岸の圍繞風位港口の適否、水質水深及び水面積潮汐干満の大小等がある。併しこれ等の條件を具へた港灣と雖も、それが港市として發達するには、培養地たる背域が廣く、交通が便利で幹線交通路に沿ひ、港灣の施設が完備してゐなければならぬ。港灣に

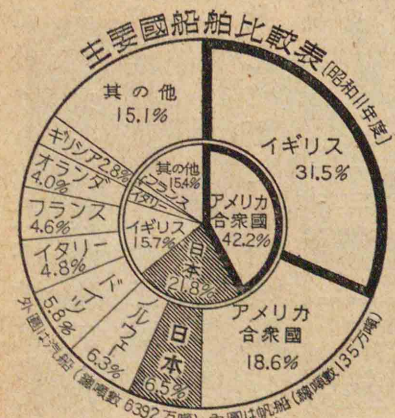


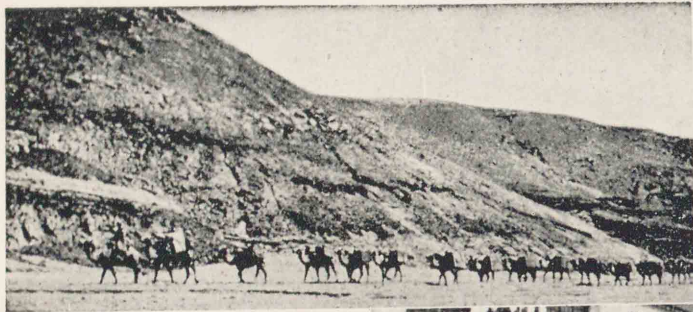
グリーンメリー號

*工業地帯に近接して直接に原料や生産物を積卸しする港を工業港と稱する。
▲世界最大の汽船はイギリスのクイーンメリー號(八萬噸)でフランスのノルマンディー號(七萬噸)がこれに迫る。

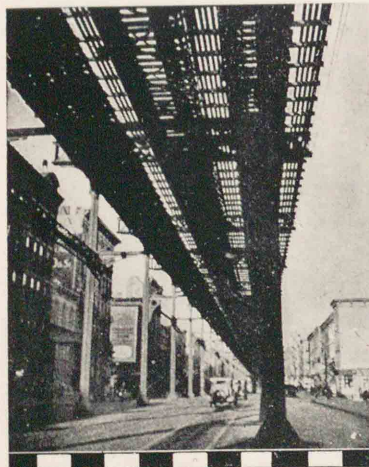
は漁港商港軍港があり、商港は更に自國の船舶のみの出入し得る内國商港と、外國貿易船の出入を許す開港とに分ち、開港の中、主として生産地と消費地との間に立ち、貨物流動の媒介をなすものを仲繼貿易港(香港・シンガポール・アントワープ)といひ、その中で輸出入共に關稅を免除するものを自由港(香港・シンガポール・大連)といふ。
【船舶と航路】 船舶には帆船、汽船、發動機船、ディーゼル船等があるが、汽船が最も多く用ひられ、漸次大形高速度の大船舶が建造されつつある。最近

はディーゼル船も多くなつて來た。現今世界に於ける船舶の總噸數は約六千五百萬噸であつて、英・米二國で總噸數の約半を占め、日本・ノルウェー・ドイツ・イタリー・フランス・オランダ等がこれに次ぐ。世界の主要遠洋航路は大西洋に於ける北大西洋航路中

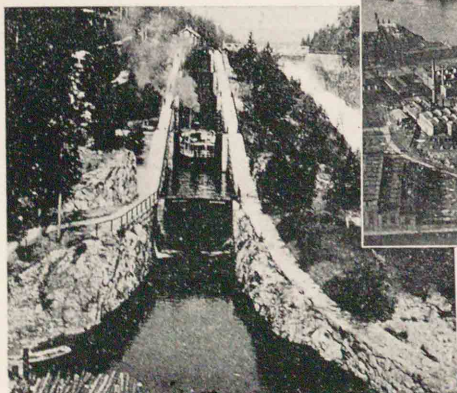




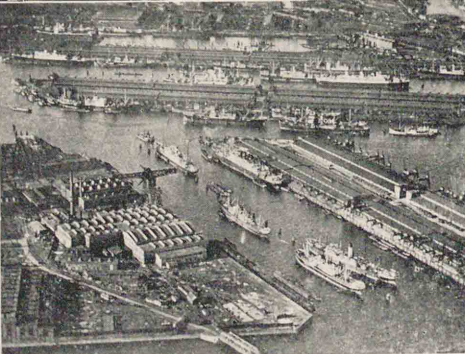
↑ ゴビ沙漠の隊商



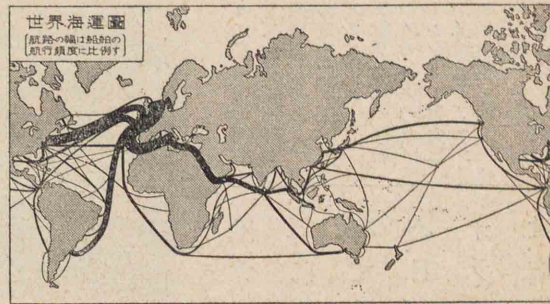
↑ ニューヨーク市街の高架鐵道



↑ ハンブルグ港大観
← ノルウェーの回避運河
(右側に急湍が見えてゐる)

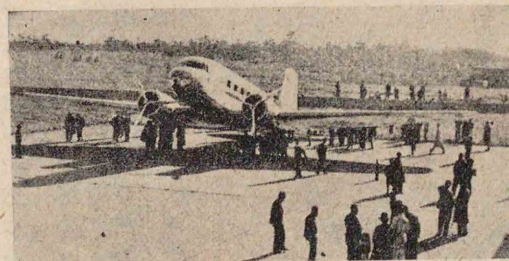


↓ 南アフリカの人力車夫



飛行船は餘り用ひられない。また航空路には空港（飛行場・不時着陸場・航空無線局・航空燈臺・航空標識等の諸設備を要し、更に空港に

飛行機が主に使用せられ、輸送が主となつてゐる。有し、航空機は速度が大である。併し輸送力は小さいから、人、貴重品、郵便物の輸送が主となつてゐる。【空運】 空中交通は陸上・水上に比して更に自由な通路を



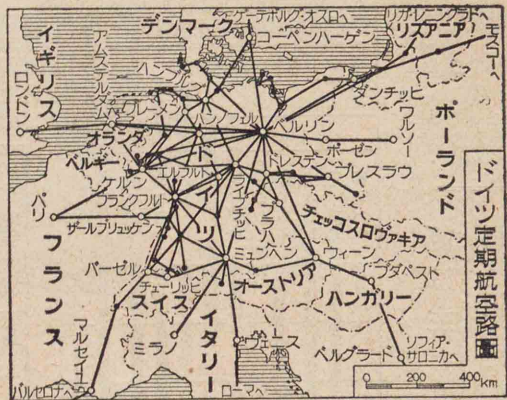
ダグラス旅客機（現今内地・臺灣間に使用）

主要國民間飛行機及び操縦士數

國名	飛行機數	操縦士數
アメリカ合衆國	1000	2000
フランス	500	1000
ドイツ	500	1000
イギリス	500	1000
イタリア	500	1000
日本	500	1000

[昭和10年度]

*我が國の民間航空は從來甚だしく後れてゐたが、近年優秀機の使用、航空路の開闢、飛行場の擴張等により大いに活氣を帯びるに至つた。

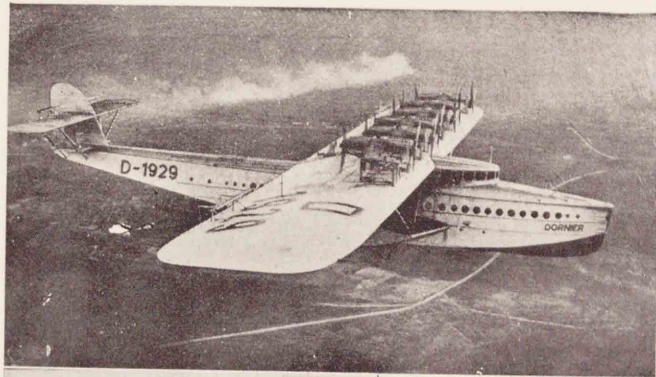


(百万km)	0	5	10	15	20
アメリカ合衆国	0	0	0	0	0
アツタススター	0	0	0	0	0
ロンドン	0	0	0	0	0
スイス	0	0	0	0	0
イタリア	0	0	0	0	0
フランス	0	0	0	0	0
オランダ	0	0	0	0	0
ドイツ	0	0	0	0	0

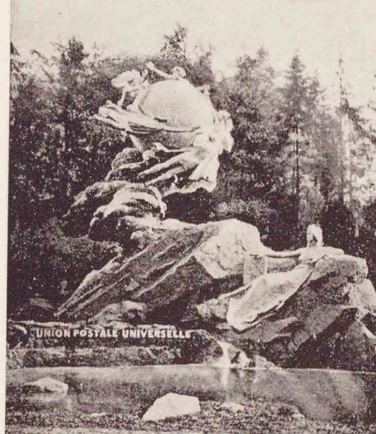
は格納庫・修繕工場等が必要とする。我が國ではこれ等の設備が未だ十分に發達してゐない。一般に文化の進んだ國は航空路網が發達し、ドイツを中心とした北西ヨーロッパ及びアメリカ合衆國では殊に密である。我が國は地形氣候等の條件からその發達が不十分であるが、航空路は經濟上のみならず、政治的にも重んぜられてゐるから、將來は諸外國への航空路の開拓が急務である。

第二節 通信

通信の發達は人口密度の大小及び文化發達の段階に比例するが、特に經濟活動の旺盛なる地方に於て最も進んでゐる。通信機關は政治經濟上緊要な關係があるから、各國共に或は國內に均一制度を布き、或は萬國郵便電信聯合に加盟してその發達に努めてゐる。



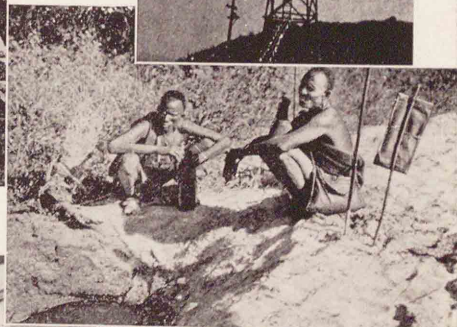
← ドイツのドルニエII
ドックス大型旅客機



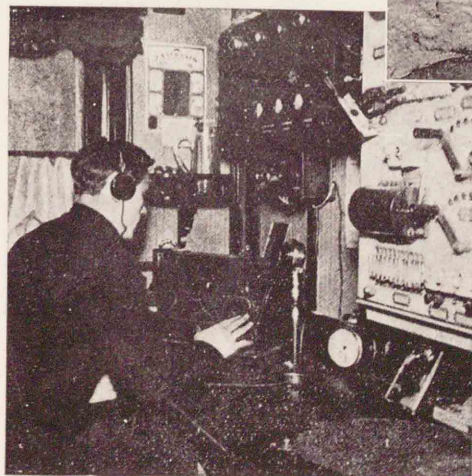
↑ ベルヌに於ける萬國郵便聯合記念碑



→ 十國峠の航空燈臺



↑ アフリカ内部の郵便配達夫



← ロシアの急行列車内無線電信局

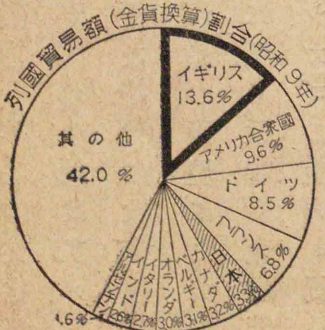


東京株式取引所内部

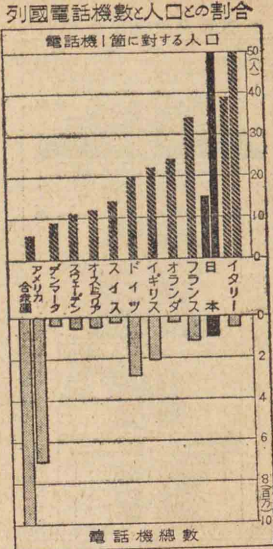
第七章 交通及び商業

化發達の程度及び傳統等の差によつて、産業の種類とその發達段階とを異にし、その結果商業を生ずる。特に交通機關の發達と生活程度の向上とは、各國民の生活様式を複雑にし、世界各地の物産を交易することが愈々繁くなつた。例へ

九五



*ロンドンでは最近實用化された。



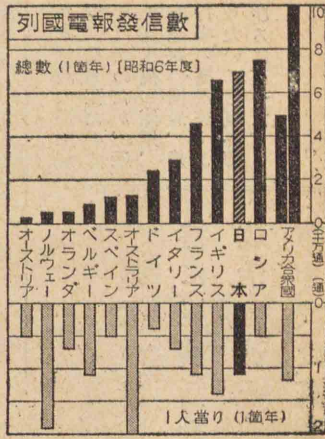
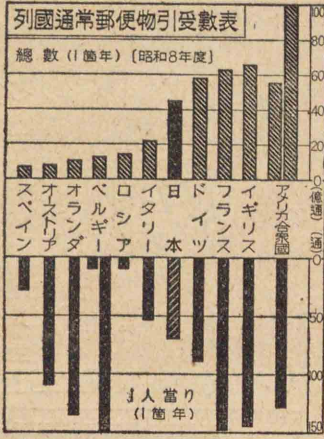
機數はかなり遜色がある。無線電話は世界の主要都市との間に通話が可能になつた。

第三節 商業

【商業の發達】 地球上の各地は、その自然環境の相違と文

最近寫眞電送が歐米や我が國では實用に供せられ、**テレビジョン**(無線電視)も試験的に行はれるに至つた。

我が國は夙に歐米の制度を採り入れ、萬國郵便電信聯合にも加入して、通信制度の完備は列強に劣らない。ただ電話



話の主として國際間に利用せられる。**ラヂオ**もまた各國に普及し、國內は勿論、國際間の放送も行はれてゐる。

電話の中、**有線電話**は比較的近距离に役立つ。都市に於て多く用ひられる。**無線電**

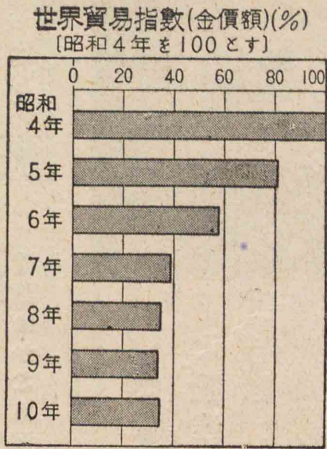
無線電信は有線電信に比して設備費が少く、且つ移動しつつ發信受信が可能であるために、近時その利用が著しく増した。ただ電文の漏洩する虞れは有線の方が少い。

【通信の種類】 郵便には**通常郵便**と**小包郵便**とがあり、近時飛行機による遞送も行はれて來た。**電信**は有線と無線とに分れ、前者は陸上電線と海底電線とから成る。**無線電信**は近時船舶相互間、船舶と陸地との間及び遠距離の通信機關として非常に重要なものとなつた。

各國ラヂオ聴取者數割合 [昭和10年度] 人口1000に付き(人)

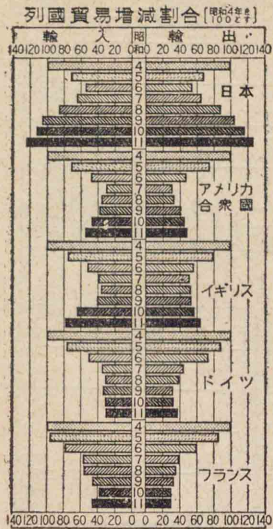


ば熱帯の栽培農産物及び温帯の草原に於ける穀物や羊毛は、文化が優れて人口稠密な温帯の工業品と交換され、我が國の生絲はアメリカ合衆國の棉花と交易される。また交通の不便な時代には貴重品の取引のみが行はれたが、汽車・汽船の出現によつて生活必需品の貿易が行はれるに至り、近時冷蔵設備の完成によつて、北海の魚類やシカゴの生肉も貿易品となるに至つた。



商業が一國內または同一關稅區域内で行はれる時はこれを内國商業といひ、各國間に行はれる時は外國貿易(國際商業)といふ。また他國間の物資を仲介する貿易を仲繼貿易または通過貿易といふ。

商業が一國內または同一關稅區域内で行はれる時はこれを内國商業といひ、各國間に行はれる時は外國貿易(國際商業)といふ。また他國間の物資を仲介する貿易を仲繼貿易または通過貿易といふ。



【世界の商業】 世界の貿易は第十九世紀の後半に於て非常な進歩をなし、世界大戦中、更に著しく貿易額を増したが、その後漸次減少し、最

近やや盛り返しつつある。世界の貿易總額は約八百億圓であつて、イギリスが最も多く、アメリカ合衆國・ドイツ・フランス・日本がこれに次ぐ。我が國の貿易額の發展は近時特に目ざましい。

外國貿易の盛否は一國の産業の外に、國家の政策もまた關係する。關稅政策(自由貿易・保護貿易等)・貨幣制度の如きがそれである。最近は各國共自國內の産業保護のために、競つて關稅の障壁を高め、經濟ブロックの形成によつて自給自足經濟の樹立に努めつつある。

一般に文化の高い工業國は貿易高は多いが輸入超過に傾き、單一なる産業の行はれる農牧國は概ね輸出超過となる。併し前者は普通貿易外收支(海外投資の利潤・運賃・外債利子・移民送金・旅費等)によつて國際收支を償ふ。

貿易額比較表 (單位百萬圓, 昭和10年度)

國名	總額	輸出額	輸入額	差額
イギリス	一九,三三九	七,三〇二	一二,〇三六	(-) 四,七三三
アメリカ合衆國	一五,一五七	七,九四〇	七,二一七	七,九二三
ドイツ	一一,八七三	六,〇四四	五,八二九	二四四
フランス	八,四〇八	三,五七二	四,八三六	(-) 一,二六四
日本(内地)	五,四三七	二,六九三	二,七四四	(-) 五一
カナダ	四,八三〇	二,九一六	一,九一四	一,〇〇二
ベルギー	三,八七三	一,八六三	二,〇一〇	(-) 一四七

第八章 政治

第一節 國家

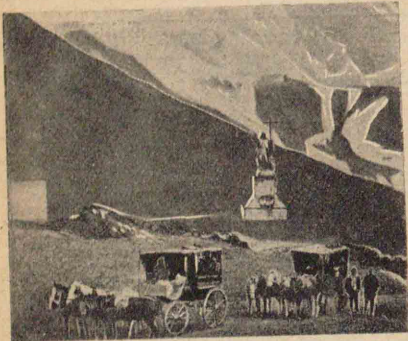
【**國家**】State 人類は上述の如く、諸種の生活に於て自然の制約を受けつつ、自らの力によつてこれを利用し、地球上に種々の集團を現出している。その中、同一目的を有する住民が、一定の地域を限つて統一ある政治生活をなす時は、これを**國家**といふ。國家の成立には**主權**、**國民國土**の三要素を必要とする。未開人の中には未だ國家を形成しないものが多い。國家は現在人類の持つ最後の且つ最強の社會團體であつて、世界に於て凡そ七十あるが、眞の獨立國は二十餘に過ぎない。その中、日・英・米・佛・獨・伊・露の七國は特に強大である。

自然・人文の複雑なヨーロッパ洲に國家の數は最も多く、アジア・南北アメリカ・アフリカの諸洲がこれに次ぎ、オセアニア洲には獨立國家は一つもない。

國家は主權の所在によつて**君主國**と**共和國**とに分れる。君主國はその國の歴史的關係から**帝國**（日本・滿洲國・大英帝國・イタリー）・**王國**（デンマーク・ハンガリー・アフガニスタン）・**大公國**（ルクセンブルク）・**公國**（リヒテンシュタイン）等に分れ、共和國には中央集權的な國（フランス・南米諸國）の外に自治權を有する州や邦國が集つて組織する**聯邦國家**（アメリカ合衆國・ドイツ・ロシア）もあり、また**自由市**（ダンチヒ）もある。現今世界には立憲政體による國が多い。

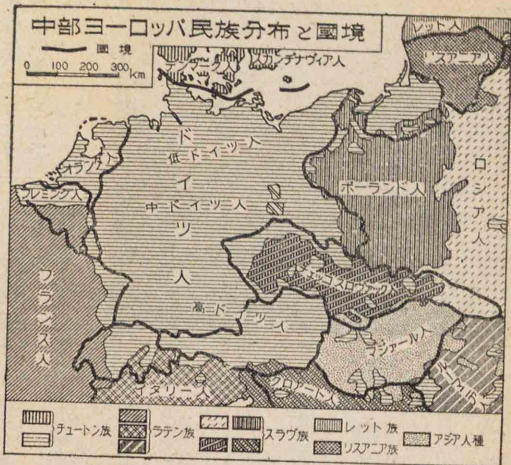
【**首府**】Capital 國家の元首が居住し、同時に政府のある地を普通**首府**と稱する。首府が國內の人口及び政治・經濟活動地域のほゞ中心に位置するものを**重心型**（モスコ・マドリッド・ローマ・ワルソー・ブラッセル・新京）といひ、歴史的關係や對外關係からその位置の偏してゐるものを**偏在型**（東京・ロンドン・オスロ）と稱する。首府の多くは一國の政治・經濟・文化等のあらゆるものの最大中心をなすが、稀に政治上のみ**首都**（ワシントン）がある。

【**國境**】Frontier 國境には山河湖海等による**自然的國境**と、經緯線または民族分布等による**人為的國境**とがある。一



アンデス山中に於けるチリー・アルゼンチン國境

*自然的國境の中森林・沙漠によるものは明瞭さを缺くから國際問題が起り易い。南米の熱帯林、アフリカの沙漠等はそれである。



般に自然的國境に恵まれた國は安全性が大きく、人為的國境、特に民族分布を基とした國家では國境に關する國際問題が起り易い。國際紛争の起り易い所には中立地帯を設け、強國間には緩衝國(局外中立國)を置いて、これを緩和することがある。

民族を基とした國境附近には、往々所謂民族渡廊と稱して特殊の地域があり、相隣る兩國間の國際争奪の的となる。ヨーロッパには民族國家が多いから、この種の争ひが少くない。

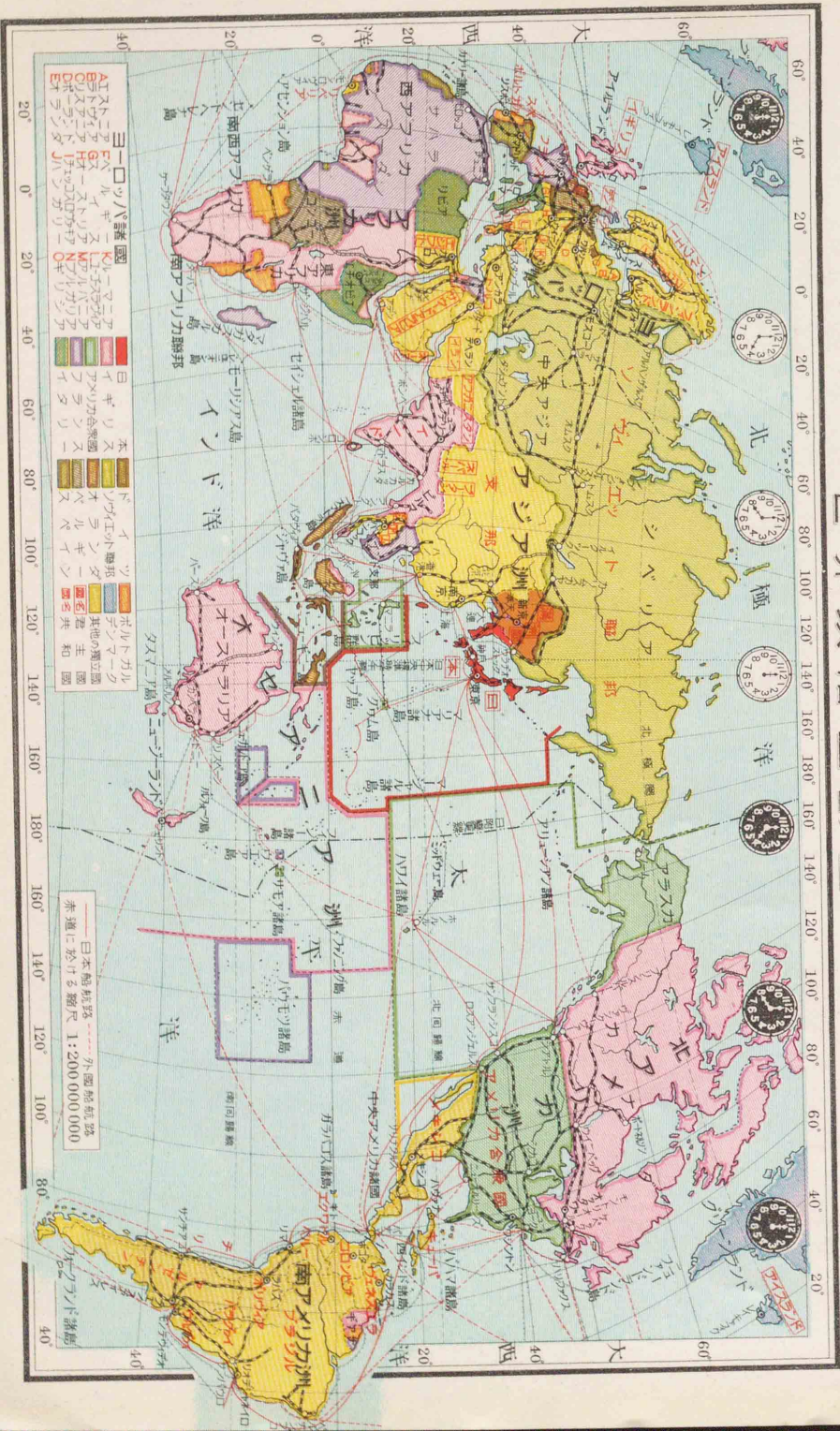
【國境の消長】

未開地に於ける國境は探検・拓殖

によつて擴り、蠻族の侵入、惡疫の流行等によつて自然に萎縮する。文明國間の國境は主として戰爭によつて消長するが、最近は人民投票によつてその歸屬が決められ、國境の變化せられるものがある。また領土の買収によつて國境の變更を見る場合もある。

第二節 國家の版圖

世界政治圖劃圖



*三哩を普通とし
彈丸の届く範圍と
する説もある。近
時航空機の出現に
よつて、領土及び
領海の上空を領空
と稱し、主權の支
配下に入れられて
ゐる。

【版圖及び空間四至】

國家の版圖は陸地面積を主とする。併し版

圖の周圍にある海は領海Territorial Watersと稱して、海岸から或る距離を主權の支配

下に置く。* 故に我が國の如き島國は、領海を入れるとその面積はか

なり大きくなる。また國家の領土の四極によつて包まれる空間四

至の大小は、その全部が版圖ではないが、政治上、軍事上の利害關係が

その全部に及ぶので甚だ重要である。我が國は國土の面積は比較

的小さいが、南洋群島を含めた空間四至はヨーロッパ洲よりも廣い。

【島國と大陸國】

國家には我が國やイギリスの如く島を根據とす

る島國と、その他の大部分の國の如く大陸に存する大陸國とがある。

大陸國の中で、全然海洋に面しないものを内陸國Inland Countryといふ。大陸國、特

に内陸國は隣國との交渉が多く、國際關係が複雑である。

内陸國は海洋への出口を持たないのが普通であるが、ヨーロッパの

内陸國は國際河川によつて海洋との連絡を保つてゐる。

【同溫國家と非同溫國家】

國家の版圖が比較的狭い緯度間に擴る

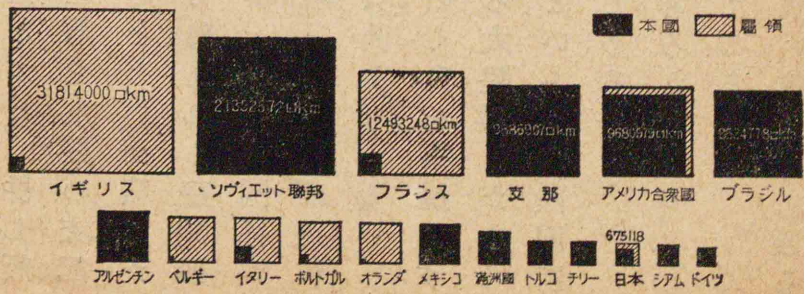
*委任統治領とは
國際聯盟から統治
を委任されたもの
で次の三種があ
る。A式(獨立國
として認められる
が統治國から助力
を受けるもの。パ
レスチナ・ケラク
シリア)、B式(國
際聯盟の規約によ
つて統治を受け聯
盟加入國に對して
通商上の機會均等
が許される。舊ド
イツ領東部・中部
アフリカ)、C式
(統治國の一部と
してその法律で治
められるもので實
際は領土に等し
い。舊ドイツ領南
西アフリカ及び太
平洋諸島、即ち我
が南洋群島はこれ
に屬する。)

時は同温國家と稱し、反對に廣い緯度に互るもの
を非同温國家といふ。通常、小國家は同温國
家であり、大國家は非同温國家である。

我が國は面積は大でないが、南北に長く、熱温
寒三帯に互る非同温國家であつて、國內に於て
三帯の産物が得られる。同温國家は産物の種
類が少い。イギリスの如きは植民地を合せる
と非同温國家である。

【植民地】 本國以外の領土を植民地(屬領)と
いひ、これを分つて自治植民地、直轄植民地、保護
地、租借地、委任統治領の五とする。イギリスは
Lessed Territory, Mandatory Territory, Protectorate
これ等の植民地の何れをも有する。我が國の
植民地は南洋委任統治領、關東州租借地以外は
何れも直轄植民地である。併し我が國の植民

主要國の本國と屬領



シンガ(イギリスの軍事及び商業植民地)ポールとして極東への成長先端である

地は歐米の植民地の如く本國と隔絶せず、その延長として
次第に本國に同化融合しつつある。

他國の領土内に移民が行はれ比較的限られた地域にその移民が集團生活
をなす場合、その地域をも植民地と呼ぶことがある。我が移民のブラジル
に於けるはその例である。また現在では確定した地域がなくとも、將來自國
の特殊利権の確保を列國に向つて宣言した地方を勢力範圍と呼ぶ。なほ
本國からかなり離れた地點、或は他國の領土中に本國の勢力が延びる時は
これを國家の觸手といひ、その先端を國家の成長先端と稱する。イギリス
のシンガポール、香港などはそれである。

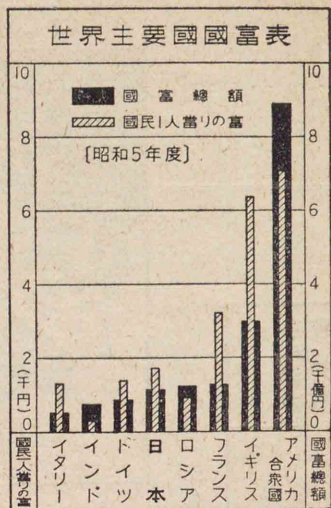
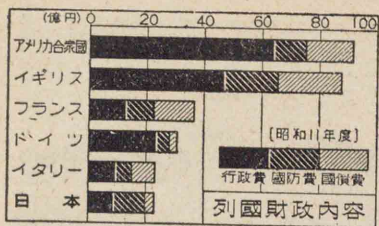
【植民地の職能】 植民地はその職能上、移住植民地と投資植民地と
に分ける。移住植民地は正常植民地または農業植民地ともいひ、最
も完全なものであつて、本國人が移住して開拓に従事し、遂に第二の
本國を出現する。カナダ、オーストラリア、ニュージールランド等はその
好例である。投資植民地には熱帯植物栽培を主とする栽培植民地
(シヤゲア、海峽植民地、ハワイ)、商業・交通上の要地にある商業植民地
(シンガポール、香港)等があり、別

に**軍事植民地**(Military Colony) (マルタ・パルミューダ・ケラム・シブラルタル)があつて、軍略上及び植民政策上の根據地となつてゐる。

第三節 行政

【内政】 現在世界の殆んどすべての國家は、所謂**中央集權制**によつて國內及び植民地を治め、**地方行政**に關しては自治をも認めるが、その程度は國によつて相違する。アメリカ合衆國・ドイツ・ロシアの如き聯邦制共和國の各州や邦國は最も廣範圍の自治を認められ、自治植民地と共に内政に關しては殆んど一國の觀がある。我が國は往古は中央集權制であつたが、その後封建制となり、明治維新後再び中央集權制となつた。地方には道府縣制を布いて自治を許し、植民地にはそれぞれ特別の行政組織を行つてゐる。

【財政】 國家は産業・交通・衛生・教育等の内政を整へ、軍備を充實し、國債を償還するために夥だしい經費を要する。これを歳出といひ、その多少は一國の國富や國民所得及び國民經濟發達の程度



*我が國の官業の主なものは郵便・電信・電話・鹽專賣・煙草專賣・鐵道等であつて、頗る重要な収入源となつてゐる。

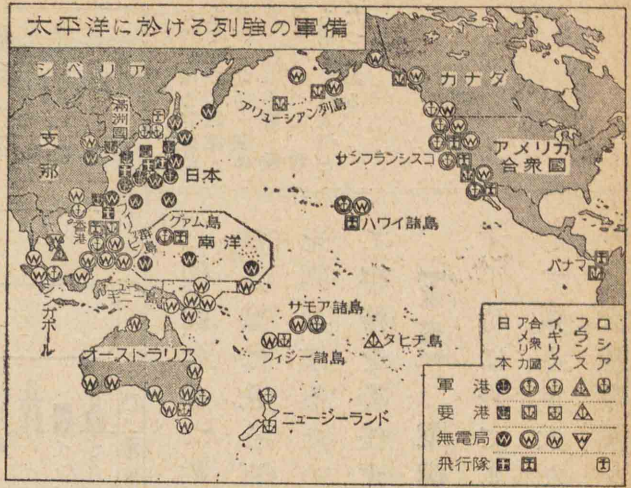
等によつて相違し、また歳出の内容も國情によつてその割合を異にする。歳入は歳出に伴つて増減するもので、**租稅**・官業收入・官有財産收入等はその主なものである。官業の多少は國によつて相違する。もし歳入が不足する時には**國債**による。我が國の國債は内國債約八十五億圓、外國債約十

三億圓、合せて約九十八億圓で、國民一人當りの負擔は凡そ百圓に當る。また國內の金融を調節するためには、各國共**中央銀行**を置いて事務を委任する。

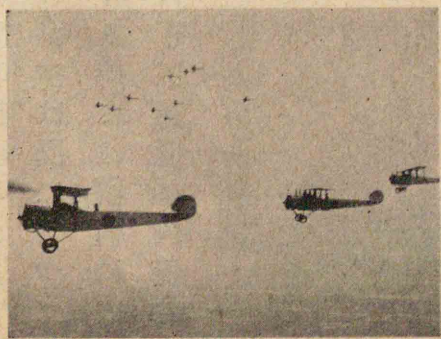
【軍備】 軍備は常に戦争のためのみならず、平時に於ても一國の外交貿易等の背景として頗る重大なる役目を演ずる。大陸國または大陸政策を行ふ島國は一般に**陸軍**に強



我が國の中央銀行で(日本銀行)兌換券を發行する



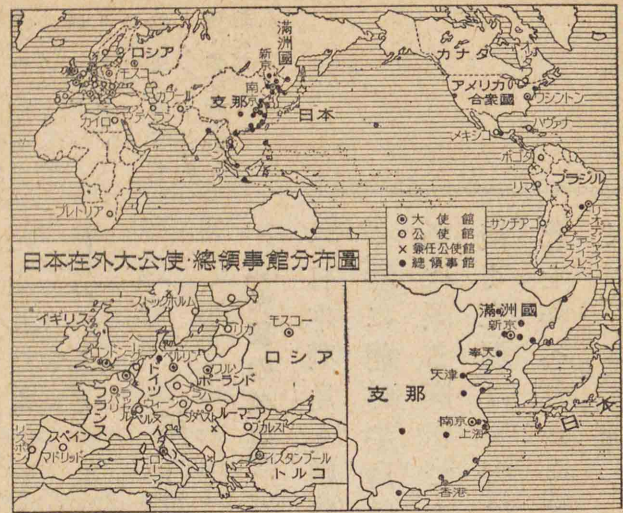
く、他の島國や海洋を支配する國は普通海軍が強い。空軍は陸海何れにも威力を發するから、列強は競つてその充實に努めてゐる。我が國は大陸に於てはロシア、支那に接し、太平洋に於ては英米佛等の領土に對してゐるから、海陸空何れの軍備をもおろそかにすることは出來ないが、殊に將來の戰爭には空襲が伴ふことを覺悟して防空に努力せねばならぬ。



我が空軍の活躍

主要國陸軍空軍軍備比較表 (昭和十年)

飛行機	平時兵力	日本	ロシア	アメリカ	イギリス	フランス	ドイツ	イタリ
一、〇〇〇(臺)	二五(萬人)	一六〇	三	元	五	七	三	三

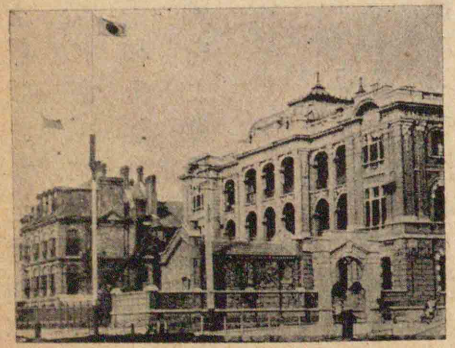


共同する必要を生じ、二つには自國の發展のために各國との協調を必要とするに至つた。そこで各國は互に和親通商の條約を結び、一

主要國海軍軍備比較表 (單位千噸、昭和十年)

日	アメリカ合衆國	英國	法國	ドイツ	イタリ
巡洋艦	二七二	二二五	二二二	二二七	二二七
驅逐艦	四四五	三三三	三三三	一五〇	一五〇
潛水艦	四七五	三三三	三三三	一九九	一九九
航空母艦	一三三	一三三	一三三	一〇七	一〇七
航空母艦	一六四	一六四	一六四	九二	九二

【外交】 近時交通機關の進歩につれて、各國民



支那上海日本總領事館

國を代表する大使・公使を派遣して外交事務を取扱ひ、また總領事領事等を置いて通商及び在留自國民の保護取締に任じてゐる。

*國際聯盟や軍備縮小會議も、もとは世界の平和を維持せんがために生れたものであるが、實際上では各國が自國をより優勢なる位置に置かんとするもので、容易に協調を得難い。

第九章 世界に於ける我が國の地位

【帝國の位置】 我が大日本帝國の大部分は、アジア洲の東縁にある日本列島と朝鮮半島とから成り、所謂島國である。併し大陸に近く、特に朝鮮半島は大陸との橋梁をなし、従つて我が國と大陸との關係は頗る緊密であつて、友邦滿洲國は帝國の障壁をなし、その南西に續く支那は嘗ては我が國にインドや西域の文明と共にその儒教文化を傳へたが、今は列強の政治經濟上の逐鹿の地となり、また北に續くソヴェット領シベリアはソヴェット聯邦の極東經略の先端である。

*國際聯盟は現在吾餘國の加盟を得てゐるが、世界列強の中、我が國の外、アメリカ合衆國・ドイツ・イタリー等も加入してゐない。
我が國は最近ドイツ・イタリーと日・獨・伊防共協定を結んだ。

更に帝國の南東方には世界最大の海洋たる太平洋があり、交通機關の進歩はこの大海洋をも國際活動の舞臺たらしめて、アメリカ合衆國は東方より、イギリス・フランスは南方より、何れも極東への觸手を伸ばしつゝある。

【美しき自然】 我が國は地形が狹長で山勝ちであり、また環太平洋山系の一部に當つて地體變動の最も激しい所に位するため、地形は細分され、火山・地震が多く、世界でも有名な火山國地震國である。従つて我が國の自然は産業・交通を阻害することは大であるが、山水の風景に富み、温泉の湧出多く、世界の一大公園をなしてゐる。氣候に於てはその大部分が温帯にあつて、四季の變化が最も明瞭に現れ、風光の美と相俟つて、國民をして寒暑に對する忍耐勤勉の精神を養ひ、また優雅な心の持主たらしめてゐる。

【貧弱なる資源】 地形上大平野少く、従つて耕地面積も小さいから、一般に天産物に乏しい。併し季節風帯に屬し、世界に於ける米・生絲

茶の特産地の一つをなしてゐる。更に南北に長く延びるがために、北方では冷帯性の産物が、南方では熱帯性の産物が得られ、生物の多種多様なことは世界に類がなく、従つて物産の種類も多い。

原始産業の中、農業は地形の關係から耕地面積は小さいにも拘らず、氣候と土壤とがよく、且つ集約農業が行はれるために、國民の主食物たる米^(第三世界)は今なほほぼ自給し得、且つ蠶業が盛んであつて、生絲は世界の約九割を産し、重要な輸出品であるが、衣料の原料たる棉花羊毛はこれを殆んど全部國外に仰ぐ有様である。林業はかなり盛んであるが、牧畜は地形氣候がこれに適せず、餘り振はない。鑛業も鑛産物の種類は甚だ多いが、地形が細分されて大なる鑛床を得難く、鑛物は石炭^(第六世界)、金^(第五世界)、銅^(第六世界)の外には見るべきものがない。特に製鐵原料たる鐵鑛と、近時需要の激増した鑛油類とはその大部分を海外に仰いでゐる。ただ漁業のみは、その恵まれた自然環境によつて漁獲物の大なることは世界第一位である。かくの如く、我が國

の資源は世界的に見て決して豊富ではなく、寧ろ人口に比すれば甚だ貧弱といはねばならぬ。ここに所謂日滿經濟ブロックの形成が必要となつて來るのである。

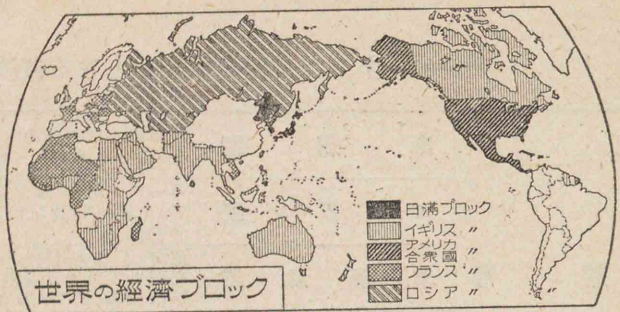
然るに加工産業たる工業に於ては、原料の大部分を外國に仰ぎながら近時の發展目ざましく、特に綿工業は先進國たるイギリスの壘を摩して、世界到る所に我が國の製品の販路を拓きつつある。化學工業の進歩も著しく、人絹の如きはアメリカ合衆國を壓して、正に世界第一位にぬきこんでんとし、硫酸アンモニアの如きも最近はその始祖たるドイツに肉迫しつつある有様である。

工業の進歩は自づと貿易の増加を來たし、今や我が國の貿易額は世界第五位にあり、最近の増加率の大なることは世界第一位である。【海運國日本】地形の關係上、陸上交通はかなり阻碍されてゐるが、鐵道の制度に於ては通信と共に世界の模範といつてよい。海運は我が國が四面環海であるためと、太平洋航路及びインド洋航路の

接續點に位するためによつて、頗る恵まれた位置にあり、現今世界第三の海運國であるが、將來は愈々發展するであらう。空運は未だ振はず、海外への航空路の開拓が足りない。

【比類なき國體】 我が國の領土總面積(六十八萬方軒)は世界第二十四位にあるにも拘らず、人口(九千八百九十餘萬)は頗る多く、世界第六位にあり、一方籽の人口密度(五百四十)は實に世界第一位にあつて、その増加率の如きも文明國中に於ては世界第一である。而して住民は大和族を中堅とし、數種の種族がよく融合して、頗る元氣あり、産業文化方面に於て、他國民に伍して決して劣らない實力を有してゐる。また夙に立憲政治を採用し、三千年の昔の建國の大精神に基づいて、天皇を中心として忠孝一如、億兆心を一にして世々厥の美を濟し、誠に世界に類なき國體を形造つてゐる。

【國民の覺悟】 我が國はかくの如く自然が美しく、國民もまたよくその自然環境を利用して、世界に誇るべき國民文化を創造して來

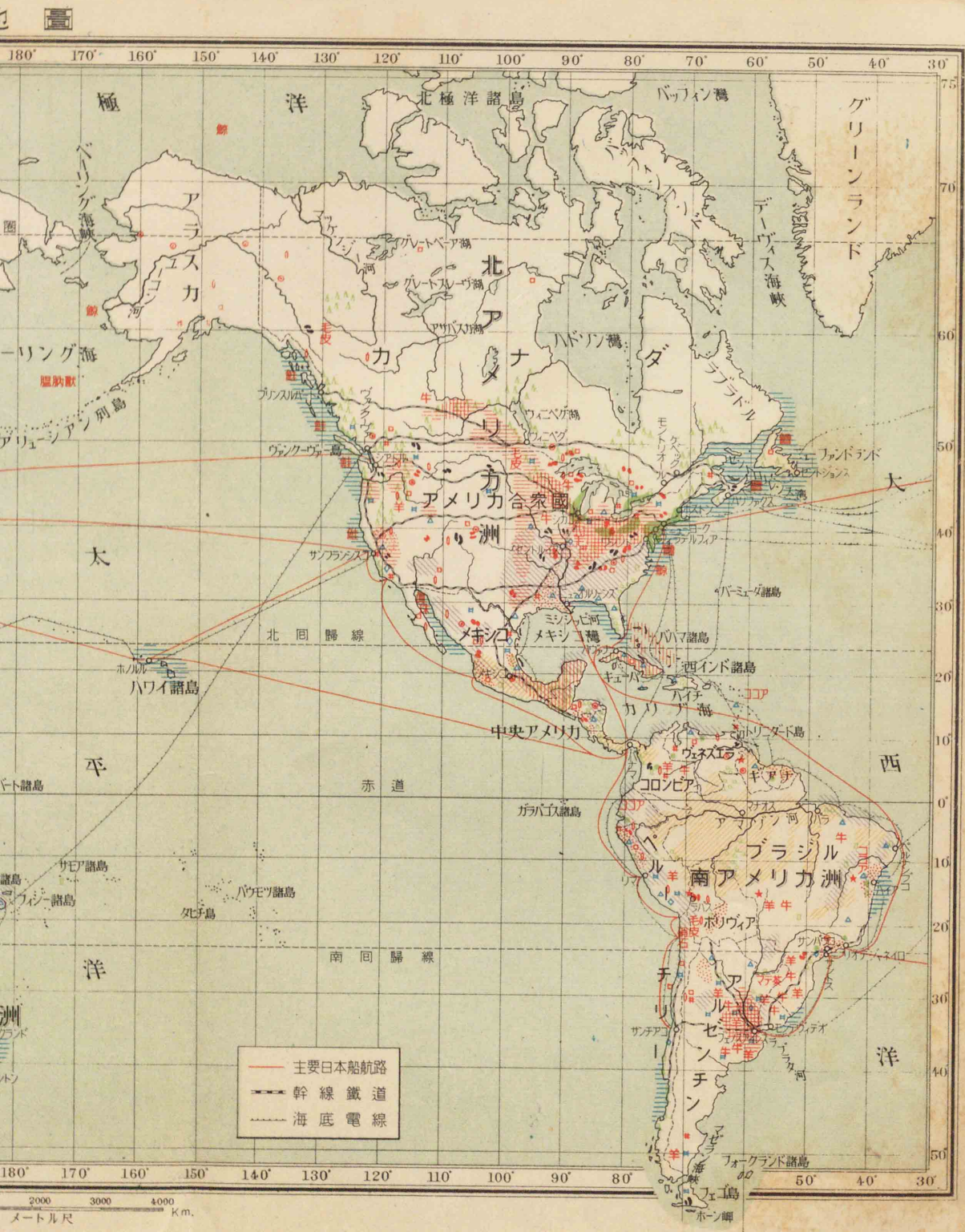


たが、最近に於ける世界の情勢は、太平洋及び極東をして世界問題の焦點たらしめんとし、列強は或は國際聯盟に、或は軍備縮小會議に名を籍りて、自國をより優勢の位置に置かんとし、また經濟ブロックの構成によつて自給自足經濟の樹立を圖りつつある。我が國は最近國策上の主義を同じうするドイツ・イタリーと共に日獨伊防共協定を結んで、東洋の平和と人類の幸福とのために努力しつつあるが、列國の中にはこの帝國の眞意を理解しないものがあり、今次の支那事變の如きを惹起したのは誠に遺憾である。この秋に當り、我々は資源の貧弱にして人口の増加著しき我が國の世界的地位をよく了解し、我が國威を高揚すると共に、國際平和の増進と人類文化の發達とに貢獻するやうに努力せねばならぬ。

現勢地理通論終

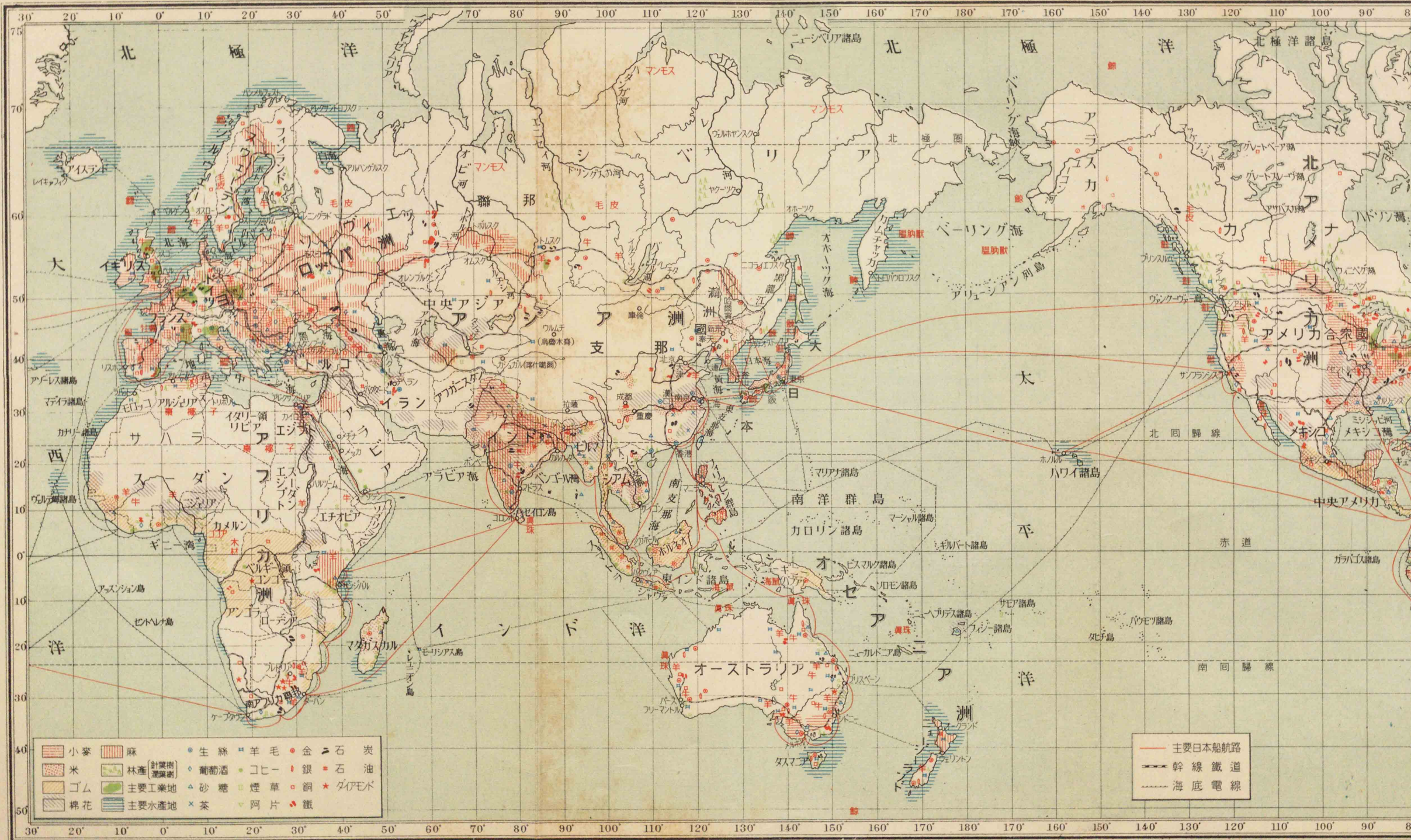
ハーバートソン氏の氣候を基とせる自然地理區

熱帯	赤道型	蘭領東インド諸島・マレー半島・セイロン・上ギニー・ベルギー領コンゴ・アマゾナス	
	スーダン型	スーダン地方・東アフリカ臺地・北ローデシア・リャノス・カンボス・濠洲グリーンランド内部	
	季節風型	臺灣・インド支那・インド・マダガスカル島・葡領東アフリカ海岸・西インド諸島・中米・濠洲北部・ブラジル東岸	
	サハラ型	サハラ・ソマリランド・カラハリ・アラビア・オーストラリア沙漠・アタカマ・アリゾナ・南カリフォルニア州	
	エクワドル型	エクワドル及びコロンビアのアンデス山中	
温帯	暖帯	地中海型	地中海沿岸地方・米國西岸・チリー中部海岸・南阿南部・濠洲南西部海岸
		支那型	支那本部・滿洲國南部・日本（本州・四國・九州）・濠洲南東部・南阿東部・ブラジル南部・ラブラタ河口・米國中部及び東部
		ツラン型	中央アジア・濠洲大鑿井盆地・北米プレーリー・南米ジャコ・パンパス
		イラン型	イラン地方・新疆・蒙古・南阿中部・米國西部高地
	冷帯	西歐型	歐洲北西部・カナダ西部海岸・チリー南部・タスマニア・ニュージールランド南島・アイスランド南部
		セントローレンス型	カナダ南東部・バタゴニア・黒龍江沿岸・北海道・樺太・千島
		プレーリー型	カナダアルバータ州及びサスカチュワン州・南ロシアのステップ・シベリアのステップ・北滿洲平原
		中欧型	中部ヨーロッパ・エストニア・ラトヴィア・リニア・白ロシア
		内陸高地型	カナダロッキー山脈・ハンガリー平原・東シベリア南部
		チベット型	チベット・アンデス山地中部
寒帯	北地森林型	シベリア森林帯・ヨーロッパ北部森林帯・カナダ森林帯	
	ツンドラ型	ユーラシア大陸及び北米大陸の北部・アイスランド北部	
	氷冠型	グリーンランド・北極洋諸島・南極大陸	



熱
 帶
 溫
 帶
 寒

世界産業交通地圖



	小麦		麻		生絲		羊毛		金		石炭
	米		林産 (針葉樹 闊葉樹)		葡萄酒		コーヒー		銀		石油
	ゴム		主要工業地		砂糖		煙草		銅		ダイヤモンド
	棉花		主要水産地		茶		阿片		鐵		

	主要日本船航路
	幹線鐵道
	海底電線

0 200 400 600 800 1000 日本尺
 赤道に於ける縮尺 1:100 000 000
 0 1000 2000 3000 4000メートル尺 Km.

發行所

東京市神田區神保町一丁目三番地

會社資富山房

電話(25)番代 二一七一番
振替口座東京五〇一番



昭和十二年七月十日印
昭和十二年七月十五日發
昭和十三年一月十五日訂正再版印刷
昭和十三年一月二十日訂正再版發行

現勢地理通論

定價 金八拾五錢

著者 石橋 五郎

發行者 會社資富山房

同所 合資會社資富山房社長
代表者 坂本 嘉治 馬

印刷者 内外出版印刷株式會社
代表者 須磨 勘兵衛



